

令和 2 年度

植物防疫事業年報

京都府病虫害防除所

京都府亀岡市余部町和久成 9

TEL 0771-23-9512

目 次

病虫害防除所の概要

沿革・所管業務・体制	1
------------	---

業務の概要

I 農作物病虫害発生予察事業の実施	
（I）発生予察事業の実施概要	2
1 調査地点及び施設	2
2 調査対象病虫害の種類	6
3 発生予察情報等の概要	9
（II）病虫害の発生予察と発生状況	10
1 発生予察調査の結果	10
1) 巡回調査の結果	10
(1) 水稻	
(2) 麦類	
(3) 黒大豆	
(4) 小豆	
(5) ナシ	
(6) ブドウ	
(7) カキ	
(8) カンキツ	
(9) 茶樹	
(10) キュウリ	
(11) トマト	
(12) ナス	
(13) キャベツ	
(14) ダイコン	
(15) カブ	
(16) ホウレンソウ	
(17) ネギ	
2) 予察灯・誘引剤トラップ・黄色水盤による調査の結果	45
(1) 予察灯の調査結果 (2) 誘引剤トラップの調査結果 (3) 黄色水盤の調査結果	
2 病虫害発生予察情報の内容	59
3 対象病虫害の発生状況	72
II 重要病虫害侵入警戒調査の実施	77
III 調査・試験の結果	79
新規発生害虫ネギハモグリバエ別系統の発生生態の解明と防除技術の確立	
(1) 別系統の発生生態の解明農作物の病虫害に関する現地対策調査	
(2) 別系統の防除技術の確立（別系統の薬剤殺虫効果）	
農作物の病虫害に関する現地対策調査	
(1) 交信かく乱剤によるネギのシロイチモジヨトウ防除効果	
(2) 2020年の京都府の水稻におけるトビイロウンカ発生状況	
IV 緊急防除等に係る協力・指導の実施	87
V 情報提供サービスの実施	
（I）情報提供の概要	87
（II）情報の内容と利用の状況	88
VI 病虫害調査協力員の活動状況	90
VII 会議・講演・研修等の実施	91
VIII 普及センター等との連携の推進	92
参考資料	
令和2年の半旬別気象表・グラフ	93

病虫害防除所の概要

I 沿革

- ◎ 昭和27年4月1日
植物防疫法第32条第1項及び京都府条例第18号に基づき、府内13か所（京都府庁及び各地方事務所）に病虫害防除所を設置し、植物防疫業務を開始した。
- ◎ 昭和50年10月1日
京都府植物防疫法施行条例の一部改正（昭和50年7月18日条例第29号）に基づく機構改革により、山城（田辺町：山城地域5防除所）、丹波（亀岡市：丹波地域5防除所）、丹後（弥栄町：丹後地域3防除所）の3病虫害防除所に統合設置された。
統合に伴い従来の防除所業務が見直され、農薬取締業務は地方事務所が、農薬安全使用指導は農業改良普及所が分担することとなり、発生予察が防除所の主業務とされた。
- ◎ 昭和61年8月1日
京都府植物防疫法施行条例の一部改正（昭和61年7月25日条例第22号）に基づく機構改革により、京都府病虫害防除所（亀岡市：農業総合研究所内（現農林水産技術センター））に統合設置され、当面の措置として北部駐在室（弥栄町：丹後農業研究所内）が設置された。
- ◎ 平成5年4月1日
北部駐在室が廃止された。
- ◎ 平成12年4月1日
京都府病虫害防除所の設置根拠条例であった京都府植物防疫法施行条例が廃止され、新たに京都府行政機関設置条例に基づき、設置されることとなった。
- ◎ 平成21年4月1日
農林水産業に係わる試験研究機関の統合・再編に伴い、農林水産技術センター農林センターの環境部植物防疫担当として再編、設置された。

II 所 管 業 務

- 1 農作物病虫害発生予察事業に関すること。
- 2 植物防疫推進事業の実施に関すること。
- 3 緊急防除等に係る協力・指導に関すること。
- 4 情報提供サービスの実施に関すること。
- 5 農薬指導・取締に関すること。
- 6 病虫害調査協力員の活動に関すること。
- 7 病虫害の診断・指導に関すること。

III 体 制

（I）京都府における調査機関等

	京 都 府 病 害 虫 防 除 所						協 力 機 関 名
職名	所 長	専 門 幹	主任研究員	技 師	会計年度 任用職員	計	農林センター、丹後農業研究所、 茶業研究所、農業大学校、農産課
人数	1人	1人	1人	2人	1人	6人	

（II）病虫害調査協力員

所属する団体等	市町村	農業協同 組 合	農業共済 組 合	農業者	その他	計	備 考
設置人数	—	23人	—	—	—	23人	

業 務 の 概 要

I 農作物病害虫発生予察事業の実施

有害動植物の発生状況を調査し、予察情報を関係機関等に提供することにより適期に、かつ効率的な防除に役立てるとともに、農作物の被害防止と環境保全を図ることを目的とし、植物防疫法及び植物防疫事業実施要領に基づいて病害虫発生予察事業を行う。

(I) 発生予察事業の実施概要

1 調査地点及び施設

1) 予察ほの設置

区 分	対象作物	設 置 場 所	担 当
普通作物	水 稲	亀岡市余部町（農林センター）	防除所
	〃	京丹後市弥栄町黒部（丹後農業研究所）	防除所
	〃	京田辺市薪	防除所
	麦 類	亀岡市余部町（農林センター）	防除所
	大 豆	亀岡市余部町（農林センター）	防除所
	〃	京丹後市弥栄町黒部（丹後農業研究所）	防除所
果 樹	ナ シ	京丹後市弥栄町黒部（丹後農業研究所）	防除所
	ブ ド	京丹後市弥栄町黒部（丹後農業研究所）	防除所
	カ キ	京都市西京区大枝	防除所
茶 樹	茶 樹	宇治市白川（茶業研究所）	茶 研
	〃	京丹後市大宮町口大野	防除所
野 菜	キ ュ ウ リ	京都市伏見区深草	防除所
	ト マ ト	久御山町東一口	防除所
	ナ ス	京田辺市薪	防除所
	〃	京都市西京区大原野	防除所
	キ ャ ベ ツ	京都市南区吉祥院、亀岡市余部町（農林センター）	防除所
	ダ イ コ ン	木津川市梅谷、京丹後市弥栄町黒部	防除所
	ホ ウ レ ン ソ ウ	久御山町坊之池	防除所
	ネ ギ	京都市伏見区淀	防除所

2) 予察灯等の設置

(1) 設置場所及び種類

設 置 場 所	種 類	対 象 病 害 虫	担 当
京田辺市薪 （府営水道 ポンプ場）	乾式日別予察灯(60W)(BL) フェロモントラップ	別表のとおり コナガ、ハスモンヨトウ、果樹カ メムシ類、タバコガ、オオタバコ ガ、ニカメイガ、シロイチモジヨ トウ、吸実性カメムシ類	防除所 防除所

設 置 場 所	種 類	対 象 病 害 虫	担当者
宇治市白川 (茶業研究所)	フェロモントラップ	チャノホソガ、チャノコカクモンハマキ	茶 研
亀岡市余部町 (農林センター)	乾式日別予察灯(60W)(BL) フェロモントラップ 黄 色 水 盤	別表のとおり コナガ、ハスモンヨトウ、 果樹カメムシ類、タバコガ、オ オタバコガ、カブラヤガ、ニカ メイガ、シロイチモジヨトウ、 吸実性カメムシ類、ツマジロク サヨトウ アブラムシ類	防除所 防除所 農林セ
綾部市位田町 (農 大)	フェロモントラップ	チャノホソガ、チャノコカク モンハマキ、ツマジロクサヨト ウ	農 大
京丹後市弥栄町 黒部 (丹後農研)	乾式日別予察灯(60W)(BL) フェロモントラップ	別表のとおり コナガ、ハスモンヨトウ、果樹 カメムシ類、タバコガ、オオタ バコガ、ニカメイガ、シロイチ モジヨトウ、吸実性カメムシ類 、ツマジロクサヨトウ	防除所 防除所
京丹後市大宮町 口大野	フェロモントラップ	チャノホソガ、チャノコカクモ ンハマキ	防除所

[別表] 乾式日別予察灯の調査対象害虫

光源の種類	害虫の区分	対 象 害 虫 名
60W (白熱灯)	ウンカ・ ヨコバイ類	ヒメトビウンカ、セジロウンカ、トビイロウンカ、ツマグロ ヨコバイ
	カ メ ム シ 類	アオクサカメムシ、ツヤアオカメムシ、ミナミアオカメムシ 、チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、イチモンジカメ ムシ、イネクロカメムシ、クモヘリカメムシ、シラホシカメ ムシ、トゲシラホシカメムシ、アカヒゲホソミドリカスミカ メ、アカスジカスミカメ、ツマグロアオカスミカメ
	蛾 類	フタオビコヤガ、ニカメイガ、コナガ、シロオビノメイガ
	そ の 他	イネミズゾウムシ
ブラック ライト (蛍光灯)	コガネムシ類	ドウガネブイブイ、クロコガネ、ヒメコガネ、アカビロウド コガネ
	カ メ ム シ 類	チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシ、 ミナミアオカメムシ
	蛾 類	ゴマフボクトウ

3) 巡回調査地点

(1) 水稻 (30地区／30か所)

山城地域	南丹地域	中丹地域	丹後地域
京都市伏見区向島 京都市西京区大原野 八幡市内里 木津川市加茂町大野 久御山町佐古 精華町祝園	京都市右京区京北 下弓削町 亀岡市本梅町平松 亀岡市余部町 南丹市美山町島 南丹市八木町氷所 南丹市園部町黒田 京丹波町蒲生 京丹波町井脇 京丹波町安栖里	舞鶴市丸田 福知山市半田 福知山市長田 福知山市夜久野町 今西中 福知山市大江町河守 綾部市石原町	宮津市日置 京丹後市大宮町森本 京丹後市峰山町長岡 京丹後市網野町木津 京丹後市丹後町竹野 京丹後市弥栄町黒部 京丹後市久美浜町 芦原 伊根町本庄上 与謝野町加悦

* 調査地点は、作付面積が概ね500haに1点を設置。

(2) 麦類 (8地区／16か所)

山城地域	丹波地域	丹後地域
—	(小麦) 南丹市美山町鶴ヶ岡 福知山市半田、戸田、河守 綾部市私市町 (二条) 亀岡市河原林町、馬路町 亀岡市本梅町平松	—

(3) 豆類 (大豆：4地区／8か所、小豆：6地区／12か所)

作物名	山城地域	丹波地域	丹後地域
黒大豆	—	京丹波町富田、安栖里 福知山市夜久野町大油子	京丹後市久美浜町品田
小豆	—	亀岡市河原林町、馬路町 南丹市園部町若森 福知山市半田 綾部市篠田町 舞鶴市久田美	—

* 調査地点は、作付面積が概ね50ha以上の市町村に設置。

(4) 果樹 (10地区／22か所)

作物名	か所	山城地域	丹波地域	丹後地域
カンキツ	3	—	—	宮津市石浦
ナシ	10	八幡市川口	—	京丹後市網野町俵野 京丹後市久美浜町 平田、三分、浦明、大井

作物名	か所	山城地域	丹波地域	丹後地域
ブドウ	6	京都市山科区勸修寺	—	京丹後市久美浜町 一分、三分、平田
カキ	3	京都市西京区大枝	—	—

* 調査地点は、作付面積が概ね10ha以上の市町村に設置。

(5) 茶樹 (16地区／32か所)

山城地域	丹波地域	丹後地域
宇治市白川、宇治市伊勢田、宇治市五ヶ庄 城陽市上津屋 京田辺市飯岡 木津川市加茂町例幣 宇治田原町禅定寺、宇治田原町南 和束町石寺、和束町湯船、和束町杣田	舞鶴市志高 福知山市土 綾部市小西町	京丹後市 久美浜町永留 網野町郷

(6) 野菜 (32地区／51か所)

作物名	か所	山城地域	丹波地域	丹後地域
キュウリ	8	[露地] 京都市伏見区深草 宇治田原町禅定寺 [施設] 京都市伏見区向島 久御山町東一口 八幡市内里	—	—
トマト (施設)	5	京都市伏見区向島 久御山町東一口	亀岡市篠町	—
ナス	7	京都市西京区大原野 八幡市野尻、岩田 京田辺市薪、宮津 久御山町坊之池、相島	—	—
キャベツ	8	京都市南区吉祥院 京都市西京区牛ヶ瀬	—	京丹後市弥栄町、 久美浜町
ダイコン	5	木津川市梅谷	—	京丹後市弥栄町、 久美浜町
カブ	6	—	京都市右京区 京北矢代中町 亀岡市篠町	京丹後市弥栄町、 久美浜町
ハウレンソウ	4	京都市西京区牛ヶ瀬 久御山町坊之池	—	—
ネギ	8	京都市西京区牛ヶ瀬、 南区吉祥院、伏見区淀 八幡市岩田	—	—

* 調査地点は、作付面積が果菜類では概ね10ha以上、その他の野菜では概ね20ha以上の産地に設置。

2 調査対象病害虫の種類

作物		指定病害虫	指定外病害虫
普通作物	水 稲	いもち病、紋枯病、ばか苗病、縞葉枯病、もみ枯細菌病、稲こうじ病、セジロウンカ、トビイロウンカ、ヒメトビウンカ、ツマグロヨコバイ、コブノメイガ、ニカメイガ、斑点米カメムシ類、イネミズゾウムシ、フタオビコヤガ	苗立枯病、白葉枯病、イネクロカメムシ、イチモンジセセリ、イネドロオイムシ、スクミリンゴガイ、コバネイナゴ
	麦 類	赤かび病、うどんこ病	
	大 豆	吸実性カメムシ類、アブラムシ類、ハスモンヨトウ	べと病、葉焼病、モザイク病、ハダニ類、フタスジヒメハムシ、サヤムシガ類、食葉性鱗翅目幼虫
	小 豆	ハスモンヨトウ、オオタバコガ	モザイク病、さび病、炭そ病、うどんこ病、アブラムシ類、マメノメイガ、アズキノメイガ、サヤムシガ類、ハダニ類、食葉性鱗翅目幼虫
果 樹	カ ン キ ツ	そうか病、黒点病、かいよう病、ハダニ類、アブラムシ類	カイガラムシ類、ミカンハモグリガ
	ナ シ	黒斑病、黒星病、カメムシ類、ハダニ類、シンクイムシ類、アブラムシ類、ハマキムシ類	赤星病、うどんこ病
	ブ ド ウ	べと病	うどんこ病、さび病、ハダニ類
	カ キ	炭そ病、カキノヘタムシガ、カメムシ類、アザミウマ類、フジコナカイガラムシ、ハマキムシ類	うどんこ病、円星落葉病、角斑落葉病、
茶 樹	茶 樹	炭そ病、ハダニ類、ハマキムシ類、チャノホソガ	もち病、網もち病、輪斑病、灰色かび病、新梢枯死症、チャノミドリヒメヨコバイ、クワシロカイガラムシ、チャノキイロアザミウマ、ツマグロアオカスミカメ、コミカンアブラムシ、チャトゲコナジラミ
野	キ ュ ウ リ	べと病、うどんこ病、褐斑病、灰色かび病、アブラムシ類、アザミウマ類、コナジラミ類、ハスモンヨトウ	斑点細菌病、炭そ病、モザイク病、ハダニ類、ハモグリバエ類、ワタヘリクロノメイガ
	ト マ ト	疫病、灰色かび病、葉かび病、アブラムシ類、コナジラミ類、ハスモンヨトウ	うどんこ病、黄化葉巻病、モザイク病、アザミウマ類、ハモグリバエ類
	ナ ス	うどんこ病、灰色かび病、アブラムシ類、アザミウマ類、ハダニ類、ハスモンヨトウ、オオタバコガ	褐色腐敗病、すすかび病、褐色円星病、ハモグリバエ類、コナジラミ類、タバコガ類
	キ ャ ベ ツ	菌核病、黒腐病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、コナガ、ヨトウガ	べと病、モンシロチョウ、ウワバ類、アザミウマ類、ハイマダラノメイガ

菜	ダイコン	アブラムシ類、ハスモンヨトウ、コナガ	白さび病、黒斑細菌病、モザイク病、ハイマダラノメイガ、ナモグリバエ、モンシロチョウ
	カブ	コナガ	軟腐病、べと病、黒斑病、白斑病、白さび病、アブラムシ類、ハモグリバエ類
	ハウレンソウ	アブラムシ類、ハスモンヨトウ、ヨトウガ	べと病、シロオビノメイガ
	ネギ	さび病、黒斑病、べと病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、ネギアザミウマ、シロイチモジヨトウ	ネギハモグリバエ

参考：指定有害動植物発生予察事業の対象とする指定有害動植物

1 指定有害動物（55種類）

- (1) いちご、かき、きく、キャベツ、きゅうり、たまねぎ、なす及びねぎのアザミウマ類
- (2) いちご、かんきつ、きく、キャベツ、きゅうり、すいか、だいこん、大豆、トマト、なし、なす、ねぎ、はくさい、ばれいしょ、ピーマン、ほうれんそう及びレタスのアブラムシ類
- (3) いねのイネミズゾウムシ
- (4) オオタバコガ
- (5) かきのカイガラムシ類
- (6) かきのカキノヘタムシガ
- (7) 果樹カメムシ類
- (8) さとうきびのカンシャコバネナガカメムシ
- (9) 大豆の吸実性カメムシ類
- (10) コナガ
- (11) きゅうり及びトマトのコナジラミ類
- (12) いねのコブノメイガ
- (13) シロイチモジヨトウ
- (14) なし、もも及びりんごのシンクイムシ類
- (15) いねのセジロウンカ
- (16) 茶のチャノホソガ
- (17) いねのツマグロヨコバイ
- (18) いねのトビイロウンカ
- (19) いねのニカメイガ
- (20) ハスモンヨトウ
- (21) いちご、おうとう、かんきつ、茶、なし、なす、もも及びりんごのハダニ類
- (22) かき、茶、なし及びりんごのハマキムシ類
- (23) 斑点米カメムシ類
- (24) いねのヒメトビウンカ
- (25) いねのフタオビコヤガ
- (26) さとうきびのメイチュウ類
- (27) ヨトウガ

2 指定有害植物（30種類）

- (1) むぎの赤かび病菌
- (2) いねの稲こうじ病菌
- (3) いねのいもち病菌
- (4) いちごのうどんこ病菌
- (5) きゅうりのうどんこ病菌
- (6) なすのうどんこ病菌
- (7) ピーマンのうどんこ病菌
- (8) むぎのうどんこ病菌
- (9) トマト及びばれいしょの疫病菌
- (10) ぶどうの晩腐病菌
- (11) かんきつのかいよう病菌
- (12) キウイフルーツのかいよう病菌
- (13) きゅうりの褐斑病菌
- (14) てん菜の褐斑病菌
- (15) キャベツ及びレタスの菌核病菌
- (16) キャベツの黒腐病菌
- (17) なしの黒星病菌
- (18) りんごの黒星病菌
- (19) かんきつの黒点病菌
- (20) なしの黒斑病菌
- (21) ねぎの黒斑病菌
- (22) ねぎのさび病菌
- (23) いねの縞葉枯病ウイルス
- (24) たまねぎの白色疫病菌
- (25) きくの白さび病菌
- (26) てん菜の西部萎縮病ウイルス
- (27) もものせん孔細菌病菌
- (28) かんきつのそうか病菌
- (29) いちごの炭疽病菌
- (30) かきの炭疽病菌
- (31) 茶の炭疽病菌
- (32) いちご、きゅうり、トマト、なす、ぶどう及びレタスの灰色かび病菌
- (33) おうとうの灰星病菌
- (34) いねのばか苗病菌
- (35) トマトの葉かび病菌
- (36) りんごの斑点細菌病菌
- (37) きゅうりのべと病菌
- (38) たまねぎ及びねぎのべと病菌
- (39) ぶどうのべと病菌
- (40) いねのもみ枯細菌病菌
- (41) いねの紋枯病菌

3 発生予察情報等の概要

種 類	発 表 時 期	発表内容	主な提供方法・提供先 (提供数)
予 報	4月～10月、 2月～3月の 各月1回	本誌のⅠの(Ⅱ)の2 に記載	・府行政支援ネット送信 (約30) 地方振興局・普及センター、研究機関 ・J P P ネット送信 (一) 国・他府県関係 ・F A X 送信 (約110) 市町村・農業協同組合・その他 ・冊子送付 (約100) 国出先機関、報道機関、定点農家 ・メール送信 (約5) ・ホームページに掲載
警 報	9月10日	第1号：水稻 トビイロウンカ	予報と同じ
注意報	3月27日 6月24日 8月26日	第1号：ネギ ベと病 第2号：果樹 カメムシ類 第3号：水稻 トビイロウンカ	予報と同じ
特殊報	3月27日 10月21日 10月21日	第1号：チャ ヒサカキワタフキコナジラミ 第2号：トマト クロテンコナカイガラムシ 第3号：ウメ ウメシロヒメヨコバイ(仮称)	予報と同じ
技 術 情 報 (防除所 ニュース)	1月30日 5月29日 7月22日 8月18日 9月24日 9月24日	第1号：ネギ ベと病情報 第2号：果樹 カメムシ類情報 第3号：水稻 いもち病情報 第4号：水稻 トビイロウンカ情報 第5号：豆類・野菜類 ハスモンヨトウとシロイモシヨトウ情報 第6号：豆類 ハダニ類情報	・府行政支援ネット 送信 (約80) ・F A X 送信 (約30) ・ホームページに掲載
月 報	4月～11月、 2月～3月の 各月1回	[病虫害発生予察巡回調査結果等に基づ く発生病害虫全般の発生状況]	・府行政支援ネット 送信 (約80) 普及センター等 ・一部、ホームページに 掲載
年 報		防除所の病虫害発生予察事業等のまとめ	・ホームページに掲載

(Ⅱ) 病害虫の発生予察と発生状況

1 発生予察調査の結果

1) 巡回調査の結果

(1) 水稻

生育概要

早植（品種：コシヒカリ 播種期：4月21日 移植期：5月11日）

普通植（品種：コシヒカリ、京の輝き 播種期：5月5日 移植期：5月25日）

ア. 生育

早植のコシヒカリでは移植直後の低温の影響が回復せず茎数が少なく推移した。普通植では6月の高温によりコシヒカリ、京の輝きとも活着は良かったが、生育が早まったためコシヒカリでは幼穂形成期が早くなり、茎数は少なくなった。7月は気温が低く日照時間も短かったため生育は鈍化したが、出穂期は早植コシヒカリで平年比5日、普通植コシヒカリで平年比3日早くなり、京の輝きで平年比1日遅くなった。成熟期は早植コシヒカリで平年比4日、普通植コシヒカリで平年比3日、京の輝きで3日遅くなった。

イ. 収量及び品質

早植コシヒカリは、有効穂数が平年比81%、1穂粒数が平年比92%と少なかったことから、 m^2 当たり粒数は平年比86%と少なくなった。精玄米重も平年比82%の49.7kg/aと少なくなった。

普通植コシヒカリは、有効穂数が平年比78%、1穂粒数は平年比104%となったため、 m^2 当たりの粒数は平年比80%となった。精玄米重は平年比87%の51.6kg/aと少なくなった。

普通植京の輝きは、有効穂数は平年比94%とやや少なかったが、1穂粒数は平年比99%とほぼ平年並であり、 m^2 当たり粒数は平年比97%とやや少なくなった。一方、精玄米重は平年比108%の65.6kg/aと多くなった。

玄米品質は、いずれも平年を下回った。

(京都府農林水産技術センター農林センター作物部調べ)

病害虫発生状況

ア 苗いもち (指定)

発生を認めなかった。

イ 葉いもち (指定)

ブラスタムでは7月上～中旬に府内の広い地域で感染好適条件日を記録した。8月中旬の巡回調査では、山城地域で平年比やや多く、丹後で平年比多い発生となり、府全体では平年比やや多い発生となった。

表1 補植用苗におけるいもち病の発生状況調査（5月第3～4半旬）

年次	地域	補植用苗確認数		発病確認率(%)	
		箇所	苗ブロック	箇所	苗ブロック
2年	山城	－	－	－	－
	南丹	6	42	0.0	0.0
	中丹	3	22	0.0	0.0
	丹後	6	27	0.0	0.0
元年	山城	－	－	－	－
	南丹	6	40	0.0	0.0
	中丹	2	5	0.0	0.0
	丹後	7	14	0.0	0.0

* 巡回調査は場とその周辺で補植用苗ブロックを認めた際に調査した。

表2 補植用苗におけるいもち病の発生状況調査（6月第3～4半旬）

年次	地域	調査 箇所数	補植用苗確認数		発病苗確認数		発病確認率(%)	
			箇所	苗ブロック	箇所	苗ブロック	箇所	苗ブロック
2年	山城	6	6	22	1	4	16.7	18.2
	南丹	9	5	32	1	1	11.1	3.1
	中丹	6	1	13	0	0	0.0	0.0
	丹後	9	2	9	0	0	0.0	0.0
元年	山城	6	6	49	0	0	0.0	0.0
	南丹	9	4	31	0	0	0.0	0.0
	中丹	6	3	6	0	0	0.0	0.0
	丹後	9	5	14	0	0	0.0	0.0

* 巡回調査ほ場とその周辺で補植用苗ブロックを認めた際に調査した。

表3 本田における葉いもちの発生状況調査（25株見取り）

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	発病株率 (%)	発病度	発病葉率 (%)
山城	6・3～4	2年	6	0.0	0.0	0.0	—
		元年	6	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	0.0	0.0	0.00	—
	7・3～4	2年	6	16.7	0.0	0.0	—
		元年	6	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	18.3	3.8	1.5	—
	*8・3～4	2年	6	83.3	10.7	—	0.00
		元年	6	0.0	0.0	—	0.00
		平年	—	21.7	2.5	—	0.05
南丹	6・3～4	2年	9	0.0	0.0	0.0	—
		元年	9	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	0.0	0.0	0.00	—
	7・3～4	2年	9	22.2	0.9	0.2	—
		元年	9	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	22.2	13.1	4.1	—
	*8・3～4	2年	9	44.4	7.6	—	0.00
		元年	9	11.1	0.4	—	0.11
		平年	—	25.5	5.6	—	0.14
中丹	6・3～4	2年	6	0.0	0.0	0.0	—
		元年	6	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	3.3	0.3	0.07	—
	7・3～4	2年	6	16.7	2.0	0.5	—
		元年	6	16.7	0.7	0.2	—
		平年	—	18.3	4.8	1.3	—
	*8・3～4	2年	6	33.3	0.7	—	0.00
		元年	6	0.0	0.0	—	0.00
		平年	—	11.7	0.8	—	0.11
丹後	6・3～4	2年	9	0.0	0.0	0.0	—
		元年	9	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	1.1	0.2	0.04	—
	7・3～4	2年	9	22.2	4.4	1.1	—
		元年	9	11.1	0.4	0.1	—
		平年	—	7.8	1.8	0.5	—
	*8・3～4	2年	9	88.9	16.0	—	0.19
		元年	9	0.0	0.0	—	0.00
		平年	—	12.2	1.9	—	0.07

* 止葉及び第2葉の調査。

表4 本田における葉いもちの発病程度別ほ場割合（25株見取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	13.3	86.7

ウ 穂いもち（指定）

8月に南丹、中丹及び丹後地域で平年比やや多い発生となり、9月には山城地域で平年比やや少ない発生となった。全体的には平年並の発生となった。

表5 本田における穂いもちの発病程度別ほ場割合（25株見取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
8・3～4	30	0.0	0.0	0.0	20.0	80.0
9・3～4	13	0.0	0.0	0.0	15.4	84.6

表6 本田における穂いもちの発病状況調査（25株見取り）

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	発病株率 (%)	発病穂率 (%)	被害籾率 (%)
山城	8・3～4	2年	6	0.0	0.0	0.00	—
		元年	2	0.0	0.0	0.00	—
		平年	—	14.3	0.6	0.03	—
	9・3～4	2年	6	16.7	0.7	—	0.002
		元年	6	16.7	0.7	—	0.17
		平年	—	30.0	3.8	—	0.33
南丹	8・3～4	2年	9	33.3	1.8	0.22	—
		元年	9	22.2	0.9	0.03	—
		平年	—	21.1	3.7	0.18	—
	9・3～4	2年	2	0.0	0.0	—	0.00
		元年	—	—	—	—	—
		平年	—	31.9	16.1	—	—
中丹	8・3～4	2年	6	16.7	0.7	0.03	—
		元年	6	0.0	0.0	0.00	—
		平年	—	8.3	1.2	0.07	—
	9・3～4	2年	3	0.0	0.0	—	0.00
		元年	1	0.0	0.0	—	0.00
		平年	—	30.6	8.5	—	0.87
丹後	8・3～4	2年	9	22.2	0.9	0.04	—
		元年	9	0.0	0.0	0.00	—
		平年	—	4.4	0.3	0.02	—
	9・3～4	2年	2	50.0	34.0	—	3.70
		元年	—	—	—	—	—
		平年	—	17.9	1.6	—	0.07

エ 紋枯病（指定）

8月から府内全域で発生を認め、山城及び丹後地域では平年比やや多く、南丹及び中丹地域では平年並の発生となった。府内全体では平年比やや多い発生となった。

表7 本田における紋枯病の発病程度別ほ場割合（25株見取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
8・3～4	30	0.0	0.0	3.3	30.0	66.7
9・3～4	13	0.0	0.0	7.7	30.8	61.5

表8 本田における紋枯病の発生状況調査（25株見取り）

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	発病株率 (%)	発病度
山城	7・3～4	2年	6	0.0	0.0	0.0
		元年	6	0.0	0.0	0.0
		平年	—	1.7	0.1	0.03
	8・3～4	2年	6	50.0	14.7	3.7
		元年	6	33.3	5.3	1.3
		平年	—	36.7	5.8	1.7
	9・3～4	2年	6	50.0	28.7	8.2
		元年	6	66.7	44.0	19.0
		平年	—	72.3	19.7	8.6
南丹	7・3～4	2年	9	0.0	0.0	0.0
		元年	9	0.0	0.0	0.0
		平年	—	2.2	0.2	0.1
	8・3～4	2年	9	22.2	11.1	3.1
		元年	9	44.4	10.2	2.6
		平年	—	48.9	7.0	2.5
	9・3～4	2年	2	100.0	38.0	16.5
		元年	—	—	—	—
		平年	—	68.2	10.4	3.8
中丹	7・3～4	2年	6	0.0	0.0	0.0
		元年	6	0.0	0.0	0.0
		平年	—	5.0	0.4	0.1
	8・3～4	2年	6	33.3	3.3	0.8
		元年	6	66.7	14.7	3.7
		平年	—	28.3	4.7	1.2
	9・3～4	2年	3	0.0	0.0	0.0
		元年	1	100.0	80.0	27.0
		平年	—	50.0	17.1	6.8
丹後	7・3～4	2年	9	0.0	0.0	0.0
		元年	9	0.0	0.0	0.0
		平年	—	1.1	0.0	0.0
	8・3～4	2年	9	33.3	3.1	1.0
		元年	9	11.1	2.7	0.7
		平年	—	15.6	1.9	0.6
	9・3～4	2年	2	0.0	0.0	0.0
		元年	—	—	—	—
		平年	—	54.8	7.5	2.9

オ 苗立枯病
発生を認めなかった。

カ 白葉枯病
発生を認めなかった。

キ 籾枯細菌病
発生を認めなかった。

ク 黄化萎縮病
発生を認めなかった。

ケ 馬鹿苗病
発生を認めなかった。

コ 縞葉枯病
発生を認めなかった。

サ 稲こうじ病
発生を認めなかった。

シ ヒメトビウンカ（指定）
越冬密度は平年並であったが、丹後で平年比やや高かった。
6月から発生を認め、9月まで平年比少ない発生で推移した。

表9 未耕起田等におけるヒメトビウンカの生息密度調査（4月第3～4半旬）

地域	年次	調査ほ場数	発生確認ほ場率 (%)	虫数 (頭)	成虫比率 (%)
山城	2年	3	0.0	0.0	—
	31年	6	0.0	0.0	—
南丹	2年	4	0.0	0.0	—
	31年	4	0.0	0.0	—
中丹	2年	1	0.0	0.0	—
	31年	3	0.0	0.0	—
丹後	2年	4	25.0	0.3	100.0
	31年	6	0.0	0.0	—

* 虫数は20回振りすくい取りによる1ほ場当たりの平均値。

表10 本田におけるヒメトビウンカの生息密度調査

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	25株見取り			20回振りすくい取り		
			調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)
山城	6・3～4	2年	6	0.0	0.0	5	0.0	0.0
		元年	6	0.0	0.0	5	0.0	0.0
		平年	—	1.7	0.02	—	0.0	0.00
	7・3～4	2年	6	33.3	4.7	6	50.0	0.8
		元年	6	83.3	3.7	6	66.7	1.2
		平年	—	48.3	2.9	—	46.7	1.3
	8・3～4	2年	6	66.7	11.2	6	50.0	13.8
		元年	6	100.0	9.0	6	16.7	0.2
		平年	—	71.7	6.6	—	71.7	8.9
南丹	6・3～4	2年	9	11.1	0.2	9	11.1	0.1
		元年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平年	—	0.0	0.00	—	8.9	0.11
	7・3～4	2年	9	33.3	1.1	9	0.0	0.0
		元年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平年	—	18.9	0.3	—	12.2	0.2
	8・3～4	2年	9	33.3	2.0	9	55.6	51.8
		元年	9	11.1	0.1	9	22.2	0.3
		平年	—	41.1	2.9	—	70.0	16.4
中丹	6・3～4	2年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		元年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		平年	—	1.7	0.02	—	5.0	0.05
	7・3～4	2年	6	0.0	0.0	6	16.7	1.2
		元年	6	83.3	14.2	6	0.0	0.0
		平年	—	35.0	1.8	—	20.0	0.3
	8・3～4	2年	6	83.3	3.8	6	83.3	36.8
		元年	6	50.0	6.7	6	16.7	1.0
		平年	—	50.0	2.1	—	76.7	36.7
丹後	6・3～4	2年	9	0.0	0.0	9	11.1	0.1
		元年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平年	—	2.2	0.02	—	5.6	0.08
	7・3～4	2年	9	44.4	0.7	9	11.1	0.1
		元年	9	55.6	1.0	9	22.2	0.2
		平年	—	22.2	0.4	—	22.2	0.8
	8・3～4	2年	9	50.0	3.8	9	50.0	28.0
		元年	9	77.8	6.6	9	77.8	7.6
		平年	—	53.7	3.2	—	76.0	22.4

表11 本田におけるヒメトビウンカの発生程度別ほ場割合（20回振りすくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
6・3～4	29	0.0	0.0	0.0	6.9	93.1
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	16.7	83.3
8・3～4	30	3.3	23.3	3.3	20.0	50.1

ス ツマグロヨコバイ（指定）

越冬世代幼虫の発生時期は平年比早く、虫数は平年並であった。本田では、6月に山城及び丹後地域で発生を認め、8月には府内全域で発生を認めたが、全体的に平年並の発生で推移した。

萎縮病の発生は認めなかった。

表12 未耕起田等におけるツマグロヨコバイの生息密度調査（4月第3～4半旬）

地域	年次	調査ほ場数	発生確認ほ場率 (%)	虫数 (頭)	成虫比率 (%)
山城	2年	3	33.3	0.3	100.0
	31年	6	66.7	2.8	100.0
南丹	2年	4	25.0	0.3	100.0
	31年	4	25.0	0.3	100.0
中丹	2年	1	33.3	0.7	100.0
	31年	3	33.3	0.7	100.0
丹後	2年	4	0.0	0.0	—
	31年	6	0.0	0.0	—

* 虫数は20回振りすくい取りによる1ほ場当たりの平均値。

表13 本田におけるツマグロヨコバイの生息密度調査

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	25株見取り			20回振りすくい取り		
			調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)
山城	6・3～4	2年	6	16.7	23.0	5	20.0	3.0
		元年	6	16.7	0.2	5	20.0	0.4
		平年	—	1.7	0.02	—	8.2	0.1
	7・3～4	2年	6	50.0	3.2	6	50.0	1.2
		元年	6	66.7	2.5	6	33.3	0.8
		平年	—	43.3	4.7	—	38.3	3.5
	8・3～4	2年	6	66.7	9.7	6	66.7	34.7
		元年	6	66.7	6.2	6	66.7	1.0
		平年	—	78.3	20.4	—	76.7	67.5
南丹	6・3～4	2年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		元年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平年	—	4.4	0.2	—	1.1	1.3
	7・3～4	2年	9	44.4	1.4	9	0.0	0.0
		元年	9	11.1	0.1	9	11.1	0.1
		平年	—	18.9	1.7	—	12.2	0.3
	8・3～4	2年	9	11.1	0.4	9	11.1	13.3
		元年	9	22.2	0.3	9	11.1	0.1
		平年	—	27.8	1.9	—	31.1	16.9
中丹	6・3～4	2年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		元年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		平年	—	0.0	0.0	—	5.0	0.1
	7・3～4	2年	6	33.3	0.5	6	0.0	0.0
		元年	6	66.7	8.8	6	16.7	0.5
		平年	—	33.3	2.2	—	15.0	0.5
	8・3～4	2年	6	50.0	1.8	6	16.7	2.8
		元年	6	33.3	1.0	6	16.7	9.2
		平年	—	23.3	0.6	—	36.7	4.7
丹後	6・3～4	2年	9	0.0	0.0	9	22.2	0.3
		元年	9	0.0	0.0	9	11.1	0.2
		平年	—	2.2	0.1	—	4.4	0.1
	7・3～4	2年	9	0.0	0.0	9	11.1	0.3
		元年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平年	—	25.6	1.1	—	14.4	0.6
	8・3～4	2年	9	11.1	0.1	9	0.0	0.0
		元年	9	0.0	0.0	9	44.4	4.9
		平年	—	27.8	1.8	—	42.2	16.0

表14 本田におけるツマグロヨコバイの発生程度別ほ場割合（20回振りすくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
6・3～4	30	0.0	0.0	3.3	0.0	96.7
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	13.3	86.7
8・3～4	30	6.7	3.3	3.3	6.7	80.0

セ セジロウンカ（指定）

予察灯への初飛来は、京田辺（８月２日）で平年比遅く、亀岡（７月２日）で平年比やや早く、亀岡（６月11日）で平年比早かった。

本田では７月から府内全域で発生を認め、全体的に平年比多い発生で推移した。

表15 セジロウンカの予察灯への初飛来日

年次	月．日		
	京田辺	亀岡	京丹後
2年	(8.2)	7.2	6.11
元年	6.29	(8.19)	6.7
平年	7.3	7.5	7.2

* 8月以降の初飛来日は（ ）で記載。

平年値は7月6半旬までの飛来日より算出。

表16 本田におけるセジロウンカの生息密度調査

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	25株見取り			20回振りすくい取り		
			調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)
山城	6・3～4	2年	6	33.3	0.5	5	60.0	1.4
		元年	6	0.0	0.0	5	0.0	0.0
		平年	—	2.0	0.02	—	2.0	0.04
	7・3～4	2年	6	100.0	23.5	6	83.3	4.5
		元年	6	100.0	16.3	6	16.7	0.3
		平年	—	86.7	17.2	—	61.7	11.2
	8・3～4	2年	6	66.7	137.2	6	66.7	67.8
		元年	6	66.7	10.0	6	33.3	0.8
		平年	—	88.3	21.7	—	73.3	39.8
南丹	6・3～4	2年	9	11.1	0.1	9	33.3	0.8
		元年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平年	—	0.0	0.0	—	1.1	0.01
	7・3～4	2年	9	55.6	2.1	9	66.7	0.8
		元年	9	11.1	0.7	9	0.0	0.0
		平年	—	63.3	4.0	—	26.7	1.6
	8・3～4	2年	9	33.3	3.7	9	33.3	2.6
		元年	9	88.9	3.8	9	0.0	0.0
		平年	—	75.6	10.3	—	67.8	37.9
中丹	6・3～4	2年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		元年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		平年	—	0.0	0.0	—	1.7	0.02
	7・3～4	2年	6	83.3	2.2	6	83.3	3.2
		元年	6	66.7	4.7	6	0.0	0.0
		平年	—	68.3	4.3	—	23.3	2.5
	8・3～4	2年	6	83.3	4.5	6	83.3	11.0
		元年	6	66.7	2.2	6	16.7	0.8
		平年	—	81.7	5.9	—	75.0	35.3
丹後	6・3～4	2年	9	11.1	0.1	9	33.3	0.4
		元年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平年	—	0.0	0.0	—	3.3	0.04
	7・3～4	2年	9	66.7	6.0	9	22.2	0.2
		元年	9	55.6	0.9	9	11.1	0.1
		平年	—	63.3	4.0	—	32.2	8.7
	8・3～4	2年	9	11.1	0.1	9	77.8	13.4
		元年	9	88.9	7.2	9	88.9	21.6
		平年	—	76.1	5.7	—	93.3	27.4

表17 本田におけるセジロウンカの発生程度別ほ場割合（20回振りすくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
6・3～4	29	0.0	0.0	0.0	31.0	69.0
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	56.7	43.3
8・3～4	30	0.0	3.3	0.0	60.0	36.7

ソ トビイロウンカ（指定）

予察灯への初飛来は京田辺で8月4日、亀岡で8月6日、京丹後で8月5日であった。

本田での発生は8月に丹後及び山城のほ場で確認し、8月中旬に緊急的に行った調査で府内全域で成幼虫の発生を認めたため、8月26日付けで病害虫発生予察注意報第3号を発表した。8月下旬には京都府南部の一部ほ場（普通稲）で坪枯れ被害が発生し、なお被害が拡大する状況を認めたため、9月10日付けで病害虫発生予察警報第1号を発表した。その後、晩生稲で坪枯れ被害は拡大した。

表18 トビイロウンカの予察灯への初飛来日

年次	月・日		
	京田辺	亀岡	京丹後
2年	(8.4)	(8.6)	(8.5)
元年	(8.8)	(9.13)	(8.21)
平年	-	-	7.14

* 8月以降の初飛来日は（ ）で記載。
平年値は7月6半旬までの飛来日より算出。

表19 本田におけるトビイロウンカの生息密度調査

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	25株見取り			20回振りすくい取り		
			調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)
山城	7・3～4	2年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		元年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
	8・3～4	2年	6	33.3	0.3	6	0.0	0.0
		元年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
南丹	7・3～4	2年	6	100.0	27.0	6	16.7	0.5
		元年	6	33.3	0.5	6	33.3	0.3
	8・3～4	2年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		元年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
中丹	7・3～4	2年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		元年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
	8・3～4	2年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		元年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
丹後	7・3～4	2年	2	50.0	1.5	2	0.0	0.0
		元年	-	-	-	-	-	-
	8・3～4	2年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		元年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
丹後	7・3～4	2年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		元年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
	8・3～4	2年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		元年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
丹後	7・3～4	2年	3	0.0	0.0	3	0.0	0.0
		元年	1	0.0	0.0	1	0.0	0.0
	8・3～4	2年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		元年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
丹後	7・3～4	2年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		元年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
	8・3～4	2年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		元年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
丹後	7・3～4	2年	2	0.0	0.0	2	0.0	0.0
		元年	-	-	-	-	-	-
	8・3～4	2年	2	0.0	0.0	2	0.0	0.0
		元年	-	-	-	-	-	-

表20 本田におけるトビイロウンカの発生程度別ほ場割合（25株見取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
8・3～4	30	0.0	0.0	0.0	6.7	93.3
9・3～4	13	0.0	0.0	0.0	53.8	46.2

表21 本田におけるトビイロウンカの発生程度別ほ場割合（20回すくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
8・3～4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
9・3～4	13	0.0	0.0	0.0	7.7	92.3

タ ニカメイガ（指定）

9月に丹後地域の一部で発生を確認した。

チ コブノメイガ（指定）

7月から南丹以北の地域で、8月から府内全域で発生を認め、9月まで平年比やや多い～多い発生に推移した。

ツ イネミズゾウムシ（指定）

予察灯への初飛来は京田辺（5月4日）で平年比早く、亀岡（5月4日）で平年並、京丹後（5月2日）では平年比早かった。

予察灯への誘殺数（4月第1半旬～5月第2半旬）は、京田辺及び亀岡で平年比多く、京丹後で平年比やや多かった。

本田での発生は、府内全体では平年並の発生量であったが、発生面積は平年比やや多かった。

表22 イネミズゾウムシ越冬世代成虫の予察灯への初飛来日と総誘殺数

年度	京田辺		亀岡		京丹後	
	初飛来日 (月・日)	総誘殺数 (頭)	初飛来日 (月・日)	総誘殺数 (頭)	初飛来日 (月・日)	総誘殺数 (頭)
2年	5.4	38	5.4	1160	5.2	69
元年	5.26	61	5.2	212	5.17	40
平年	5.19	66.8	5.5	270.9	5.9	107.3

表23 本田におけるイネミズゾウムシの生育密度調査（6月第3～4半旬）

地域	年次	調査ほ場数	被害確認 ほ場率(%)	食害株率 (%)	被害度	虫数 (頭)
山城	2年	6	16.7	16.7	4.2	0.0
	元年	6	50.0	22.0	4.7	0.2
	平年	—	59.0	17.5	4.8	0.2
南丹	2年	9	77.8	46.7	11.8	0.3
	元年	9	100.0	70.2	17.6	0.7
	平年	—	86.7	68.1	21.8	1.7
中丹	2年	6	100.0	57.3	14.8	0.0
	元年	6	100.0	62.0	13.5	1.0
	平年	—	98.3	63.5	16.8	1.0
丹後	2年	9	55.6	27.1	7.0	0.3
	元年	9	88.9	56.0	14.0	0.4
	平年	—	88.9	48.0	12.8	0.8

* 虫数は25株見取りによる1ほ場当たりの平均値。

表24 本田におけるイネミズゾウムシの発生程度別ほ場割合（25株見取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
5・3～4	11	0.0	0.0	0.0	81.8	18.2
6・3～4	30	0.0	0.0	20.0	43.3	36.7

テ 斑点米カメムシ類（指定）

本田での発生は、地域により差が大きいが全体的には平年比やや発生に推移した。

畦畔雑草での発生は、6月は平年比やや多い発生となり、7月は平年並であったが、8月には平年比やや多い発生となった。

予察灯（60W）へのアカスジカスミカメの誘殺数は平年比やや多く、アカヒゲホソミドリカスミカメの誘殺数は平年並であった。

優占種は、トゲシラホシカメムシ、シラホシカメムシ、クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ及びイネカメムシであった。近年はイネカメムシの発生が目立つ。

表25 本田における斑点米カメムシ類の発生程度別ほ場割合（20回振りすくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
6・3～4	29	0.0	0.0	3.4	13.8	82.8
7・3～4	30	0.0	0.0	6.7	13.3	80.0
8・3～4	30	3.3	6.7	6.7	20.0	63.3
9・3～4	13	0.0	7.7	7.7	23.1	61.5

表26 畦畔における斑点米カメムシ類の虫数別ほ場割合（20回振りすくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	31頭≤(%)	11～30頭(%)	4～10頭(%)	1～3頭(%)	0頭(%)
6・3～4	30	0.0	13.3	16.7	23.3	46.7
7・3～4	30	3.3	16.7	10.0	23.3	46.7
8・3～4	30	10.0	6.7	10.0	20.0	53.3

表27 斑点米カメムシ類の生息密度調査（20回振りすくい取り）

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	本田			畦畔		
			調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)
山城	6・3～4	2年	5	20.0	0.4	6	33.3	3.5
		元年	5	0.0	0.0	6	16.7	0.5
		平年	—	5.3	0.1	—	55.0	11.2
	7・3～4	2年	6	0.0	0.0	6	100.0	16.5
		元年	6	66.7	2.0	6	83.3	12.2
		平年	—	25.0	0.6	—	76.7	32.5
	8・3～4	2年	6	0.0	0.0	6	50.0	21.0
		元年	6	16.7	0.2	6	50.0	15.0
		平年	—	31.7	0.8	—	80.0	19.1
	9・3～4	2年	6	33.3	2.3	—	—	—
		元年	6	50.0	18.0	—	—	—
南丹	6・3～4	2年	9	11.1	0.2	9	66.7	5.7
		元年	9	0.0	0.0	9	55.6	0.9
		平年	—	3.3	0.1	—	37.8	1.1
	7・3～4	2年	9	33.3	1.0	9	33.3	2.0
		元年	9	22.2	0.2	9	88.9	5.4
		平年	—	11.1	0.2	—	47.8	2.6
	8・3～4	2年	9	66.7	9.4	9	44.4	1.6
		元年	9	11.1	0.1	9	22.2	0.4
		平年	—	45.6	1.4	—	31.1	1.2
	9・3～4	2年	2	0.0	0.0	—	—	—
		元年	0	—	—	—	—	—
中丹	6・3～4	2年	6	33.3	0.3	6	66.7	3.0
		元年	6	16.7	0.2	6	16.7	0.2
		平年	—	5.0	0.2	—	36.7	3.0
	7・3～4	2年	6	16.7	0.2	6	83.3	3.8
		元年	6	16.7	0.2	6	66.7	2.7
		平年	—	10.0	0.2	—	56.7	2.5
	8・3～4	2年	6	50.0	5.3	6	50.0	4.3
		元年	6	50.0	1.7	6	50.0	1.3
		平年	—	50.0	2.0	—	43.3	1.4
	9・3～4	2年	3	33.3	0.3	—	—	—
		元年	1	100.0	2.0	—	—	—
丹後	6・3～4	2年	9	22.2	0.6	9	44.4	3.6
		元年	9	0.0	0.0	9	55.6	1.6
		平年	—	10.0	0.2	—	50.0	2.8
	7・3～4	2年	9	22.2	0.6	9	33.3	5.1
		元年	9	33.3	1.4	9	33.3	1.3
		平年	—	10.0	0.3	—	44.4	5.5
	8・3～4	2年	9	22.2	0.3	9	44.4	6.1
		元年	9	66.7	4.2	9	55.6	5.3
		平年	—	51.1	1.5	—	38.9	1.7
	9・3～4	2年	2	100.0	4.0	—	—	—
		元年	0	—	—	—	—	—

表28 本田と畦畔での斑点米カメムシ類の種別構成割合（8月第3～4半旬）

年次	種構成割合(%)							
	シラホシカメムシ	トゲシラホシカメムシ	ホソハリカメムシ	クモハリカメムシ	コバネヒョウタンナガカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカシバカスミカメ	その他
2年	2.7	2.1	9.5	24.4	0.0	28.9	19.9	12.5
元年	18.2	3.6	23.4	24.0	0.0	8.9	20.3	1.6
30年	3.6	1.0	9.6	3.6	0.0	27.9	39.6	14.7
29年	1.8	4.2	9.6	4.2	0.0	10.2	46.7	23.4
28年	8.9	14.8	19.3	7.4	0.0	5.9	34.8	8.9
27年	2.5	9.9	12.3	39.5	0.0	7.4	22.2	6.2
26年	1.2	2.9	5.0	4.1	0.0	15.9	70.5	0.3
25年	1.3	3.8	18.3	9.4	1.3	8.7	53.7	3.6
24年	2.1	6.9	16.6	2.8	2.8	46.2	19.3	3.4
23年	4.3	24.5	21.3	3.2	0.0	29.8	16.0	1.0

* 種構成割合は本田と畦畔における20回振りすくい取りの平均値。

ト イネツトムシ（イチモンジセセリ）

6月から中丹地域で発生を確認し、7月には平年比やや多い発生となった。

ナ フタオビコヤガ

6月～8月に府内全域で発生を認めた。

ニ イネクロカメムシ

本田では発生を認めなかった。

ヌ スクミリンゴガイ

山城及び南丹地域の一部で発生を認めた。

(2)麦類

病害虫の発生状況

表1 発生量の平年比較

病名	麦の種類	4月	5月
赤かび病	二条大麦	(-)	並(-)
	小麦	—	並(-)
うどんこ病	二条大麦	(+)	—
	小麦	(-)	(-)

—:調査せず、(+):発生を認めた、(-):発生を認めず

表2 巡回調査結果

麦の種類	調査時期 (月・半旬)	年次	赤かび病			うどんこ病		
			発病穂率 (%)	発病度	確認ほ率 (%)	発斑面積率 (%)	発病茎率 (%)	確認ほ率 (%)
二条大麦	4・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	0.8	48.0	66.7
		31年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		平年	—	—	—	—	—	—
	5・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	—	—	—
		元年	0.0	0.0	0.0	—	—	—
		平年	0.1	0.01	1.7	—	—	—
小麦	4・3～4	2年	—	—	—	0.0	0.0	0.0
		31年	—	—	—	0.0	0.0	0.0
		平年	—	—	—	—	—	—
	5・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		元年	2.0	0.3	30.0	4.4	22.8	50.0
		平年	0.3	0.06	5.7	—	—	—

注)調査場所:(二条大麦)亀岡市、(小麦)綾部市、福知山市、南丹市

(3) 黒大豆

病害虫の発生状況

表 1 発生量の平年比較

病害虫名\調査月	7月	8月	9月	10月(英)	全期間
モザイク病	やや多	—	—	—	やや多
べと病	—	やや多	少	—	並
葉焼病	やや多	やや多	少	—	並
ハダニ類	やや少	少	多	—	並
アブラムシ類	やや少	並(-)	少(-)	—	やや少
アサギヒメハムシ	やや少	やや少	多	少	やや少
吸実性カメムシ類	並(-)	少(-)	やや多	—	並
ハスモンヨトウ	やや多	多	やや多	—	やや多
サヤムシガ類	やや多	やや少	並	—	並
食葉性ヨウ目幼虫	並(-)	多	(+)	—	やや多
チョウ目害虫	—	—	—	やや多	

—：調査せず、(+)：発生を認めた、(-)：発生を認めず

表 2 巡回調査結果

調査時期 (月・半旬)	年次	モザイク病		べと病			葉焼病		
		発病株率 (%)	確認ほ率 (%)	発病株率 (%)	発病度 (指数)	確認ほ率 (%)	発病株率 (%)	発病度 (指数)	確認ほ率 (%)
7・3～4	2年	13.5	87.5	—	—	—	2.5	0.63	25.0
	元年	2.0	62.5	—	—	—	0.0	0.00	0.0
	平年	7.2	65.0	—	—	—	1.1	0.26	6.3
8・3～4	2年	—	—	12.0	3.0	50.0	14.5	3.6	50.0
	元年	—	—	0.0	0.0	0.0	21.0	5.3	62.5
	平年	—	—	9.1	2.3	25.0	10.4	2.7	46.3
9・3～4	2年	—	—	0.5	0.1	12.5	30.0	7.5	75.0
	元年	—	—	10.0	2.5	12.5	77.5	19.4	87.5
	平年	—	—	39.2	9.9	56.3	62.1	16.5	80.0

調査時期 (月・半旬)	年次	ハダニ類			アブラムシ類			アサギヒメハムシ		
		寄生株率 (%)	25小葉 当虫数 (頭)	確認ほ率 (%)	寄生株率 (%)	25小葉 当虫数 (頭)	確認ほ率 (%)	寄生株率 (%)	25株当 虫数(頭)	確認ほ率 (%)
7・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
	元年	1.0	0.6	25.0	1.0	0.4	25.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.6	0.2	15.0	0.6	0.3	12.5	0.6	0.2	11.3
8・3～4	2年	1.5	1.8	37.5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.1	25.0
	元年	40.0	201.0	100.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.3	12.5
	平年	22.0	92.8	65.0	0.3	0.9	3.8	1.3	0.4	21.3
9・3～4	2年	43.5	255.8	87.5	0.0	0.0	0.0	24.5	12.5	50.0
	元年	0.5	0.1	12.5	0.0	0.0	0.0	19.5	7.1	75.0
	平年	15.5	55.3	56.3	8.5	16.4	51.3	12.6	4.5	62.5

調査時期 (月・半旬)	年次	サヤムシガ類					ハスモンヨトウ				食葉性ヨウ目幼虫	
		寄生株率 (%)	被害株率 (%)	寄生株 確認ほ率 (%)	被害株 確認ほ率 (%)	200英当 虫数(頭)	寄生株率 (%)	25株当 虫数(頭)	寄生株 確認ほ率 (%)	白変葉 箇所数 /10a	寄生株率 (%)	確認ほ率 (%)
7・3～4	2年	3.0	18.5	37.5	100.0	—	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	12.5
	元年	2.0	3.5	37.5	50.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	12.5
	平年	3.6	10.2	42.5	75.0	—	0.1	0.0	1.3	0.0	0.4	8.8
8・3～4	2年	1.5	0.5	37.5	50.0	—	5.0	2.3	62.5	6.6	9.5	37.5
	元年	1.0	0.4	25.0	75.0	—	0.0	0.0	0.0	0.4	0.5	12.5
	平年	3.0	0.8	37.5	77.5	—	1.3	1.2	25.0	1.3	2.8	38.8
9・3～4	2年	0.0	1.5	0.0	37.5	0.0	1.0	0.3	12.5	11.5	0.5	12.5
	元年	0.0	1.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	2.5	50.0
	平年	0.5	—	11.3	—	0.3	4.6	2.5	36.3	4.3	—	—

調査時期 (月・半旬)	年次	吸実性カメムシ類		
		寄生株率 (%)	25株当 虫数(頭)	確認ほ率 (%)
7・3～4	2年	0.0	0.00	0.0
	元年	0.0	0.00	0.0
	平年	0.1	0.01	1.3
8・3～4	2年	0.0	0.0	0.0
	元年	1.5	1.5	25.0
	平年	1.8	0.6	30.0
9・3～4	2年	3.5	1.5	37.5
	元年	2.5	0.9	37.5
	平年	2.3	1.0	33.8

調査時期 (月・半旬)	年次	アサギヒメハムシ		チョウ目害虫	
		食害英率 (%)	確認ほ率 (%)	食害英率 (%)	確認ほ率 (%)
10・3～4	2年	0.8	75.0	2.6	62.5
	元年	11.3	87.5	0.9	75.0
	平年	9.8	92.5	1.9	72.5

(4)小豆

病害虫の発生状況

表1 月別発生状況

病害虫名\調査月	8月	9月	10月(莢)	全期間
モザイク病	やや多	—	—	やや多
うどんこ病	—	並(-)	—	並
炭そ病	並	並	—	並
さび病	並	並	—	並
ハダニ類	やや多	やや多	—	やや多
アブラムシ類	並(-)	やや多	—	やや多
ハスモンヨトウ	並	やや多	—	やや多
サヤムシガ類	並(-)	やや多	—	やや多
アズキノメイガ	—	やや少	—	やや少
マメノメイガ	—	少	—	少
オオタバコガ	—	やや少	—	やや少
食葉性チョウ目幼虫	(+)	(+)	—	(+)
チョウ目害虫	—	—	並	—

—：調査せず、(+)：発生を認めた、(-)：発生を認めず

表2 巡回調査結果

調査時期 (月・半旬)	年次	モザイク病		うどんこ病		炭そ病		さび病	
		発病株率 (%)	確認ほ率 (%)	発病株率 (%)	確認ほ率 (%)	発病株率 (%)	確認ほ率 (%)	発病株率 (%)	確認ほ率 (%)
8・3～4	2年	2.0	41.7	—	—	0.0	8.3	0.0	0.0
	元年	0.5	25.0	—	—	0.0	0.0	0.3	8.3
	平年	1.3	43.3	—	—	0.2	3.1	0.3	3.2
9・3～4	2年	—	—	0.0	0.0	3.6	20.0	8.0	10.0
	元年	—	—	0.0	0.0	2.0	25.0	15.7	66.7
	平年	—	—	0.0	0.0	5.0	20.8	16.7	30.7

調査時期 (月・半旬)	年次	ハダニ類			アブラムシ類			ハスモンヨトウ			
		寄生 株率 (%)	25小葉 当虫数 (頭)	確認 ほ率 (%)	寄生 株率 (%)	25小葉 当虫数 (頭)	確認 ほ率 (%)	寄生 株率 (%)	25株当 虫数 (頭)	白変葉 箇所数 /10a	寄生株確認 ほ率 (%)
8・3～4	2年	0.7	0.2	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0
	元年	0.7	0.2	8.3	0.0	0.0	0.0	0.3	0.4	1.2	9.1
	平年	0.5	0.5	8.5	0.9	0.4	13.1	0.4	0.1	1.1	9.4
9・3～4	2年	7.2	27.6	60.0	0.8	0.2	30.0	1.6	0.9	9.3	30.0
	元年	4.3	11.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.8	8.3
	平年	5.7	11.9	48.9	0.4	0.1	12.1	4.4	1.8	1.4	53.6

調査時期 (月・半旬)	年次	サヤムシガ類				アズキノメイガ			マメノメイガ		
		寄生 株率 (%)	被害 株率 (%)	寄生株確 認ほ率 (%)	被害株 確認ほ率 (%)	寄生 株率 (%)	被害 株率 (%)	被害株 確認ほ率 (%)	寄生 株率 (%)	200花・莢 当虫数 (頭)	寄生株確認 ほ率 (%)
8・3～4	2年	0.0	0.7	0.0	8.3	—	—	—	—	—	—
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
	平年	0.5	0.8	9.0	11.9	—	—	—	—	—	—
9・3～4	2年	1.2	2.0	20.0	30.0	0.0	0.4	10.0	0.4	0.1	0.4
	元年	4.3	6.3	33.3	50.0	1.3	2.7	33.3	12.7	3.4	12.7
	平年	0.9	2.7	16.6	32.9	2.2	3.1	43.3	10.6	4.5	10.6

調査時期 (月・半旬)	年次	オオタバコガ		食葉性チョウ目幼虫		吸実性カメムシ類		
		寄生 株率 (%)	寄生株 確認ほ率 (%)	寄生 株率 (%)	寄生株 確認ほ率 (%)	寄生 株率 (%)	25株当 虫数 (頭)	確認 ほ率 (%)
8・3～4	2年	—	—	0.3	8.3	—	—	—
	元年	—	—	0.0	0.0	—	—	—
	平年	—	—	—	—	—	—	—
9・3～4	2年	1.2	30.0	1.2	30.0	0.0	0.0	8.3
	元年	8.0	58.3	2.0	41.6	0.3	0.1	8.3
	平年	5.6	52.3	—	—	—	—	—

調査時期 (月・半旬)	年次	チョウ目害虫	
		食害莢率 (%)	確認ほ率 (%)
10・3～4	2年	15.8	100.0
	元年	7.5	100.0
	平年	19.7	100.0

(5) ナシ

病害虫発生状況

表1 発生量の平年比較

病害虫名\調査月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
黒斑病	やや多	並(+)	やや多	多	やや多	並(+)	やや多
黒星病	やや多	多	やや多	多	やや多	多	多
赤星病	多	やや少	並(+)	並(+)	並(+)	並(-)	並
うどんこ病	—	並(-)	やや多	やや多	やや少	少	並
ハダニ類	並(-)	やや少(-)	並(+)	やや少	やや少	並(+)	やや少
アブラムシ類	(+)	(-)	(-)	(-)	—	—	—
ハマキムシ類	(-)	(-)	(-)	(-)	—	—	—
カメムシ類	並(-)	多	並(-)	—	—	—	やや多
シンクイムシ類	—	並(-)	並(-)	並(-)	—	—	並(-)

—：調査せず、(+)：発生を認めた、(-)：発生を認めず

表2 巡回調査結果(ナシ、5～10月)

(%)

調査時期 (月・半旬)	年次	黒斑病		黒星病		赤星病		うどんこ病	
		発病葉率	ほ場率	発病葉率	ほ場率	発病葉率	ほ場率	発病葉率	ほ場率
5・3～4	R2年	2.6	100.0	1.0	40.0	2.7	18.2	—	—
	R元年	0.6	20.0	1.0	40.0	1.8	18.2	—	—
	平年	0.7	21.3	0.3	8.0	0.4	9.7	—	—
6・3～4	R2年	3.0	60.0	9.8	100.0	0.2	18.2	0.0	0.0
	R元年	4.2	100.0	2.8	20.0	1.5	18.2	0.0	0.0
	平年	2.5	53.7	2.1	27.0	0.8	27.9	0.0	1.7
7・3～4	R2年	8.6	60.0	4.2	80.0	0.6	18.2	0.7	27.3
	R元年	3.2	80.0	4.4	80.0	2.2	45.5	0.3	18.2
	平年	3.5	58.3	2.7	32.7	0.8	21.8	0.9	8.7
8・3～4	R2年	10.4	100.0	4.4	40.0	0.2	18.2	0.6	45.5
	R元年	3.2	80.0	4.2	80.0	0.8	27.3	0.5	18.2
	平年	5.1	78.3	1.4	24.5	0.4	19.3	2.8	20.7
9・3～4	R2年	11.0	100.0	5.0	20.0	0.1	18.2	1.3	45.5
	R元年	5.4	100.0	3.4	40.0	0.3	18.2	3.7	45.5
	平年	11.0	88.0	2.0	28.5	0.2	12.9	8.1	39.4
10・3～4	R2年	13.4	100.0	4.8	80.0	0.0	0.0	2.0	54.5
	R元年	11.8	100.0	3.0	60.0	0.1	9.0	28.9	90.9
	平年	13.9	83.3	1.4	25.2	0.1	8.4	27.6	82.5

調査時期 (月・半旬)	年次	ハダニ類		アブラムシ類		ハマキムシ類		カメムシ類		シンクイムシ類	
		寄生葉率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率
5・3～4	R2年	0.0	0.0	0.7	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	R元年	0.0	0.0	4.5	72.7	0.0	0.0	1.1	22.2	—	—
	平年	0.7	11.7	—	—	—	—	0.1	2.2	—	—
6・3～4	R2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	33.3	0.0	0.0
	R元年	0.0	0.0	4.7	63.6	0.0	0.0	0.3	16.7	0.0	0.0
	平年	2.8	36.5	—	—	—	—	0.2	5.7	0.0	0.0
7・3～4	R2年	5.8	54.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R元年	0.4	18.2	0.0	0.0	0.2	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	16.6	47.7	—	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0
8・3～4	R2年	0.4	27.2	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
	R元年	12.5	90.9	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
	平年	13.2	67.9	—	—	—	—	—	—	0.1	3.6
9・3～4	R2年	1.6	45.5	—	—	—	—	—	—	—	—
	R元年	9.3	72.7	—	—	—	—	—	—	—	—
	平年	6.6	51.9	—	—	—	—	—	—	—	—
10・3～4	R2年	2.1	54.5	—	—	—	—	—	—	—	—
	R元年	2.2	45.5	—	—	—	—	—	—	—	—
	平年	4.0	41.1	—	—	—	—	—	—	—	—

(6)ブドウ

病害虫発生状況

表1 発生量の平年比較

病害虫名\調査月	5月	6月	7月	8月	9月	全期間
べと病	並(-)	やや少(-)	やや少	少	少	やや少
うどんこ病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
灰色かび病	(-)	(-)	—	—	—	—
さび病	—	並(-)	並(-)	並(+)	やや多	並
褐斑病	—	並(-)	多	やや多	やや多	やや多
ハダニ類	並(-)	並(-)	並(-)	多	多	やや多
チャノキイロアザミウマ	—	(-)	—	—	—	—

—：調査せず、(+)：発生を認めた、(-)：発生を認めず

表2 巡回調査結果(ブドウ) (%)

調査時期 (月・半旬)	年 次	べと病		うどんこ病		灰色かび病		さび病	
		発病葉率	ほ場率	発病葉率	ほ場率	発病花 (果)穂率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率
5・3～4	R 2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	R 元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—
6・3～4	R 2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R 元年	0.2	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.9	24.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
7・3～4	R 2年	0.8	16.7	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
	R 元年	0.3	33.3	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
	平年	6.8	53.7	0.0	2.0	—	—	0.0	0.0
8・3～4	R 2年	1.2	33.3	0.0	0.0	—	—	1.7	33.3
	R 元年	4.8	33.3	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
	平年	10.7	64.3	0.2	5.0	—	—	1.3	13.3
9・3～4	R 2年	2.0	33.3	0.0	0.0	—	—	9.3	33.3
	元年	2.7	50.0	0.0	0.0	—	—	6.0	50.0
	平年	14.8	73.3	0.4	9.0	—	—	6.9	46.3

調査時期 (月・半旬)	年 次	褐斑病		ハダニ類		チャノキイロ アザミウマ	
		発病葉率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率	発病葉率	ほ場率
5・3～4	R 2年	—	—	0.0	0.0	—	—
	R 元年	—	—	0.0	0.0	—	—
	平年	—	—	0.02	1.7	—	—
6・3～4	R 2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R 元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.1	5.3	—	—
7・3～4	R 2年	0.3	16.7	0.0	0.0	—	—
	R 元年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	平年	0.0	0.0	0.1	3.3	—	—
8・3～4	R 2年	9.2	83.3	5.8	16.6	—	—
	R 元年	4.7	33.3	0.0	0.0	—	—
	平年	2.5	5.3	0.1	4.0	—	—
9・3～4	R 2年	7.7	50.0	0.3	16.7	—	—
	R 元年	14.5	50.0	0.3	16.7	—	—
	平年	1.6	10.0	0.1	3.7	—	—

(7)カキ

病害虫発生状況

表 1 発生量の平年比較

病害虫名\調査月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
うどんこ病	並(+)	多	やや多	多	多	並	やや多
落葉病	—	—	並(-)	並(-)	多	並	やや多
炭疽病	(-)	(-)	並(-)	並(+)	やや多	やや多	やや多
カキダアザミウマ	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
チャノキアザミウマ	—	—	並(-)	やや多	やや少	やや多	やや多
カイガラムシ類	並(-)	並(-)	並(-)	やや多	並(+)	並(-)	並
ハダニ類	並(-)※	並※	並(-)※	並(-)※	並(-)※	並(-)※	並(-)※
カキノヘタムシガ	—	—	—	並(-)	並(-)	多	やや多
カメムシ類	—	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
ハマキムシ類	—	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	—

—：調査せず、(+)：発生を認めた、(-)：発生を認めず

※印を付した箇所は例年比示す。

表 2 巡回調査結果(カキ、5～10月)

(%)

調査時期 (月・半旬)	年次	うどんこ病		落葉病		炭疽病		
		発病率	ほ場率	発病率	ほ場率	発病新梢率	被害果率	ほ場率
5・3～4	R2年	0.7	33.3	—	—	0.0	—	0.0
	R元年	3.7	100.0	—	—	0.0	—	0.0
	平年	0.9	40.0	—	—	—	—	—
6・3～4	R2年	42.7	100.0	—	—	0.0	—	0.0
	R元年	26.0	100.0	—	—	0.0	—	0.0
	平年	15.8	100.0	—	—	—	—	—
7・3～4	R2年	34.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R元年	25.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	25.8	100.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0
8・3～4	R2年	50.7	100.0	0.0	0.0	0.7	0.0	33.3
	R元年	30.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	23.9	100.0	0.3	16.7	—	0.1	6.7
9・3～4	R2年	39.3	100.0	1.7	66.7	—	0.3	66.7
	R元年	29.3	100.0	1.7	66.7	—	0.0	0.0
	平年	24.8	100.0	0.2	13.3	—	0.3	16.7
10・3～4	R2年	39.0	100.0	0.0	33.3	—	1.3	66.7
	R元年	40.7	100.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0
	平年	35.7	96.7	2.8	33.3	—	0.6	26.7

調査時期 (月・半旬)	年次	カキダアザミウマ			チャノキアザミウマ		カイガラムシ類		
		被害率	被害果率	ほ場率	被害率	ほ場率	寄生率	寄生果率	ほ場率
5・3～4	R2年	0.0	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0
	R元年	0.0	—	0.0	—	—	0.3	—	33.3
	平年	0.03	—	3.3	—	—	0.06	—	6.7
6・3～4	R2年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0
	R元年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0
	平年	0.03	0.0	3.3	—	—	—	0.1	3.3
7・3～4	R2年	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0
	R元年	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0
	平年	—	0.7	13.3	0.3	16.7	—	0.5	20.0
8・3～4	R2年	—	0.0	0.0	4.7	100.0	—	0.7	33.3
	R元年	—	0.0	0.0	0.7	66.7	—	0.3	33.3
	平年	—	0.1	3.3	2.9	43.3	—	0.7	23.3
9・3～4	R2年	—	0.0	0.0	1.3	33.3	—	2.0	33.3
	R元年	—	0.0	0.0	22.7	100.0	—	2.0	33.3
	平年	—	0.3	13.3	7.5	73.3	—	1.3	33.3
10・3～4	R2年	—	0.0	0.0	12.0	100.0	—	0.0	0.0
	R元年	—	0.0	0.0	6.0	66.7	—	0.0	0.0
	平年	—	0.1	6.7	7.9	76.7	—	1.6	33.3

調査時期 (月・半旬)	年次	ハダニ類		カキノヘタムシガ		カメムシ類		ハマキムシ類	
		寄生率	ほ場率	被害率	ほ場率	被害率	ほ場率	寄生率	ほ場率
5・3～4	R2年	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
	R元年	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
	平年	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
6・3～4	R2年	0.0	33.3	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0
	R元年	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	—	—
7・3～4	R2年	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0
	R元年	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	—	—	0.1	3.3	—	—
8・3～4	R2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R元年	0.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	5.6	0.0	0.0	0.3	6.7	—	—
9・3～4	R2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R元年	0.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.3	22.2	0.1	6.7	0.3	10.0	—	—
10・3～4	R2年	0.0	0.0	2.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	R元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	26.7	—	—

(8)カンキツ

病害虫発生状況

表1 発生量の平年比較

病害虫名\調査月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	全期間
そうか病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	多	多	やや多
かいよう病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
黒点病	—	—	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
ハダニ類	並(+)	並(+)	並(+)	やや多	並(+)	やや少	並(+)
ヤノネカイガラムシ	並(+)	並(+)	やや多	並(-)	やや多	並(-)	やや多
ミカンハモグリガ	やや少(-)	やや多	多	多	やや多	並(+)	やや多
アブラムシ類	—	(-)	(+)	(+)	(-)	(+)	

—：調査せず、(+):発生を認めた、(-):発生を認めず

表2 巡回調査結果(カンキツ、4～9月)

(%)

調査時期 (月・半旬)	年次	そうか病			かいよう病			黒点病	
		発病度 (葉)	発病度 (果実)	ほ場率	発病度 (葉)	発病度 (果実)	ほ場率	発病度 (果実)	ほ場率
4・3～4	R2年	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—
	H31年	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—
	平年	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—
5・3～4	R2年	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—
	R元年	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—
	平年	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—
6・3～4	R2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7・3～4	R2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8・3～4	R2年	0.0	0.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.03	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9・3～4	R2年	0.4	1.2	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

調査時期 (月・半旬)	年次	ハダニ類		ヤノネカイガラムシ			ミカンハモグリガ		アブラムシ類	
		寄生葉率	ほ場率	寄生葉率	寄生果率	ほ場率	被害葉率	ほ場率	寄生新梢率	ほ場率
4・3～4	R2年	1.3	33.3	0.3	—	66.7	0.0	0.0	—	—
	H31年	4.3	66.7	0.0	—	0.0	5.3	66.7	—	—
	平年	2.8	36.7	1.3	—	28.3	1.8	50.0	—	—
5・3～4	R2年	1.7	66.7	0.3	—	33.3	1.7	33.3	0.0	0.0
	R元年	23.7	66.7	3.0	—	66.7	0.0	0.0	4.0	100.0
	平年	6.7	60.0	0.6	—	20.0	0.8	26.7	—	—
6・3～4	R2年	0.3	33.3	0.3	0.0	33.3	2.3	100.0	2.7	66.7
	R元年	10.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.3	33.3	11.3	100.0
	平年	12.8	80.0	0.1	0.0	6.7	0.2	16.7	—	—
7・3～4	R2年	36.0	100.0	0.0	0.0	0.0	2.7	66.7	2.7	33.3
	R元年	4.7	66.7	0.0	0.0	0.0	2.0	33.3	0.0	0.0
	平年	13.1	63.3	0.0	0.2	3.3	0.7	30.0	—	—
8・3～4	R2年	5.0	100.0	0.7	0.0	33.3	2.0	100.0	0.0	0.0
	R元年	7.3	66.7	0.3	0.0	33.3	0.7	33.3	0.0	0.0
	平年	22.2	76.7	0.3	0.0	23.3	1.3	36.7	—	—
9・3～4	R2年	0.7	66.7	0.0	0.0	0.0	2.0	100.0	0.0	33.3
	R元年	20.0	100.0	0.0	0.0	0.0	5.0	66.7	7.7	66.7
	平年	14.6	70.0	0.4	0.0	26.7	2.8	63.3	—	—

(9) 茶 樹

生育状況

本年の自然仕立て園の一番茶萌芽期は、平年より6日早い3月30日となった。

また、弧状仕立て園では、平年より6日早い4月3日となった。

4月30日時点では、新芽長は、平年と比べて自然仕立て園では大きく、弧状仕立て園では小さかった。

新葉数は、平年と比べて、いずれの仕立てにおいても多かった。

5月5日時点では、自然仕立て園における新芽長は、平年と比べて大きく、新葉数は平年と比べて多かった。

(宇治茶部発表の「令和2年一番茶萌芽・生育状況」一部抜粋)

病虫害発生状況

ア 炭疽病（指定）

表1 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	やや少	並	やや多	やや多	並	やや多
丹波	やや多	並	並	やや多	やや少	やや少	並
丹後	並	並	やや多	並	やや多	並	並

表2 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ～ 4. 4	2年	2.5	54.5	4.5	33.3	1.8	25.0
	31年	3.0	77.3	2.7	66.7	1.5	25.0
	平年	4.4	45.0	5.5	41.7	5.2	60.0
5. 3 ～ 5. 4	2年	0.3	17.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	1.5	47.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.1	33.1	0.2	10.0	0.9	19.4
6. 3 ～ 6. 4	2年	4.1	55.0	4.2	83.3	1.5	75.0
	元年	4.3	75.0	17.2	83.3	1.7	66.7
	平年	3.9	52.6	7.3	71.0	1.0	26.7
7. 3 ～ 7. 4	2年	2.4	57.1	9.8	100.0	0.5	25.0
	元年	0.2	14.3	6.0	75.0	5.7	66.7
	平年	0.7	20.2	7.1	64.8	1.1	30.8
8. 3 ～ 8. 4	2年	2.1	54.5	1.2	33.3	6.5	75.0
	元年	0.0	0.0	3.5	66.7	1.3	50.0
	平年	1.1	13.4	13.6	61.3	4.6	50.0
9. 3 ～ 9. 4	2年	1.2	31.8	0.2	16.7	0.3	25.0
	元年	0.2	4.5	1.5	50.0	1.5	75.0
	平年	2.0	20.6	4.8	55.0	1.5	32.5
10. 3 ～ 10. 4	2年	4.4	68.2	2.7	33.3	0.0	0.0
	元年	2.8	22.7	0.8	50.0	0.0	0.0
	平年	2.8	24.2	2.3	46.7	12.1	45.0

イ 輪斑病

表3 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	やや多	並	やや多	並	やや多	多	やや多
丹波	並	並	多	やや多	多	多	やや多
丹後	並	並	多	並	並	やや多	並

表4 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	2年	0.05	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	31年	0.05	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.01	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0
5. 3 ~ 5. 4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 3 ~ 6. 4	2年	0.10	10.0	1.5	16.7	0.8	50.0
	元年	0.00	0.0	0.2	16.7	0.0	0.0
	平年	0.03	1.6	0.0	5.0	0.0	0.0
7. 3 ~ 7. 4	2年	0.00	0.0	0.5	16.7	0.0	0.0
	元年	2.43	14.3	0.3	25.0	0.0	0.0
	平年	0.29	4.0	0.2	9.2	0.1	7.5
8. 3 ~ 8. 4	2年	0.14	4.5	1.7	33.3	0.0	0.0
	元年	0.20	4.5	2.3	83.3	0.0	0.0
	平年	0.17	2.3	0.4	18.7	0.2	10.0
9. 3 ~ 9. 4	2年	2.50	40.9	3.8	66.7	0.8	25.0
	元年	0.30	13.6	4.2	83.3	8.8	75.0
	平年	0.07	2.7	0.6	18.3	1.0	17.5
10. 3 ~ 10. 4	2年	0.32	9.1	1.0	33.3	0.0	0.0
	元年	2.05	9.1	10.0	100.0	1.3	25.0
	平年	0.23	2.8	1.4	31.7	0.1	2.5

ウ 灰色かび病

表5 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	並	並	並	並	並
丹波	並	並	並	並	並	並	並
丹後	並	並	並	並	並	並	並

表6 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	2年	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0
	31年	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0
	平年	0.2	5.5	0.04	3.3	0.0	0.0
5. 3 ~ 5. 4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 3 ~ 6. 4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.03	2.5
7. 3 ~ 7. 4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8. 3 ~ 8. 4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9. 3 ~ 9. 4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10. 3 ~ 10. 4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

エ 新梢枯死症

表7 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	並	並	並	やや少	並
丹波	並	並	並	並	やや多	多	並
丹後	並	並	並	並	並	並	並

表8 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ～ 4. 4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	31年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5. 3 ～ 5. 4	2年	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.01	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 3 ～ 6. 4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7. 3 ～ 7. 4	2年	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.01	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
8. 3 ～ 8. 4	2年	0.0	0.0	0.3	33.3	0.0	0.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	4.1	0.1	8.3	0.1	2.5
9. 3 ～ 9. 4	2年	0.2	9.1	1.7	16.7	0.0	0.0
	元年	5.1	18.2	1.5	50.0	1.0	25.0
	平年	1.1	12.3	0.7	30.0	0.1	5.0
10. 3 ～ 10. 4	2年	0.4	9.1	0.3	33.3	0.0	0.0
	元年	0.0	0.0	0.7	16.7	0.0	50.0
	平年	0.3	8.5	0.5	18.3	0.9	20.0

オ もち病

表9 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	やや多	並	並	並	やや多
丹波	並	並	並	並	並	並	並
丹後	並	並	並	並	並	多	並

表10 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ～ 4. 4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	31年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.7	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0
5. 3 ～ 5. 4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 3 ～ 6. 4	2年	0.10	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.02	2.6	0.0	3.3	0.0	0.0
7. 3 ～ 7. 4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	0.7	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.8	5.2	0.0	0.0	0.0	0.0
8. 3 ～ 8. 4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.8	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
9. 3 ～ 9. 4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	25.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.4	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0
10. 3 ～ 10. 4	2年	1.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.6	2.3	1.7	10.0	0.0	0.0

カ ネット病

表11 発生量の年平均比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	並	並	並	並	並
丹波	並	並	並	並	並	並	並
丹後	並	並	並	並	並	並	並

表12 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	31年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5. 3 ~ 5. 4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 3 ~ 6. 4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7. 3 ~ 7. 4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8. 3 ~ 8. 4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9. 3 ~ 9. 4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10. 3 ~ 10. 4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

キ カンザワハダニ (指定)

表13 発生量の年平均比較

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	少	やや少	少	やや少	やや多	やや少	やや多	やや多
丹波	並	やや多	並	並	並	並	並	多	やや少
丹後	多	やや多	並	並	やや少	並	やや少	並	並

表14 越冬状況 令和2年 2月、3月の越冬状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		寄生葉率 (%)	産卵葉率 (%)	発生ほ場率 (%)	寄生葉率 (%)	産卵葉率 (%)	発生ほ場率 (%)	寄生葉率 (%)	産卵葉率 (%)	発生ほ場率 (%)
2. 5	2年	0.27	0.1	13.6	0.00	0.0	0.0	0.50	0.0	50.0
	31年	0.00	0.0	0.0	0.17	0.0	16.7	0.00	0.0	0.0
	平年	0.62	0.1	18.8	0.50	0.1	16.7	0.19	0.0	9.4
3. 4	2年	0.10	0.1	4.8	1.00	0.0	33.3	1.50	0.0	75.0
	31年	0.09	0.0	4.5	0.30	0.0	16.7	0.00	0.0	0.0
	平年	1.42	0.7	27.7	1.30	0.7	23.3	1.00	0.2	7.5

表15 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		寄生葉率 (%)	成幼虫数 (/100芽)	発生ほ場率 (%)	寄生葉率 (%)	成幼虫数 (/100芽)	発生ほ場率 (%)	寄生葉率 (%)	成幼虫数 (/100芽)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	2年	0.2	0.3	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	31年	0.8	10.7	31.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.0	6.7	19.6	1.3	4.6	18.3	0.5	3.3	10.0
5. 3 ~ 5. 4	2年	0.1	0.1	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	1.1	12.6	26.3	0.8	0.8	20.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.4	5.5	22.4	0.3	0.4	5.3	0.8	4.3	13.9
6. 3 ~ 6. 4	2年	5.7	38.4	47.6	2.3	5.5	50.0	0.5	2.5	25.0
	元年	18.0	133.0	95.2	10.7	62.3	66.7	2.5	27.0	100.0
	平年	10.8	63.1	64.0	5.4	35.7	41.7	6.6	31.7	55.0
7. 3 ~ 7. 4	2年	3.0	8.1	72.7	2.3	5.7	66.7	5.0	5.0	25.0
	元年	1.9	2.4	57.1	0.3	3.2	16.7	0.5	4.0	50.0
	平年	2.3	4.4	29.5	4.0	15.1	40.0	2.6	11.3	49.2
8. 3 ~ 8. 4	2年	0.6	2.1	22.7	4.7	12.0	66.7	8.0	9.0	100.0
	元年	4.7	14.3	40.9	7.3	39.0	83.3	16.0	123.0	50.0
	平年	4.0	11.6	35.6	7.4	52.9	60.0	8.0	41.5	62.5
9. 3 ~ 9. 4	2年	2.7	40.8	68.2	8.0	55.3	50.0	1.5	6.0	25.0
	元年	3.3	5.5	45.5	2.5	5.7	50.0	0.5	2.0	50.0
	平年	2.7	11.8	21.9	1.4	4.0	26.7	7.6	72.7	40.0
10. 3 ~ 10. 4	2年	1.3	3.3	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	1.5	5.8	40.9	1.5	6.8	50.0	2.5	16.0	75.0
	平年	0.6	1.5	10.5	0.6	1.5	21.7	0.7	2.6	20.0

ク チャノコカクモンハマキ (指定)

表16 発生量の年平均比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	やや多	並	並	並	やや少	並
丹波	並	並	並	やや多	多	多	並
丹後	並	並	多	やや多	並	多	多

表17 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		幼虫・蛹数 (/㎡)	綴葉数 (/㎡)	発生ほ場率 (%)	幼虫・蛹数 (/㎡)	綴葉数 (/㎡)	発生ほ場率 (%)	幼虫・蛹数 (/㎡)	綴葉数 (/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	2年	0.00	0.00	0.0	0.00	0.00	0.0	0.00	0.00	0.0
	31年	0.00	0.00	0.0	0.17	0.00	16.7	0.00	0.00	0.0
	平年	0.09	0.55	11.0	0.04	0.21	11.7	0.00	0.00	0.0
5. 3 ~ 5. 4	2年	0.24	0.12	11.8	0.00	0.00	0.0	0.00	0.00	0.0
	元年	0.16	0.00	4.5	0.00	1.40	40.0	1.00	2.00	33.3
	平年	0.04	0.06	2.7	0.02	0.16	7.3	0.11	0.22	3.7
6. 3 ~ 6. 4	2年	0.10	0.10	10.0	5.83	3.00	33.3	0.50	0.50	50.0
	元年	0.00	0.00	0.0	0.50	1.50	33.3	0.00	0.30	33.3
	平年	0.15	0.54	10.9	7.43	9.18	43.7	0.13	0.61	5.8
7. 3 ~ 7. 4	2年	0.05	0.10	9.5	4.83	1.17	14.3	0.25	0.25	25.0
	元年	0.00	0.05	4.8	1.75	8.75	75.0	0.00	0.00	0.0
	平年	0.20	0.36	8.6	1.81	4.14	44.8	0.32	0.65	5.8
8. 3 ~ 8. 4	2年	0.00	0.59	22.7	3.83	19.00	50.0	0.00	0.25	25.0
	元年	0.00	0.10	4.5	0.00	0.17	16.7	0.00	0.00	0.0
	平年	0.49	0.98	11.4	0.32	0.62	13.3	0.00	2.31	7.5
9. 3 ~ 9. 4	2年	0.00	0.68	18.2	0.67	5.67	83.3	3.00	17.75	75.0
	元年	0.00	0.30	13.6	0.00	0.20	16.7	0.30	1.00	50.0
	平年	0.08	4.69	26.1	0.05	2.30	28.3	0.03	0.23	10.0
10. 3 ~ 10. 4	2年	0.00	1.00	31.8	0.00	0.50	16.7	0.00	3.75	50.0
	元年	0.09	0.32	4.5	4.00	1.67	66.7	0.00	0.00	0.0
	平年	0.02	0.65	13.9	0.62	1.71	35.0	0.00	0.00	0.0

ケ チャノホソガ (指定)

表18 発生量の年平均比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	やや多	やや多	やや多	少	並	並	やや少
丹波	やや多	やや多	並	やや多	多	並	並
丹後	並	並	並	やや多	やや多	並	並

表19 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		寄生芽率 (%)	三角葉巻数 (/㎡)	発生ほ場率 (%)	寄生芽率 (%)	三角葉巻数 (/㎡)	発生ほ場率 (%)	寄生芽率 (%)	三角葉巻数 (/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	2年	0.8	0.0	4.5	0.0	0.17	16.7	0.0	0.0	0.0
	31年	0.0	0.0	0.0	-	0.00	0.0	-	0.0	0.0
	平年	0.2	0.1	7.8	0.0	0.02	1.7	3.3	0.0	2.5
5. 3 ~ 5. 4	2年	0.8	0.1	17.6	0.0	0.2	16.7	0.0	2.0	66.7
	元年	0.1	0.0	4.5	0.5	0.0	20.0	0.0	1.0	33.3
	平年	1.2	0.2	14.0	0.1	0.5	16.0	1.2	0.3	24.1
6. 3 ~ 6. 4	2年	2.5	0.3	30.0	26.7	1.8	33.3	-	0.0	0.0
	元年	0.4	0.0	8.3	2.0	0.0	100.0	4.0	0.0	100.0
	平年	2.8	0.01	17.1	28.5	0.2	28.7	29.9	0.4	40.0
7. 3 ~ 7. 4	2年	0.0	0.0	0.0	7.0	0.0	18.8	2.5	1.5	50.0
	元年	1.5	0.05	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	4.7	0.8	35.3	2.1	0.3	28.3	16.6	1.8	48.3
8. 3 ~ 8. 4	2年	1.3	0.1	40.9	14.5	2.2	50.0	1.0	1.0	25.0
	元年	0.0	0.1	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5	50.0
	平年	1.2	0.4	21.2	0.7	0.0	11.7	12.1	3.5	60.0
9. 3 ~ 9. 4	2年	2.5	0.5	40.9	0.0	0.5	33.3	0.0	0.0	0.0
	元年	0.0	0.1	13.6	2.3	0.0	66.7	2.0	0.3	50.0
	平年	5.4	1.6	34.9	0.8	0.3	35.7	1.8	1.0	47.5
10. 3 ~ 10. 4	2年	4.7	1.6	33.3	5.3	0.0	100.0	-	0.0	0.0
	元年	0.0	2.2	18.2	29.2	4.2	100.0	7.0	2.8	75.0
	平年	7.3	6.3	41.0	8.8	2.0	56.7	5.3	2.2	47.5

コ チャノキイロアザミウマ

表20 発生量の年平均比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	やや少	並	やや多	やや少	少	やや少	やや少
丹波	—	並	やや少	少	並	やや多	並
丹後	—	やや多	—	並	少	並	—

表21 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100芽)	発生ほ場率 (%)	被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100芽)	発生ほ場率 (%)	被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100芽)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ～ 4. 4	2年	0.3	0.2	16.7	0.0	0.0	0.0	—	—	—
	31年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
	平年	2.1	1.2	31.7	0.2	0.0	10.0	13.3	0.0	66.7
5. 3 ～ 5. 4	2年	2.6	7.1	29.4	0.0	0.3	16.7	7.3	0.0	66.7
	元年	0.0	0.0	0.0	3.0	2.0	75.0	3.0	5.0	50.0
	平年	2.8	4.0	40.4	1.0	0.4	23.2	1.1	0.6	28.7
6. 3 ～ 6. 4	2年	11.5	9.1	100.0	2.7	4.0	66.7	0.0	—	0.0
	元年	4.3	1.3	66.7	8.0	2.0	100.0	98.0	0.0	100.0
	平年	14.0	4.5	74.3	15.4	7.3	89.6	24.7	10.1	78.6
7. 3 ～ 7. 4	2年	9.5	42.1	68.8	0.5	1.5	25.0	10.0	1.0	75.0
	元年	26.5	38.9	100.0	1.5	1.0	25.0	34.0	9.0	100.0
	平年	35.0	77.0	97.6	9.4	4.1	73.3	13.9	5.2	75.0
8. 3 ～ 8. 4	2年	5.4	1.9	59.1	18.0	49.5	50.0	2.0	1.5	25.0
	元年	5.7	2.6	50.0	11.2	2.4	80.0	0.0	0.0	0.0
	平年	26.3	14.8	85.1	17.1	22.7	87.3	43.0	115.9	90.0
9. 3 ～ 9. 4	2年	9.9	5.1	81.8	15.0	13.0	75.0	26.0	18.7	100.0
	元年	19.7	45.0	95.5	4.3	4.0	83.3	4.0	2.0	75.0
	平年	23.0	27.2	86.2	10.5	6.1	84.7	23.9	13.4	92.5
10. 3 ～ 10. 4	2年	12.4	54.4	77.8	4.7	4.0	66.7	—	—	0.0
	元年	24.8	22.8	100.0	12.0	3.2	100.0	8.0	1.0	100.0
	平年	24.9	62.5	89.0	10.5	7.7	73.2	19.1	1.8	92.5

サ チャノミドリヒメヨコバイ

表22 発生量の年平均比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	やや多	やや少	やや多	少	少
丹波	—	並	やや多	少	並	やや少	並
丹後	—	並	—	並	多	並	—

表23 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100芽)	発生ほ場率 (%)	被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100芽)	発生ほ場率 (%)	被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100芽)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ～ 4. 4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—
	31年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
	平年	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5. 3 ～ 5. 4	2年	1.2	1.3	17.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	0.4	0.2	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.3	0.2	9.6	0.2	0.2	8.7	0.0	0.0	0.0
6. 3 ～ 6. 4	2年	1.8	10.7	72.7	26.7	12.0	100.0	—	—	—
	元年	1.7	3.0	66.7	4.0	66.0	100.0	0.0	88.0	100.0
	平年	2.2	3.0	26.5	2.6	17.9	75.0	0.7	13.1	32.1
7. 3 ～ 7. 4	2年	2.8	14.6	37.5	0.0	9.5	0.0	2.5	14.5	50.0
	元年	11.6	24.2	90.9	7.5	7.5	100.0	13.5	27.0	100.0
	平年	7.0	7.9	56.4	7.0	12.7	53.7	4.4	5.4	23.3
8. 3 ～ 8. 4	2年	7.9	1.4	86.4	6.0	7.0	0.0	7.0	1.5	100.0
	元年	1.3	0.5	27.3	1.2	0.4	40.0	0.0	0.0	0.0
	平年	5.1	3.2	37.9	7.2	10.1	55.5	2.0	1.4	40.0
9. 3 ～ 9. 4	2年	2.2	1.2	40.9	3.0	4.0	50.0	5.3	8.7	100.0
	元年	13.9	8.5	59.1	31.0	78.3	66.7	6.5	2.0	50.0
	平年	6.6	7.2	57.4	15.8	27.5	79.3	10.0	13.5	48.3
10. 3 ～ 10. 4	2年	2.3	1.6	38.9	13.3	30.7	100.0	—	—	—
	元年	12.8	4.3	46.2	21.2	22.4	83.3	10.0	8.0	100.0
	平年	8.4	10.6	47.6	13.9	16.8	71.0	4.3	3.3	61.7

シ コミカンアブラムシ

表24 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	多	並	多	やや少	並	やや多
丹波	—	やや多	並	やや多	やや多	やや多	やや多
丹後	—	並	—	並	並	やや少	—

表25 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		寄生芽率 (%)	成幼虫数 (/100芽)	発生ほ場率 (%)	寄生芽率 (%)	成幼虫数 (/100芽)	発生ほ場率 (%)	寄生芽率 (%)	成幼虫数 (/100芽)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ～ 4. 4	2年	0.2	5.0	8.3	0.0	0.0	0.0	—	—	—
	31年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
	平年	0.4	2.0	11.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5. 3 ～ 5. 4	2年	4.7	34.5	29.4	0.3	0.3	16.7	0.0	0.0	0.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	25.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.6	3.9	14.9	0.2	0.5	6.2	0.3	0.3	13.0
6. 3 ～ 6. 4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.9	5.5	14.4	0.4	2.0	15.0	2.1	21.7	53.6
7. 3 ～ 7. 4	2年	0.5	1.9	25.0	1.0	9.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	元年	0.2	0.2	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	0.5	6.2	0.5	1.8	13.0	1.2	12.9	32.5
8. 3 ～ 8. 4	2年	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	25.0	0.0	0.0	0.0
	元年	0.1	0.1	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.6	4.0	13.8	0.5	2.9	10.0	1.8	16.3	35.0
9. 3 ～ 9. 4	2年	0.9	0.3	9.1	4.0	15.0	75.0	0.0	0.0	0.0
	元年	1.6	14.5	36.4	3.0	32.0	33.3	0.5	0.5	25.0
	平年	1.4	12.9	24.7	2.9	127.9	47.3	1.6	8.3	45.0
10. 3 ～ 10. 4	2年	2.0	14.2	33.3	8.0	27.3	100.0	—	—	—
	元年	1.1	5.8	23.1	6.0	25.2	100.0	1.0	6.0	50.0
	平年	1.0	8.5	27.4	4.4	23.8	67.7	4.2	45.6	40.8

ス ツマグロアオカスミカメ

表26 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	(やや多)	やや多	多	やや多	多	多	多
丹波	(やや少)	やや多	多	やや少	少	多	やや少
丹後	(並)	やや多	やや少	やや少	やや少	並	少

表27 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		被害芽率 (%)	被害葉数 (/㎡)	発生ほ場率 (%)	被害芽率 (%)	被害葉数 (/㎡)	発生ほ場率 (%)	被害芽率 (%)	被害葉数 (/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ～ 4. 4	2年	3.0	0.4	31.8	1.3	0.7	50.0	—	0.0	0.0
	31年	0.0	0.1	4.5	—	—	—	—	—	—
	平年	1.4	0.4	10.2	4.4	2.0	44.4	0.7	0.7	16.7
5. 3 ～ 5. 4	2年	2.2	6.4	35.3	3.0	0.8	83.3	16.7	26.0	100.0
	元年	6.0	4.8	82.4	2.5	1.4	80.0	4.0	1.7	66.7
	平年	1.4	1.5	23.9	2.3	6.0	55.3	16.3	13.4	88.0
6. 3 ～ 6. 4	2年	1.3	3.8	57.9	5.3	5.2	100.0	—	3.0	100.0
	元年	3.3	5.1	83.3	2.0	3.5	100.0	0.0	4.7	100.0
	平年	1.2	0.9	22.1	2.3	2.0	45.7	18.6	57.9	85.0
7. 3 ～ 7. 4	2年	2.4	7.1	31.3	2.5	4.8	50.0	6.0	18.5	100.0
	元年	13.3	5.5	72.7	8.0	11.8	100.0	52.0	30.3	100.0
	平年	1.6	2.2	32.2	7.9	9.1	61.2	24.9	28.1	85.0
8. 3 ～ 8. 4	2年	15.4	54.6	95.5	0.5	9.3	25.0	1.0	7.8	50.0
	元年	3.7	4.4	68.2	30.8	26.2	100.0	0.0	14.0	50.0
	平年	3.4	1.9	58.1	17.8	16.9	90.0	20.1	22.5	77.5
9. 3 ～ 9. 4	2年	9.5	36.2	90.9	17.5	2.8	83.3	5.3	2.7	100.0
	元年	0.4	2.3	31.8	2.3	5.2	100.0	1.0	2.3	100.0
	平年	0.9	1.5	30.4	2.3	4.8	60.0	5.5	10.5	77.5
10. 3 ～ 10. 4	2年	8.9	4.4	83.3	1.3	4.0	66.7	—	0.0	0.0
	元年	0.0	0.3	9.1	1.6	2.8	83.3	3.0	1.3	100.0
	平年	1.5	0.7	29.4	4.7	6.6	73.3	7.5	7.4	62.5

セ クワシロカイガラムシ

表28 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	少	少	やや少	少	少	やや少	少
丹波	並	少	やや多	やや多	多	多	多
丹後	並	少	並	並	並	並	やや多

表29 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		寄生株率 (%)	発生ほ場率 (%)	寄生株率 (%)	発生ほ場率 (%)	寄生株率 (%)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ～ 4. 4	2年	1.8	31.8	3.3	50.0	5.0	50.0
	31年	6.8	36.4	0.0	0.0	13.8	75.0
	平年	18.3	55.6	8.0	55.0	22.6	65.0
5. 3 ～ 5. 4	2年	3.0	29.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	3.2	21.1	2.0	40.0	8.3	100.0
	平年	14.2	55.6	9.1	44.0	16.5	63.9
6. 3 ～ 6. 4	2年	11.9	66.7	54.2	83.3	13.8	75.0
	元年	12.1	42.9	5.0	66.7	2.5	25.0
	平年	20.0	65.1	24.2	70.0	26.4	52.5
7. 3 ～ 7. 4	2年	1.4	13.6	24.2	100.0	2.5	50.0
	元年	18.1	66.7	2.7	66.7	27.5	50.0
	平年	13.0	51.4	17.3	56.7	20.8	47.5
8. 3 ～ 8. 4	2年	3.4	22.7	50.0	83.3	18.5	100.0
	元年	16.4	45.5	10.8	66.7	2.5	50.0
	平年	16.8	52.3	21.0	66.3	33.2	72.5
9. 3 ～ 9. 4	2年	4.5	27.3	32.5	83.3	17.5	100.0
	元年	11.1	50.0	7.5	50.0	0.0	0.0
	平年	17.2	57.6	9.2	65.0	18.9	60.0
10. 3 ～ 10. 4	2年	2.5	27.3	61.7	83.3	40.0	100.0
	元年	24.5	36.4	21.7	100.0	12.5	50.0
	平年	19.9	58.1	25.4	78.3	22.3	80.0

ソ チャトゲコナジラミ

表30 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		寄生葉率 (%)	発生量指数	発生ほ場率 (%)	寄生葉率 (%)	発生量指数	発生ほ場率 (%)	寄生葉率 (%)	発生量指数	発生ほ場率 (%)
4. 3 ～ 4. 4	2年	26.1	14.9	86.4	24.0	12.8	83.3	60.0	38.0	100.0
	31年	9.5	5.1	50.0	14.3	7.2	83.3	43.0	26.0	100.0
	平年	14.0	7.5	75.3	11.9	6.5	56.7	35.3	20.3	97.5
5. 3 ～ 5. 4	2年	31.3	16.9	94.7	8.7	4.3	66.7	59.3	40.0	100.0
	元年	25.1	14.3	84.2	8.0	4.0	40.0	58.7	35.0	100.0
	平年	21.9	13.0	73.5	9.8	5.6	57.0	41.3	25.7	100.0
6. 3 ～ 6. 4	2年	31.0	19.3	85.7	13.7	7.7	83.3	58.7	33.0	100.0
	元年	13.6	7.8	71.4	6.0	3.5	50.0	6.5	3.8	75.0
	平年	21.3	13.2	77.4	8.9	4.9	73.3	25.4	18.6	65.0
7. 3 ～ 7. 4	2年	42.6	27.5	100.0	21.3	11.7	100.0	48.5	30.0	100.0
	元年	30.4	16.7	14.3	32.0	19.0	100.0	59.0	37.3	100.0
	平年	46.8	24.7	78.5	30.2	18.5	75.0	63.6	47.8	97.5
8. 3 ～ 8. 4	2年	26.9	18.2	95.5	1.7	0.8	50.0	42.5	24.0	100.0
	元年	20.1	11.4	77.3	8.0	4.2	83.3	37.5	29.0	75.0
	平年	29.8	13.1	76.8	14.4	8.9	59.7	64.4	48.1	97.5
9. 3 ～ 9. 4	2年	28.8	18.2	95.5	2.0	1.0	50.0	45.0	28.5	100.0
	元年	14.8	8.4	68.2	1.0	0.7	33.3	44.5	32.3	100.0
	平年	28.3	13.4	76.2	26.2	12.5	56.7	71.4	53.9	95.0
10. 3 ～ 10. 4	2年	31.1	21.9	100.0	3.7	1.8	100.0	24.5	13.5	100.0
	元年	11.5	6.9	22.7	2.7	1.3	50.0	32.0	18.8	100.0
	平年	13.1	7.8	62.6	6.9	3.5	55.8	38.9	28.1	97.5

(10) キュウリ
病害虫の発生状況

表1 月別平年比較

作型	露地栽培					施設栽培			
病害虫名\調査月	5月	6月	7月	8月	全期間	9月	10月	11月	全期間
べと病	並(-)	やや多	並	やや多	やや多	並(-)	やや多	多	やや多
炭疽病	—	—	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	多	やや多
うどんこ病	並(-)	並(-)	並	並(-)	並	やや少	やや少	やや多	やや少
斑点細菌病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
褐斑病	並(-)	並(-)	やや多	並	やや多	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
モザイク病	並(-)	並(-)	並	並(-)	並	並(-)	並(-)	やや多	やや多
灰色かび病	並(-)	並(-)	(-)	(-)	並(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
アブラムシ類	やや多	やや少(-)	並	並(-)	並	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
ハダニ類	並(-)	やや少(-)	並	多	やや多	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
ハモグリバエ類	並(-)	やや少(-)	少	並	やや少	少(-)	やや少	少(-)	少
アザミウマ類	多	やや少	少	並(-)	並	多	多	並(-)	やや多
コナジラミ類	やや多	並(-)	並(-)	やや多	やや多	多	多	やや多	多
ハスモンヨトウ	並(-)	—	—	—	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
ワタヘリクロノメイ	並(-)	(-)	(-)	(-)	並(-)	(+)	(-)	(-)	(+)

—：調査せず、(+)：発生を認めた、(-)：発生を認めず

表2 巡回調査結果

(25株、2葉、4果調査)

調査時期 (月・半旬)	年次	べと病			炭疽病			うどんこ病			斑点細菌病			褐斑病			モザイク病		灰色かび病		
		発病率 葉率(%)	発病率 株率(%)	発生ほ場率(%)	発病率 葉率(%)	発病率 株率(%)	発生ほ場率(%)	発病率 葉率(%)	発病率 株率(%)	発生ほ場率(%)	発病率 葉率(%)	発病率 株率(%)	発生ほ場率(%)	発病率 葉率(%)	発病率 株率(%)	発生ほ場率(%)	発病率 株率(%)	発生ほ場率(%)	発病率 株率(%)	発病率 果率(%)	発生ほ場率(%)
5・3～4 (露地栽培)	2年	0.0	0.0	0.0	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	0.0
	元年	0.0	0.0	0.0	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	23.0	50.0	0.0	0.0	0.0	-	0.0
	平年	0.6	1.2	10.8	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.5	0.9	7.5	0.2	4.2	18.1	0.0	0.0	0.0	-	0.0
6・3～4 (露地栽培)	2年	8.7	26.7	33.3	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	1.5	5.0	25.0	-	-	-	0.0	0.0	0.0	21.5	23.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	3.2	11.5	35.0	-	-	-	0.4	1.5	15.0	5.2	6.2	10.0	1.1	4.2	16.7	0.6	7.5	0.0	0.0	0.0
7・3～4 (露地栽培)	2年	10.8	21.6	60.0	0.0	0.0	0.0	5.2	8.8	40.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.8	20.0	0.8	20.0	0.0	0.0	0.0
	元年	7.0	15.3	66.7	0.0	0.0	0.0	8.0	11.3	16.7	44.3	50.0	50.0	9.0	14.7	50.0	9.3	16.7	0.0	0.0	0.0
	平年	22.2	33.3	66.7	2.7	6.4	26.0	6.9	12.2	31.0	7.0	8.6	11.0	0.9	1.5	5.0	9.5	39.0	-	-	-
8・3～4 (露地栽培)	2年	4.0	22.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	2.0	4.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.0	30.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	3.0	13.4	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.2	21.6	40.0	0.4	5.0	-	-	-
9・3～4 (施設栽培)	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.4	3.3	13.3	0.0	1.2	10.0	6.0	40.5	85.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	5.0	0.0	0.0	-	-	-
10・3～4 (施設栽培)	2年	2.0	4.0	33.3	0.0	0.0	0.0	18.0	49.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	58.0	98.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	2.2	4.9	23.3	0.2	0.6	15.0	26.9	64.6	93.3	0.0	0.0	0.0	0.2	0.4	6.7	0.0	0.0	-	-	-
11・3～4 (施設栽培)	2年	50.7	85.3	100.0	24.0	30.7	33.3	62.7	98.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	元年	2.0	5.3	66.7	0.0	0.0	0.0	48.0	64.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	16.7	26.8	73.3	0.0	0.5	6.7	47.6	76.8	93.3	0.1	0.3	6.7	2.7	3.9	13.3	0.3	3.3	-	-	-

調査時期 (月・半旬)	年次	アブラムシ類			ハダニ類			ハモグリバエ類			アザミウマ類			コナジラミ類			ハスモンヨトウ			ワタヘリ クロノメイガ	
		寄生 虫数 (/葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 葉率 (%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
5・3～4 (露地栽培)	2年	0.09	6.0	100.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.64	47.3	100.0	0.01	1.3	33.3	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	0.01	1.0	50.0	0.01	0.5	25.0	0.0	0.0	0.0	1.00	29.5	100.0	0.01	0.5	25.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.09	7.1	53.3	0.01	0.5	10.8	0.0	0.0	0.0	0.40	22.4	95.0	0.004	0.3	15.8	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0
6・3～4 (露地栽培)	2年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.50	32.0	100.0	0.00	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0
	元年	0.02	1.0	25.0	0.16	8.5	100.0	0.0	0.0	0.0	16.67	97.0	100.0	0.00	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0
	平年	0.03	1.5	32.5	0.07	2.2	33.3	2.2	10.7	51.7	4.01	51.6	90.0	0.00	0.0	0.0	—	—	—	—	—
7・3～4 (露地栽培)	2年	0.05	1.6	40.0	0.10	2.4	40.0	0.0	1.6	20.0	0.004	0.8	20.0	0.00	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0
	元年	0.70	3.3	33.3	0.01	1.0	33.3	0.7	2.0	33.3	0.367	15.0	66.7	0.00	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0
	平年	0.78	2.3	21.0	0.30	6.4	39.7	4.9	13.2	71.3	0.797	20.1	66.7	0.00	0.0	1.7	—	—	—	—	—
8・3～4 (露地栽培)	2年	0.00	0.0	0.0	0.10	2.0	50.0	0.0	14.0	100.0	0.000	0.0	0.0	0.01	1.0	50.0	—	—	—	0.0	0.0
	元年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	6.0	50.0	0.010	1.0	50.0	0.00	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0
	平年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	4.0	15.8	60.0	0.001	0.1	5.0	0.003	0.5	15.0	—	—	—	—	—
9・3～4 (施設栽培)	2年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.13	2.7	66.7	4.92	65.3	100.0	0.00	0.0	0.0	1.3	33.3
	元年	0.00	0.0	50.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.03	2.0	50.0	0.86	22.0	100.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.14	0.9	18.3	0.003	0.3	15.0	3.8	45.7	90.0	0.01	1.3	31.7	0.22	12.5	71.7	0.00	0.0	0.0	—	—
10・3～4 (施設栽培)	2年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	2.7	66.7	0.08	5.3	100.0	2.09	48.7	100.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.46	20.0	50.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.14	1.4	11.7	0.01	0.2	3.3	9.5	37.2	65.0	0.01	0.6	6.7	0.19	13.3	65.0	0.00	0.1	3.3	—	—
11・3～4 (施設栽培)	2年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.77	21.3	100.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.56	29.7	100.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.12	0.5	6.7	0.09	2.3	10.0	5.9	22.0	76.7	0.35	4.4	16.7	0.16	8.8	53.3	0.00	0.1	0.0	—	—

(11)トマト

病害虫の発生状況

表1 月別平年比較

病害虫名\調査月	3月	4月	5月	6月	全期間
疫病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
灰色かび病	—	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
モザイク病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
葉かび病	並(-)	並(-)	並(-)	並	並
うどんこ病	並(-)	並(-)	並(-)	少(-)	やや少
アブラムシ類	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
アザミウマ類	(-)	並(-)	並	やや多	やや多
コナジラミ類	並(-)	並(-)	並(-)	やや多	やや多
ハモグリバエ類	並(-)	並(-)	並(-)	並	並
ハスモンヨトウ	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)

(+)：発生を認めた、(-)：発生を認めず、—：調査せず

表2 巡回調査結果

(25株・2複葉・2花・4果調査)

調査時期 (月・半旬)	年次	疫病		灰色かび病		モザイク病		葉かび病		うどんこ病	
		発病程度	発生 ほ場 率(%)	発病程度	発生 ほ場 率(%)	発病株 率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病程度	発生 ほ場 率(%)	発病株 率 (%)	発生 ほ場 率(%)
3・3～4	2年	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	31年	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	31年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	25.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	5.0	0.2	2.5
5・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0
	平年	0.0	0.0	0.5	6.0	0.0	0.0	2.0	4.0	0.02	2.0
6・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	40.0	0.0	0.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	20.0
	平年	0.0	0.0	2.0	12.0	0.1	4.0	6.6	20.0	3.5	26.0

調査時期 (月・半旬)	年次	アブラムシ類		アザミウマ類			コナジラミ類			ハモグリバエ類			ハスモンヨトウ		
		寄生株 率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生花 率 (%)	白ぶく れ果率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生虫 数(頭 /株)	寄生葉 率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生葉 率 (%)	寄生株 率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生株 率 (%)	被害株 率 (%)	発生 ほ場 率(%)
3・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	31年	0.0	0.0	—	—	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	—	—	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	31年	1.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.7	7.5	0.0	0.1	5.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5・3～4	2年	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	0.8	20.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.6	14.0	—	1.3	16.7	0.00	0.0	0.0	0.2	1.3	6.0	0.0	0.0	0.0
6・3～4	2年	0.0	0.0	6.5	3.0	40.0	0.00	0.00	20.0	0.4	0.8	20.0	0.0	0.0	0.0
	元年	0.0	0.0	24.6	3.6	100.0	0.00	0.00	0.0	0.5	3.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.3	10.0	—	2.8	56.7	0.0004	0.04	2.0	3.1	10.9	26.0	0.0	0.0	0.0

(12) ナス 病害虫の発生状況

表1 月別平年比較

病害虫名\調査月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
うどんこ病	並(-)	並(-)	多	やや少	やや少	やや少	やや少
褐色円星病	多	並(-)	やや多	多	やや多	並	やや多
すすかび病	並(-)	並(-)	多	多	多	やや多	やや多
灰色かび病	—	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
褐色腐敗病	—	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
アブラムシ類	並	並	並(-)	並	並	やや多	並
ハダニ類	やや多	やや多	並	やや多	やや多	やや多	やや多
ハモグリバエ類	並	やや少	並	やや多	並	並	並
アザミウマ類	並	少	やや少	やや少	並	並	やや少
コナジラミ類	並(-)	多	多	多	多	多	多

—：調査せず、(+)：発生を認めた、(-)：発生を認めず

表2 巡回調査結果

(5葉、5果、3花/株、20株調査)

調査時期 (月・半旬)	年 次	うどんこ病			褐色円星病			すすかび病			灰色かび病			褐色腐敗病	
		発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 果率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 果率 (%)	発生 ほ場 率(%)
5・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	0.3	1.7	16.7	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.7	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—
6・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7・3～4	2年	7.4	16.4	28.6	2.4	10.0	42.9	0.1	0.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	1.3	12.9	14.3	1.6	8.6	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.5	3.2	13.9	0.6	4.2	28.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8・3～4	2年	1.0	5.7	28.6	12.4	57.9	71.4	0.4	11.4	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	0.9	6.4	42.9	2.4	13.6	85.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	9.0	24.3	49.8	2.4	14.6	47.5	0.0	0.1	1.4	0.0	0.1	19.0	0.0	0.0
9・3～4	2年	4.9	19.3	71.4	16.9	40.7	85.7	5.0	10.7	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	16.0	57.1	100.0	5.3	32.9	85.7	1.6	5.7	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	17.9	44.4	70.0	10.0	34.8	66.1	0.2	0.6	8.0	0.0	0.0	0.0	0.8	4.3
10・3～4	2年	14.7	47.9	85.7	18.3	47.1	85.7	0.1	2.9	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	40.6	77.1	100.0	3.1	24.3	57.1	0.6	2.1	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	26.7	58.1	87.5	15.2	43.6	71.8	0.1	0.6	3.9	0.0	0.0	0.0	0.1	6.8

調査時期 (月・半旬)	年 次	アブラムシ類			ハダニ類			ハモグリバエ類			アザミウマ類			コナジラミ類		
		寄生 虫数 (/葉)	寄生 葉率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 葉率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 葉率 (%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 葉率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 葉率 (%)	発生 ほ場 率(%)
5・3～4	2年	0.19	14.8	100.0	0.02	1.2	50.0	0.2	0.8	16.7	0.05	2.7	66.7	0.00	0.0	0.0
	元年	0.03	2.8	83.3	0.03	0.2	16.7	0.0	0.0	0.0	0.02	2.2	66.7	0.00	0.2	16.7
	平年	0.36	16.3	90.0	0.04	0.8	18.7	1.9	7.0	33.2	0.12	4.5	55.0	0.002	0.04	3.3
6・3～4	2年	0.03	1.6	57.1	0.19	4.0	42.9	0.1	0.7	14.3	0.05	2.9	100.0	0.003	0.3	28.6
	元年	0.00	0.3	28.6	0.03	1.4	42.9	0.3	2.1	28.6	0.44	19.6	100.0	0.003	0.3	28.6
	平年	0.10	3.9	54.1	0.16	2.1	37.6	1.7	12.1	45.5	0.28	12.7	87.5	0.001	1.1	10.9
7・3～4	2年	0.00	0.0	0.0	0.15	2.0	57.1	1.4	12.1	14.3	0.01	1.7	42.9	0.01	0.9	42.9
	元年	0.00	0.3	28.6	1.30	10.3	42.9	0.0	0.7	14.3	0.03	1.7	57.1	0.003	0.3	14.3
	平年	0.04	0.7	12.4	0.73	4.4	30.3	2.3	7.5	28.6	0.05	2.8	45.7	0.003	0.2	13.2
8・3～4	2年	0.003	0.3	28.6	0.56	5.6	42.9	13.3	15.7	42.9	0.001	0.1	14.3	0.45	21.3	57.1
	元年	0.00	0.0	0.0	0.12	4.1	57.1	0.1	0.7	14.3	0.004	0.4	28.6	0.00	0.0	0.0
	平年	0.01	0.5	11.8	0.67	3.8	43.7	2.8	17.3	47.5	0.03	1.6	41.8	0.02	1.4	16.5
9・3～4	2年	0.01	0.4	14.3	0.29	6.0	57.1	10.3	20.7	71.4	0.02	2.1	42.9	0.35	17.0	71.4
	元年	0.26	4.0	57.1	2.20	20.4	85.7	1.6	12.1	71.4	0.07	5.9	85.7	0.06	10.7	42.9
	平年	0.06	1.6	30.4	0.46	5.3	32.9	10.7	31.8	64.5	0.06	2.6	34.6	0.09	4.6	51.2
10・3～4	2年	0.17	3.6	42.9	0.29	6.0	57.1	7.1	25.7	71.4	0.03	1.9	57.1	0.26	11.1	100.0
	元年	0.04	1.4	42.9	0.95	7.9	57.1	1.1	6.4	57.1	0.01	0.6	28.6	0.02	3.9	71.4
	平年	0.12	2.7	27.9	2.26	5.0	23.2	13.8	32.9	68.9	0.01	0.7	28.2	0.06	4.4	61.8

(13)キャベツ 病害虫の発生状況

表1 月別平年比較

作型	春キャベツ				秋冬キャベツ			
病害虫名\調査月	3月	4月	5月	全期間	9月	10月	11月	全期間
べと病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
黒腐病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	やや多	やや多	やや多
菌核病	並(-)	並(-)	並	並	並(-)	やや多	並(-)	やや多
アブラムシ類	並	やや少	並	やや少	やや多	やや少	並	並
モンシロチョウ	並(-)	並(-)	並	並	並(-)	やや多	やや少	並
コナガ	並(-)	並	少(-)	やや少	並	並	並(-)	並
ハスモンヨトウ	(-)	(-)	並(-)	並(-)	並	並(-)	並(-)	並
ヨトウガ	(-)	(+)	やや多	やや多	並(-)	やや多	多	やや多
ウワバ類	並(-)	並(-)	並	並	並	やや多	並(-)	やや多
アザミウマ類	並(-)	並	やや少	やや少	やや少	少	並(-)	やや少

ー：調査せず、(+):発生を認めた、(-):発生を認めず

表2 巡回調査結果

(25株調査)

調査時期 (月・半旬)	年次	べと病		黒腐病		菌核病		アブラムシ類			モンシロチョウ			コナガ		
		発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	幼虫数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	幼虫・ 蛹数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
3・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	2.4	40.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	3 1年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	1.3	33.3	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.7	0.5	2.5	34.2	0.00	0.0	0.0	0.02	0.2	3.3
4・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	7.2	100.0	0.00	0.0	0.0	0.08	0.8	20.0
	3 1年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	20.0	4.2	21.6	100.0	0.10	0.8	20.0	0.10	0.8	20.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	3.7	6.3	17.8	84.2	0.02	0.1	3.7	0.64	4.8	28.7
5・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	15.2	100.0	0.16	1.6	40.0	0.00	0.0	0.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	2.4	40.0	3.00	21.6	40.0	2.50	18.4	100.0
	平年	0.2	2.0	1.5	17.5	1.0	7.3	10.5	23.9	70.8	0.79	6.2	26.8	1.59	11.5	66.8
9・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	5.3	66.7	0.00	0.0	0.0	0.13	1.3	16.7
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.5	2.2	0.0	0.0	2.9	5.2	48.3	0.18	1.8	16.7	0.17	1.3	9.6
10・3～4	2年	0.0	0.0	6.0	50.0	0.0	16.7	0.3	1.3	16.7	0.67	5.3	66.7	0.07	0.7	16.7
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	2.0	50.0	0.10	1.0	25.0	0.00	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	2.9	11.2	0.0	0.0	4.4	5.8	52.2	0.26	2.2	31.0	0.11	1.1	13.2
11・3～4	2年	0.0	0.0	15.4	28.6	0.00	0.0	0.3	2.9	57.1	0.06	0.6	14.3	0.00	0.0	0.0
	元年	0.0	0.0	1.0	25.0	0.00	0.0	0.1	1.0	50.0	1.10	11.0	25.0	0.00	0.0	0.0
	平年	0.1	1.7	6.5	25.0	0.01	4.2	10.0	5.3	46.7	0.83	6.6	30.8	0.09	0.9	10.8

調査時期 (月・半旬)	年次	ハスモンヨトウ			ヨトウガ			ウワバ類			アザミウマ類		
		卵塊・ 幼虫数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	卵塊・ 幼虫数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	幼虫数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
3・3～4	2年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3 1年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	4.7	0.0	83.3
	平年	-	-	-	-	-	-	0.00	0.0	0.0	2.1	-	23.8
4・3～4	2年	0.00	0.0	0.0	0.20	0.8	20.0	0.00	0.0	0.0	4.8	12.0	80.0
	3 1年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	22.4	28.8	80.0
	平年	-	-	-	-	-	-	0.02	0.1	3.3	27.9	-	86.4
5・3～4	2年	0.00	0.0	0.0	4.24	3.2	20.0	0.16	0.8	20.0	17.6	17.6	60.0
	元年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	99.2	56.8	100.0
	平年	-	0.0	0.0	0.73	1.7	14.8	0.13	1.2	20.0	60.6	-	97.6
9・3～4	2年	0.07	0.7	16.7	0.00	0.0	0.0	0.07	0.7	16.7	0.4	4.0	16.7
	元年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.40	4.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.88	2.1	17.6	0.02	0.2	2.1	0.67	5.1	19.4	31.9	-	52.7
10・3～4	2年	0.00	0.0	0.0	2.67	5.3	50.0	0.33	3.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	元年	0.00	0.0	0.0	5.30	5.0	25.0	0.00	0.0	0.0	86.0	80.0	100.0
	平年	0.40	2.1	12.8	0.61	0.9	9.5	0.21	1.8	20.3	35.7	-	77.1
11・3～4	2年	0.00	0.0	0.0	0.17	1.7	14.3	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	6.0	16.0	100.0
	平年	0.02	0.2	5.8	0.01	0.1	1.7	0.27	1.4	12.5	-	27.8	64.3

(14)ダイコン 病害虫の発生状況

表1 月別平年比較

病害虫名\調査月	9月	10月	11月	全期間
黒斑細菌病	並(-)	並(-)	やや多	やや多
白さび病	並(-)	やや多	並(-)	やや多
モザイク病	—	やや多	—	やや多
アブラムシ類	やや少	やや多	やや多	やや多
コナガ	並(-)	並(-)	並	並
ハスモンヨトウ	並(-)	並	やや多	やや多
ハイマダラノメイガ	並	やや少(-)	並(-)	並

—：調査せず、(+)：発生を認めた、(-)：発生を認めず

表2 巡回調査結果

(25株調査)

調査時期 (月・半旬)	年次	黒斑細菌病		白さび病		モザイク病		アブラムシ類		
		発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/10葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
9・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.1	0.8	20.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.7	3.0	35.5
10・3～4	2年	0.0	0.0	0.7	16.7	0.0	16.7	0.7	6.0	33.3
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	6.9	42.9
	平年	2.1	4.0	0.2	2.0	0.0	0.0	3.1	3.3	31.4
11・3～4	2年	2.7	33.3	0.0	0.0	—	—	47.9	19.3	66.7
	元年	14.7	33.3	0.7	16.7	—	—	5.3	7.3	33.3
	平年	2.2	10.7	4.8	18.3	—	—	10.3	12.6	54.7

調査時期 (月・半旬)	年次	コナガ			ハスモンヨトウ			ハイマダラノメイガ		
		幼虫・ 蛹数 (/10葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	卵塊・ 幼虫数 (/10葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	幼虫数 (/10葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
9・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.8	20.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	17.0	100.0
	平年	0.01	0.1	6.7	0.02	0.2	7.8	0.4	2.9	26.7
10・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	0.1	0.7	16.7	0.0	0.0	0.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	10.9	85.7
	平年	0.1	0.4	3.4	0.2	1.6	25.4	1.2	7.7	36.8
11・3～4	2年	1.3	3.3	16.7	0.1	1.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	元年	0.3	3.3	50.0	0.1	0.7	16.7	0.0	0.0	0.0
	平年	0.7	4.9	41.0	0.1	0.5	9.0	0.5	4.7	31.5

(15)カブ 病害虫の発生状況

表1 月別平年比較

病害虫名\調査月	9月	10月	11月	全期間
べと病	並(-)	やや少	並	やや少
軟腐病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
黒斑病	並(-)	並(-)	やや多	やや多
白斑病	並(-)	やや多	やや多	やや多
白さび病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
アブラムシ類	やや少	並	多	並
コナガ	多	並(-)	並(-)	やや多
ハモグリバエ類	並(-)	やや少	やや少	やや少

－：調査せず、(+)：発生を認めた、(-)：発生を認めず

表2 巡回調査結果

(25株調査)

調査時期 (月・半旬)	年次	べと病		軟腐病		黒斑病		白斑病		白さび病	
		発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
9・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0
10・3～4	2年	6.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	16.7	0.0	0.0
	元年	28.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	34.3	41.2	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	6.0	0.6	3.7
11・3～4	2年	46.0	50.0	0.0	0.0	3.0	25.0	40.0	50.0	0.0	0.0
	元年	45.3	66.7	0.0	0.0	6.7	33.3	36.0	100.0	29.3	33.3
	平年	42.2	54.3	0.0	0.0	0.8	7.8	16.2	34.7	3.3	7.8

調査時期 (月・半旬)	年次	アブラムシ類			コナガ			ハモグリバエ類	
		寄生 虫数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	幼虫・ 蛹数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
9・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	0.3	2.7	33.3	0.0	0.0
	元年	1.4	6.0	75.0	0.2	2.0	50.0	0.0	0.0
	平年	0.5	3.4	43.5	0.02	0.2	5.6	0.4	7.4
10・3～4	2年	0.5	4.7	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
	元年	6.7	6.3	28.6	0.0	0.0	0.0	3.4	42.9
	平年	1.8	4.2	39.4	0.1	1.0	6.0	3.2	26.8
11・3～4	2年	26.7	34.0	100.0	0.0	0.0	0.0	3.0	50.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	66.7
	平年	3.7	5.9	44.8	0.8	5.5	22.0	13.7	68.8

(16)ホウレンソウ

病害虫の発生状況

表1 月別平年比較

病害虫名\調査月	春どり		秋どり		
	4月	全期間	10月	11月	全期間
べと病	多	多	並(-)	並(-)	並(-)
アブラムシ類	多	多	多	やや多	やや多
ヨトウガ	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
ハダニ類	並(-)	並(-)	(+)	(+)	(+)
シロオビノメイガ	—	—	並(-)	並(-)	並(-)

—：調査せず、(+)：発生を認めた、(-)：発生を認めず

表2 巡回調査結果

(25株調査)

調査時期 (月・半旬)	年次	べと病		アブラムシ類		ヨトウガ		ハダニ類		シロオビノメイガ	
		発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
4・3～4	2年	8.0	66.7	10.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	31年	0.0	0.0	3.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	平年	0.0	0.0	3.9	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
10・3～4	2年	0.0	0.0	4.0	33.3	0.0	0.0	1.3	33.3	0.0	0.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	1.0	17.5	0.0	0.0	—	—	1.4	12.5
11・3～4	2年	0.0	0.0	3.0	50.0	0.0	0.0	0.5	25.0	0.0	0.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	1.6	22.5	0.0	0.0	—	—	0.2	5.0

(17)ネギ(小株…葉長が40cm未満の株)

病害虫の発生状況

表1 月別平年比較

病害虫名\調査月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	全期間
さび病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
黒斑病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
えそ条斑病	並(-)	やや少	(+)	やや少	少(-)	やや少(-)	並(-)	並(-)	やや少
アブラムシ類	並	やや多	並(-)	並(-)	並(-)	並	並(-)	並(-)	並
シロイチモジヨトウ	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	やや多	やや多	やや多	多	やや多
ネギハモグリバエ	少(-)	やや少	少(-)	やや少	やや少	少	少	少	少
ネギアザミウマ	並	やや多	並	並	並	並	並	少	並

－：調査せず、(+)：発生を認めた、(-)：発生を認めず

表2 巡回調査結果

(25株調査)

調査時期 (月・半旬)	年次	さび病		黒斑病		えそ条斑病		アブラムシ類		シロイチモジヨトウ		ネギハモグリバエ		ネギアザミウマ	
		発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
4・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	24.7	66.7
	31年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	20.0	50.4	100.0
	平年	0.9	4.5	0.0	0.0	－	－	2.9	28.5	0.0	0.0	4.8	33.5	36.4	80.0
5・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	20.0	4.0	20.0	0.0	0.0	6.4	60.0	99.2	100.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	28.6	0.0	0.0	18.3	71.4	85.1	100.0
	平年	2.3	12.5	0.0	0.0	8.3	38.0	2.9	29.4	0.0	0.0	37.9	61.8	74.7	82.5
6・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	55.2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	42.4	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.2	80.0	100.0	100.0
	平年	2.4	8.3	0.1	1.3	－	－	0.5	10.0	0.0	0.0	34.7	78.8	91.2	100.0
7・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	16.7	79.3	100.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	12.6	42.9	0.0	0.0	5.1	57.1	0.0	0.0	59.4	85.7
	平年	0.0	0.0	3.6	8.8	13.5	55.2	0.0	0.0	0.8	9.6	38.8	67.5	63.9	91.5
8・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	37.5	9.5	50.0	49.0	100.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	60.0	0.0	0.0	2.6	60.0	3.2	60.0	50.4	80.0
	平年	0.0	0.0	0.1	1.4	4.0	46.0	0.0	0.0	1.3	14.9	39.1	75.0	35.7	78.8
9・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	16.7	4.7	50.0	6.7	66.7	24.0	83.3
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	16.7	0.0	0.0	7.3	50.0	30.7	66.7	20.0	83.3
	平年	0.0	0.0	0.2	2.5	1.1	14.7	0.4	4.2	1.8	14.4	58.1	89.2	21.5	59.7
10・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	20.0	6.4	40.0	18.4	80.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	20.0	0.0	0.0	38.4	60.0	58.4	80.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	8.0	0.4	7.3	1.3	5.3	55.5	92.0	31.5	72.3
11・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	33.3	2.7	16.7	11.3	66.7
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.0	16.7	35.3	100.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	2.9	0.0	0.0	24.5	61.5	48.5	87.3

(18)ネギ(大株…葉長が40cm以上の株)

病害虫の発生状況

表1 月別平年比較

病害虫名\調査月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	全期間
さび病	並(-)	やや少(-)	少(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	やや少(-)
黒斑病	並(-)	多	並(-)	やや少(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並
べと病	並(-)	並	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並
えそ条斑病	(-)	(+)	並	やや少	少	並(-)	並(-)	並(-)	やや少
シロイチモジヨトウ	(-)	(-)	(-)	(+)	(+)	(+)	(+)	(-)	(+)
ハスモンヨトウ	並(-)	(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
ネギハモグリバエ	(-)	(+)	(+)	少	やや少	やや少	少	少	やや少
ネギアザミウマ	(+)	(+)	(+)	やや少	やや少	少	少	少	やや少

－：調査せず、(+)：発生を認めた、(-)：発生を認めず

表2 巡回調査結果

〈25株調査〉

調査時期 (月・半旬)	年次	さび病		黒斑病		べと病		えそ条斑病	
		発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
4・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	31年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平均	3.6	10.0	0.2	4.2	3.6	10.0	－	－
5・3～4	2年	0.0	0.0	0.8	20.0	0.0	0.0	0.8	20.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平均	6.2	19.9	0.0	0.0	3.3	25.4	－	－
6・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	36.7	100.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	52.7	85.7
	平均	20.0	46.9	10.4	16.7	4.0	3.3	40.1	78.6
7・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.7	83.3
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.1	71.4
	平均	2.0	16.7	15.5	46.8	3.3	4.8	33.9	74.3
8・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	25.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	60.0
	平均	0.0	0.0	5.5	16.7	0.3	4.2	15.4	69.0
9・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平均	0.0	0.0	2.1	21.8	0.0	0.0	1.9	27.4
10・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	0.0	0.0	2.0	16.7	0.0	0.0	3.3	66.7
	平均	0.0	0.0	0.7	12.5	5.8	12.5	3.3	41.7
11・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平均	0.0	0.0	1.9	13.9	0.0	0.0	0.8	10.0

調査時期 (月・半旬)	年次	シロイチモジヨトウ		ハスモンヨトウ		ネギハモグリバエ		ネギアザミウマ	
		寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
4・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.0	66.7
	31年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	48.8	80.0
	平均	－	－	0.0	0.0	－	－	－	－
5・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	60.0	92.8	100.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	12.0	40.0	91.2	100.0
	平均	－	－	0.0	0.0	－	－	－	－
6・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	16.7	100.0	100.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	11.3	42.9	100.0	100.0
	平均	－	－	0.0	0.0	－	－	－	－
7・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	33.3	77.3	100.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	65.1	100.0
	平均	－	－	0.0	0.0	14.8	56.6	89.4	100.0
8・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	5.5	50.0	53.6	100.0
	元年	8.0	60.0	0.0	0.0	0.8	20.0	25.6	80.0
	平均	－	－	0.0	0.0	28.5	65.0	73.5	96.0
9・3～4	2年	4.7	50.0	0.0	0.0	6.0	66.7	19.3	66.7
	元年	8.0	66.7	0.0	0.0	41.3	83.3	46.0	83.3
	平均	－	－	0.0	0.0	37.1	91.7	54.9	96.7
10・3～4	2年	9.1	85.7	0.0	0.0	8.6	71.4	17.7	71.4
	元年	0.8	33.3	0.0	0.0	39.2	83.3	48.8	100.0
	平均	－	－	1.8	4.2	48.5	92.7	50.8	89.3
11・3～4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	20.0	5.6	60.0
	元年	0.0	0.0	0.0	0.0	13.0	50.0	37.0	75.0
	平均	－	－	0.0	0.0	22.4	66.7	53.6	88.3

2) 予察灯・誘引剤トラップ・黄色水盤による調査の結果

(1) 予察灯(60W・ブラックライト：BL)の調査結果

対象害虫	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R2	平年値等	R2	平年値等	R2	平年値等
ヒメトビウンカ (60W)	15	1.9	3	1.3	62	109.4
セジロウンカ (60W)	55	11.8	18	14.6	9	30.8
トビイロウンカ (60W)	125	9.3	18	8.7	127	26.5
ツマグロヨコバイ (60W)	271	70.2	4	21.1	11	38.5
イネミズゾウムシ (60W)	39	66.8	1,160	270.9	69	107.3
アオクサカメムシ (60W)	0	0.9	2	1.9	1	0.4
チャバネアオカメムシ (60W)	162	44.5	32	11.7	56	40.2
チャバネアオカメムシ (BL)	608	175.5	271	55.6	542	203.6
クサキカメムシ (60W)	9	8.4	8	3.4	3	16.7
クサキカメムシ (BL)	13	18.9	22	12.2	34	89.9
イチモンジカメムシ (60W)	6	1.0	5	4.3	2	1.2
イネクロカメムシ (60W)	100	88.0	0	0.2	0	0.6
クモヘリカメムシ (60W)	0	0.5	3	4.4	8	3.2
シラホシカメムシ (60W)	0	0.7	0	1.0	0	0.3
アカヒゲホソトリカスミカメ (60W)	8	39.4	9	30.3	21	97.6
アカスジカスミカメ (60W)	11	10.7	103	92.2	98	180.3
ツマグロアオカスミカメ (60W)	47	39.7	17	16.5	20	12.8
フタオビコヤガ (60W)	6	20.2	34	24.1	19	94.3
ニカメイガ (60W)	4	2.2	2	1.1	3	2.9
コナガ (60W)	10	19.0	38	54.7	16	27.0
シロオビノメイガ (60W)	1	1.6	1	5.6	2	10.9
ドウガネブイブイ (BL)	483	384.0	248	121.5	465	342.6
クロコガネ (BL)	23	64.4	30	20.6	6	54.0
ヒメコガネ (BL)	4,101	3639.7	105	50.3	1,996	939.7
アカビロウドコガネ(BL)	112	96.2	50	20.1	53	56.6

注：数字は調査期間内(4～10月)の総誘殺数(頭)

ヒメトビウナカ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R2	平年	R2	平年	R2	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	-	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	1	0.0
4	0	0.0	0	0.0	1	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.5
7・1	0	0.0	0	0.3	11	0.7
2	0	0.0	0	0.0	1	1.1
3	0	0.0	0	0.0	2	3.4
4	0	0.0	0	0.0	2	0.1
5	0	0.0	0	0.0	1	0.3
6	0	0.1	0	0.0	0	1.3
8・1	0	0.3	0	0.0	2	2.1
2	1	0.2	0	0.0	5	2.8
3	1	0.2	0	0.1	0	15.8
4	9	0.2	1	0.0	2	7.0
5	1	0.4	1	0.2	6	2.9
6	1	0.0	0	0.1	4	9.7
9・1	0	0.1	0	0.0	15	2.2
2	0	0.3	0	0.1	1	20.1
3	0	0.0	1	0.0	0	10.8
4	0	0.0	0	0.0	2	16.8
5	1	0.0	0	0.1	5	7.5
6	0	0.0	0	0.1	1	1.5
10・1	1	0.1	0	0.2	0	0.5
2	0	0.0	0	0.1	0	0.8
3	0	0.0	0	0.0	0	0.3
4	0	0.0	0	0.0	0	0.4
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.5
計	15	1.9	3	1.3	62	109.4

セジロウナカ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R2	平年	R2	平年	R2	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	-	0.0	0	0.0	0	0.0
4	-	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	2	0.0
4	0	0.2	0	0.5	0	0.1
5	0	0.5	0	0.3	0	6.7
6	0	0.2	0	1.1	1	11.8
7・1	0	0.0	2	0.5	0	1.6
2	0	0.2	3	0.1	0	0.2
3	0	0.5	0	0.7	0	0.3
4	0	0.0	2	0.6	0	0.0
5	0	0.1	0	0.1	0	0.1
6	0	0.6	1	0.1	0	0.1
8・1	3	1.3	1	0.2	0	1.9
2	1	0.6	0	0.7	0	0.3
3	0	0.3	1	2.6	0	2.4
4	7	0.5	0	1.5	0	1.5
5	12	1.9	2	0.9	1	0.8
6	15	1.6	0	0.3	1	1.0
9・1	8	0.6	0	0.3	3	0.3
2	3	0.4	0	0.5	0	0.4
3	0	0.4	0	0.0	0	0.3
4	3	0.4	0	0.8	1	0.2
5	2	0.8	2	1.7	0	0.3
6	0	0.2	1	0.4	0	0.1
10・1	0	0.2	0	0.4	0	0.0
2	1	0.0	2	0.1	0	0.3
3	0	0.1	1	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.2	0	0.1	0	0.0
計	55	11.8	18	14.6	9	30.8

トビウナカ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R2	平年	R2	平年	R2	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	-	0.0	0	0.0	0	0.0
5	-	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.2
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8・1	2	0.0	0	0.0	1	0.0
2	0	0.1	1	0.0	2	0.0
3	2	0.0	0	0.0	0	0.0
4	1	0.1	0	0.2	0	0.0
5	0	0.3	0	0.4	0	0.5
6	17	0.9	2	0.3	2	1.1
9・1	28	0.1	0	0.2	15	0.9
2	17	1.0	0	0.3	14	0.8
3	1	2.1	4	1.2	10	5.9
4	11	0.5	3	0.9	57	8.3
5	7	2.1	3	0.8	14	5.2
6	2	0.3	0	0.4	2	1.0
10・1	22	0.1	4	1.0	9	1.3
2	3	0.4	1	2.7	0	0.5
3	4	0.8	0	0.3	0	0.3
4	5	0.4	0	0.0	1	0.5
5	1	0.1	0	0.0	0	0.0
6	2	0.0	0	0.0	0	0.0
計	125	9.3	18	8.7	127	26.5

ツマグロヨコバイ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R2	平年	R2	平年	R2	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.2	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	1	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	1	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	1.0	0	0.0	0	0.2
3	0	0.8	0	0.1	0	4.2
4	0	0.2	0	0.3	0	1.5
5	0	0.1	0	0.2	0	0.6
6	0	0.1	0	2.2	0	0.9
7・1	0	0.2	0	1.2	0	0.6
2	0	0.0	0	0.7	1	0.4
3	0	2.0	0	0.3	0	0.3
4	2	3.3	0	1.4	2	2.8
5	2	4.9	1	2.0	0	3.5
6	0	3.9	0	1.8	2	9.3
8・1	2	3.8	0	0.8	0	2.7
2	5	3.0	0	0.2	0	1.4
3	12	2.3	0	0.5	1	1.4
4	20	5.1	0	0.3	0	0.3
5	15	4.8	0	0.2	0	0.0
6	23	3.6	2	0.6	0	0.3
9・1	54	4.1	0	0.9	2	1.5
2	87	8.6	0	1.8	0	2.1
3	17	10.8	0	4.0	3	3.9
4	26	4.0	0	1.1	0	0.3
5	4	3.1	0	0.3	0	0.2
6	1	0.3	0	0.0	0	0.1
10・1	0	0.1	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	271	70.2	4	21.1	11	38.5

イネミズゾウムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R2	平年	R2	平年	R2	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	1.9	0	1.2
5・1	3	0.4	237	3.4	22	2.1
2	0	0.0	484	14.0	2	12.4
3	0	0.1	80	26.8	0	7.1
4	-	0.3	13	25.2	0	5.2
5	-	1.5	74	11.9	7	4.6
6	1	0.8	7	6.0	0	11.9
6・1	0	0.7	24	2.9	6	4.0
2	0	0.8	1	2.1	1	3.0
3	0	0.7	8	1.3	2	3.0
4	0	0.5	0	0.8	0	1.7
5	2	0.9	0	0.4	1	1.9
6	0	0.3	1	0.3	0	3.2
7・1	0	0.1	0	0.6	0	2.1
2	0	0.3	5	1.1	0	3.2
3	0	0.7	4	6.2	0	0.9
4	0	1.9	17	24.4	3	5.1
5	0	8.4	15	32.1	0	5.7
6	0	12.0	26	43.4	13	8.8
8・1	10	10.5	40	28.8	8	7.1
2	4	8.6	74	15.6	0	8.3
3	6	4.4	34	12.1	1	2.0
4	7	9.7	6	5.6	1	1.8
5	3	2.3	2	2.2	2	0.5
6	2	0.7	5	1.1	0	0.2
9・1	1	0.1	2	0.3	0	0.0
2	0	0.1	0	0.1	0	0.1
3	0	0.0	1	0.2	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	39	66.8	1,160	270.9	69	107.3

アオクサカメムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R2	平年	R2	平年	R2	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	-	0.0	0	0.0	0	0.0
5	-	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.1	0	0.0
5	0	0.1	0	0.3	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
8・1	0	0.1	0	0.4	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.3	0	0.1	1	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.1	0	0.0	0	0.2
6	0	0.0	0	0.1	0	0.1
9・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	1	0.0	0	0.0
3	0	0.0	1	0.1	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.2	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	0	0.9	2	1.9	1	0.4

チャバネアオカメムシ(予察灯60W・BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市 (60W)		京田辺市 (BL)		亀岡市 (60W)		亀岡市 (BL)		京丹後市 (60W)		京丹後市 (BL)	
	R2	平年	R2	平年	R2	平年	R2	平年	R2	平年	R2	平年
4 ・ 1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5 ・ 1	1	0.1	1	0.1	0	0.0	1	0.2	1	0.1	1	1.1
2	1	0.0	1	0.0	2	0.0	7	0.2	0	0.1	0	0.7
3	0	0.2	9	0.5	0	0.0	6	0.1	2	0.5	0	1.2
4	-	0.4	7	2.0	0	0.5	5	0.8	3	0.8	2	2.5
5	-	0.3	15	2.2	0	0.3	32	0.4	21	0.7	25	1.6
6	0	0.4	5	3.5	0	0.0	4	0.5	0	0.4	15	0.8
6 ・ 1	2	0.0	5	1.6	0	0.0	5	0.5	3	0.1	14	1.3
2	0	0.1	4	0.9	1	0.1	1	0.0	0	0.0	7	0.5
3	1	0.0	12	0.5	0	0.0	4	0.1	2	0.6	13	2.2
4	4	0.2	5	0.4	0	0.0	1	0.6	0	0.8	2	1.5
5	6	0.7	79	2.9	2	0.0	3	0.4	0	0.5	25	1.8
6	13	3.0	71	6.7	3	0.7	12	0.6	4	3.1	44	2.6
7 ・ 1	10	4.8	34	16.4	0	0.5	9	0.7	1	2.9	9	4.7
2	17	3.3	47	19.0	7	0.9	4	1.7	7	2.1	42	9.3
3	4	3.4	10	28.4	0	0.0	3	0.5	3	5.5	1	6.7
4	19	10.5	74	31.2	2	0.6	2	1.9	1	2.3	19	8.7
5	19	1.4	14	23.0	0	0.1	3	1.4	0	1.9	10	4.1
6	13	2.5	36	14.1	1	0.1	15	1.4	0	0.7	19	8.2
8 ・ 1	7	2.9	96	3.6	1	0.9	14	3.4	1	1.0	14	10.7
2	12	2.6	26	4.8	5	0.2	31	6.2	3	0.8	74	9.5
3	16	1.8	28	3.8	5	1.4	53	5.4	0	7.2	40	12.6
4	9	2.2	18	1.7	0	1.2	22	4.9	0	2.3	13	16.4
5	2	0.2	2	0.6	0	1.3	9	2.9	0	1.8	-	25.7
6	3	0.1	2	0.8	1	0.6	7	4.2	1	0.4	43	12.5
9 ・ 1	1	0.5	3	1.1	1	0.5	7	3.2	0	0.9	18	19.5
2	0	2.0	1	4.1	0	0.1	4	3.4	1	0.6	20	7.2
3	0	0.2	1	1.0	1	0.0	0	0.7	1	0.7	37	5.6
4	1	0.3	1	0.9	0	0.0	2	0.2	0	0.4	10	3.5
5	1	0.2	0	0.0	0	0.0	0	1.4	1	0.0	11	5.8
6	0	0.0	0	0.5	0	0.6	2	2.3	0	0.3	1	4.2
10 ・ 1	0	0.1	1	0.4	0	0.4	3	0.6	0	0.3	11	6.5
2	0	0.0	0	0.1	0	0.4	0	3.0	0	0.3	1	3.6
3	0	0.0	0	0.1	0	0.1	0	1.8	0	0.1	0	0.4
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.3
5	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.0
計	162	44.5	608	175.5	32	11.7	271	55.6	56	40.2	542	203.6

クサギカメムシ(予察灯60W・BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市 (60W)		京田辺市 (BL)		亀岡市 (60W)		亀岡市 (BL)		京丹後市 (60W)		京丹後市 (BL)	
	R2	平年	R2	平年	R2	平年	R2	平年	R2	平年	R2	平年
4 ・ 1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.2
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.4
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5 ・ 1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.2	0	0.2
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.4
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	-	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.3
5	-	0.0	0	0.0	1	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.2
6 ・ 1	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.1	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	2	0.0	0	0.0	1	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.3	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.2	1	0.0	1	0.0	1	0.1	0	0.0	0	0.0
6	0	0.4	1	0.5	0	0.4	0	0.4	0	0.4	0	0.2
7 ・ 1	0	0.8	0	1.1	1	0.5	1	0.1	0	0.4	0	0.7
2	1	0.8	0	0.7	0	0.7	0	0.3	0	0.2	3	4.6
3	0	1.8	0	2.7	0	2.7	0	0.6	0	0.4	0	1.6
4	0	0.5	3	3.2	0	0.2	0	0.6	2	0.8	1	2.8
5	1	0.8	2	1.4	0	0.2	2	0.9	0	1.4	0	4.8
6	2	1.0	1	1.9	0	0.0	7	0.5	1	1.4	8	6.4
8 ・ 1	0	0.2	0	1.3	0	0.3	2	1.3	0	1.4	4	10.3
2	2	0.3	0	0.2	4	0.3	3	1.0	0	1.5	10	8.0
3	2	0.6	2	1.2	0	0.1	1	1.4	0	1.3	6	9.3
4	0	0.3	0	1.6	0	0.3	0	2.3	0	2.9	0	12.9
5	0	0.0	0	1.6	0	0.4	2	2.0	0	2.0	0	14.5
6	0	0.3	0	0.4	0	0.1	0	0.5	0	1.1	0	5.2
9 ・ 1	0	0.0	0	0.2	0	0.0	0	0.4	0	0.5	2	3.2
2	0	0.1	0	0.5	1	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.7
3	1	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.4
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.0	0	0.3	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.3
6	0	0.0	1	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.2
10 ・ 1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.4
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.5
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.4
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.2
計	9	8.4	13	18.9	8	3.4	22	12.2	3	16.7	34	89.9

イチモンジカメムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R2	平年	R2	平年	R2	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	-	0.0	0	0.0	0	0.0
5	-	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.0	1	0.0	0	0.0
4	1	0.0	0	0.1	0	0.0
5	0	0.1	0	0.0	1	0.0
6	0	0.1	2	0.4	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.2	0	0.1
2	0	0.1	0	0.1	0	0.1
3	0	0.0	0	0.1	0	0.1
4	0	0.1	0	0.4	0	0.1
5	0	0.1	1	0.4	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.1
8・1	0	0.1	1	0.2	0	0.0
2	0	0.0	0	0.2	0	0.2
3	2	0.0	0	0.2	0	0.0
4	1	0.1	0	0.1	0	0.2
5	0	0.0	0	0.2	0	0.0
6	0	0.0	0	0.6	0	0.0
9・1	0	0.0	0	0.2	1	0.0
2	0	0.1	0	0.1	0	0.1
3	0	0.1	0	0.1	0	0.0
4	2	0.0	0	0.2	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.2	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.1	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
計	6	1.0	5	4.3	2	1.2

イネクロカメムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R2	平年	R2	平年	R2	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.1	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	-	0.4	0	0.0	0	0.0
5	-	1.5	0	0.0	0	0.0
6	0	2.8	0	0.0	0	0.0
6・1	23	4.4	0	0.0	0	0.0
2	8	6.3	0	0.0	0	0.2
3	2	11.2	0	0.0	0	0.2
4	0	7.4	0	0.1	0	0.1
5	2	6.3	0	0.0	0	0.0
6	1	2.9	0	0.1	0	0.0
7・1	6	3.1	0	0.0	0	0.1
2	2	1.2	0	0.0	0	0.0
3	0	0.8	0	0.0	0	0.0
4	0	1.2	0	0.0	0	0.0
5	0	2.6	0	0.0	0	0.0
6	0	1.6	0	0.0	0	0.0
8・1	0	2.0	0	0.0	0	0.0
2	1	1.3	0	0.0	0	0.0
3	1	1.7	0	0.0	0	0.0
4	0	1.0	0	0.0	0	0.0
5	1	0.3	0	0.0	0	0.0
6	6	2.1	0	0.0	0	0.0
9・1	6	2.2	0	0.0	0	0.0
2	6	6.0	0	0.0	0	0.0
3	22	6.0	0	0.0	0	0.0
4	11	5.3	0	0.0	0	0.0
5	2	3.7	0	0.0	0	0.0
6	0	0.8	0	0.0	0	0.0
10・1	1	0.5	0	0.0	0	0.0
2	0	1.1	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	100	88.0	0	0.2	0	0.6

クモヘリカメムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R2	平年	R2	平年	R2	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	-	0.0	0	0.0	0	0.0
5	-	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.2	0	0.2	1	0.0
6	0	0.1	0	0.3	0	0.1
8・1	0	0.1	0	0.3	1	0.5
2	0	0.0	0	0.1	1	0.2
3	0	0.0	0	0.6	0	0.3
4	0	0.0	1	0.4	2	0.3
5	0	0.0	1	0.3	1	0.1
6	0	0.1	0	0.2	0	0.4
9・1	0	0.0	0	0.6	0	0.2
2	0	0.0	0	0.2	0	0.3
3	0	0.0	1	0.0	0	0.1
4	0	0.0	0	0.1	0	0.3
5	0	0.0	0	0.2	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.1
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	0	0.5	3	4.4	8	3.2

シラホシカメムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R2	平年	R2	平年	R2	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	-	0.0	0	0.0	0	0.0
5	-	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.0
5	0	0.3	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
7・1	0	0.1	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.2	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.2	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8・1	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	0	0.7	0	1.0	0	0.3

アカヒゲホソミドリカスミカメ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R2	平年	R2	平年	R2	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	2	0.0	0	0.6
3	0	0.2	0	0.0	0	0.1
4	-	0.1	0	0.2	0	0.1
5	-	0.0	0	0.0	0	0.3
6	0	0.4	0	0.1	0	0.2
6・1	0	0.6	0	0.1	0	0.5
2	0	3.2	0	1.6	1	3.2
3	0	1.8	5	3.9	7	9.5
4	0	3.0	0	3.9	1	10.1
5	3	2.4	1	3.4	0	11.1
6	2	1.9	0	4.0	0	9.0
7・1	1	3.6	0	1.9	3	8.2
2	1	5.0	0	2.0	0	5.9
3	0	5.9	0	2.0	1	6.9
4	0	2.7	0	2.6	2	6.6
5	0	1.2	0	1.1	0	7.0
6	0	1.7	0	0.2	0	3.6
8・1	0	2.1	0	0.2	0	1.2
2	0	0.4	0	0.0	0	2.6
3	0	0.3	0	0.1	0	1.9
4	0	0.4	0	0.9	0	1.6
5	0	0.2	0	0.3	0	0.5
6	0	0.6	0	0.4	1	1.4
9・1	0	0.0	0	0.3	2	0.6
2	1	0.3	0	0.2	1	1.1
3	0	0.2	1	0.1	0	0.9
4	0	0.2	0	0.0	0	1.1
5	0	0.1	0	0.2	1	0.6
6	0	0.1	0	0.0	0	0.3
10・1	0	0.3	0	0.0	0	0.1
2	0	0.1	0	0.1	0	0.5
3	0	0.2	0	0.2	0	0.2
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5	0	0.1	0	0.1	1	0.0
6	0	0.1	0	0.1	0	0.0
計	8	39.4	9	30.3	21	97.6

アカスジカスミカメ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R2	平年	R2	平年	R2	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.5
4	-	0.0	0	1.1	0	0.1
5	-	0.4	0	1.0	1	0.6
6	0	0.0	2	2.0	1	2.5
6・1	0	0.1	8	0.8	8	3.6
2	0	0.0	0	2.2	11	5.1
3	0	0.2	8	2.1	14	2.8
4	0	0.3	2	3.4	1	6.6
5	0	0.5	21	4.4	1	10.2
6	1	0.7	21	13.3	1	24.0
7・1	2	0.5	4	6.1	7	21.9
2	2	0.3	5	6.1	5	21.1
3	0	0.9	0	4.1	0	8.3
4	1	0.6	2	2.6	1	4.8
5	0	0.7	0	1.7	1	8.8
6	0	1.6	1	1.2	0	9.1
8・1	2	1.5	3	3.4	1	8.3
2	0	0.6	4	2.5	0	6.4
3	0	0.5	3	3.4	2	2.7
4	1	0.1	6	3.4	1	3.9
5	0	0.0	2	2.5	2	3.3
6	1	0.1	1	2.3	5	3.6
9・1	0	0.0	1	3.0	11	1.8
2	0	0.1	0	4.0	5	2.1
3	0	0.1	1	5.6	14	5.5
4	1	0.2	2	2.5	1	3.6
5	0	0.2	2	2.2	2	2.2
6	0	0.3	0	1.9	0	2.3
10・1	0	0.0	2	1.4	1	2.2
2	0	0.1	0	1.8	1	1.3
3	0	0.0	0	0.0	0	0.8
4	0	0.0	0	0.1	0	0.1
5	0	0.0	2	0.1	0	0.2
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	11	10.7	103	92.2	98	180.3

ツマグロアオカスミカメ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R2	平年	R2	平年	R2	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	1	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	-	0.1	0	0.0	0	0.2
5	-	0.3	0	0.2	2	0.1
6	0	0.2	0	0.4	3	0.3
6・1	1	0.0	0	0.4	4	0.2
2	0	0.1	1	0.2	1	1.4
3	0	0.0	1	0.4	3	0.3
4	0	0.1	1	0.0	0	0.3
5	1	0.0	1	0.0	0	0.2
6	3	0.0	0	0.5	0	1.0
7・1	0	0.2	0	0.2	0	0.4
2	3	0.2	0	0.2	0	0.9
3	4	0.3	0	0.3	0	0.2
4	1	0.0	0	0.0	0	0.5
5	1	0.1	0	0.1	0	0.5
6	0	0.0	0	0.2	1	1.3
8・1	1	0.2	1	0.0	0	0.8
2	0	0.1	0	0.3	0	0.2
3	1	0.1	0	0.0	0	0.1
4	0	0.5	0	0.5	0	0.0
5	0	1.2	0	0.0	0	0.1
6	4	1.0	1	0.3	0	0.4
9・1	5	2.6	0	0.6	2	0.5
2	3	5.8	2	0.7	2	0.2
3	3	1.4	0	1.2	1	0.1
4	2	2.3	0	0.6	0	0.4
5	6	2.3	4	1.0	0	0.3
6	0	0.7	1	2.1	0	0.2
10・1	1	1.7	1	1.1	0	0.4
2	0	1.7	1	0.7	1	0.2
3	0	5.4	1	1.0	0	0.3
4	1	4.2	0	0.4	0	0.1
5	1	4.3	1	1.2	0	0.5
6	4	2.6	0	1.4	0	0.2
計	47	39.7	17	16.5	20	12.8

フタオビユギガ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R2	平年	R2	平年	R2	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.3	0	0.1
3	0	0.1	1	0.3	0	0.2
4	-	0.1	0	0.2	0	0.0
5	-	0.2	1	0.1	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6・1	0	0.1	0	0.0	0	0.0
2	0	0.4	0	0.0	0	0.0
3	0	0.6	0	0.0	0	0.2
4	0	0.3	0	0.1	0	0.3
5	0	0.6	0	0.2	0	0.9
6	0	0.5	0	0.0	0	0.7
7・1	0	0.1	0	0.0	0	0.2
2	0	0.4	0	0.3	0	0.2
3	0	0.0	0	0.5	0	1.5
4	0	0.6	2	1.8	5	4.9
5	0	0.9	1	1.5	0	4.7
6	0	1.0	1	1.1	0	5.7
8・1	0	1.3	2	1.9	0	2.3
2	0	1.9	5	2.4	1	5.2
3	0	1.3	13	3.4	3	11.5
4	2	2.1	7	5.6	5	16.4
5	2	4.0	0	2.2	2	15.4
6	1	2.3	0	1.5	1	16.3
9・1	0	0.7	1	0.3	2	5.3
2	1	0.1	0	0.1	0	1.2
3	0	0.4	0	0.0	0	0.5
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.2
6	0	0.2	0	0.0	0	0.1
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.2
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	6	20.2	34	24.1	19	94.3

ニカメイガ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R2	平年	R2	平年	R2	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.7	0	0.1	0	0.0
4	-	0.2	0	0.1	0	1.3
5	-	0.0	0	0.0	0	0.3
6	0	0.0	1	0.0	0	0.1
6・1	0	0.0	0	0.1	1	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	1	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.2	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.2
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.5	0	0.0
2	0	0.1	0	0.0	0	0.4
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.1
5	1	0.0	0	0.0	1	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.1	1	0.0	1	0.0
5	0	0.1	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.0
9・1	2	0.2	0	0.0	0	0.0
2	0	0.2	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.2	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	4	2.2	2	1.1	3	2.9

コナガ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R2	平年	R2	平年	R2	平年
4・1	0	0.5	0	0.3	1	0.1
2	0	0.2	0	0.3	0	0.0
3	0	0.3	0	0.1	0	0.2
4	1	0.4	0	0.6	0	0.5
5	0	0.1	0	0.2	0	0.6
6	0	0.5	0	0.1	0	0.6
5・1	1	0.1	0	1.3	0	0.2
2	1	0.8	1	0.4	1	0.1
3	0	0.8	0	1.2	0	1.1
4	-	0.8	0	1.6	0	0.3
5	-	0.7	0	0.8	2	1.2
6	0	1.8	0	0.7	0	0.9
6・1	2	0.9	0	0.4	0	1.2
2	0	0.8	1	1.2	1	1.0
3	1	1.5	3	1.8	0	1.9
4	0	1.3	1	4.1	3	1.5
5	0	0.9	7	5.0	0	2.3
6	0	0.8	4	7.7	1	2.0
7・1	1	0.9	0	6.0	2	1.6
2	0	0.3	6	7.6	0	1.3
3	1	0.2	3	4.1	0	0.7
4	0	0.1	3	2.0	3	0.5
5	0	0.1	2	1.3	0	0.4
6	0	0.4	2	0.7	0	0.6
8・1	0	0.0	1	1.1	0	0.3
2	0	0.7	1	0.6	0	0.3
3	0	0.3	1	0.1	0	0.4
4	0	1.4	0	0.5	0	0.1
5	1	0.8	0	0.1	0	0.0
6	0	0.2	0	0.2	0	0.1
9・1	1	0.1	1	0.1	0	0.4
2	0	0.0	0	0.2	0	0.0
3	0	0.1	0	0.3	0	0.6
4	0	0.0	0	0.4	0	0.1
5	0	0.0	1	0.1	1	0.7
6	0	0.1	0	0.1	0	0.7
10・1	0	0.0	0	0.3	0	1.6
2	0	0.0	0	0.2	0	0.1
3	0	0.0	0	0.2	0	0.2
4	0	0.0	0	0.1	0	0.3
5	0	0.0	0	0.3	1	0.3
6	0	0.1	0	0.2	0	0.0
計	10	19.0	38	54.7	16	27.0

シロオビノメイガ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R2	平年	R2	平年	R2	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	-	0.0	0	0.0	0	0.0
5	-	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.2	0	0.0
8・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.2
3	0	0.0	0	0.4	0	0.4
4	0	0.1	0	0.2	0	0.1
5	0	0.3	0	0.2	0	0.1
6	0	0.2	0	0.4	0	0.3
9・1	0	0.2	0	0.2	0	0.2
2	0	0.2	0	0.4	0	0.6
3	0	0.0	0	0.5	0	0.5
4	1	0.2	0	1.3	0	1.6
5	0	0.1	1	0.7	0	2.2
6	0	0.2	0	0.2	1	1.4
10・1	0	0.0	0	0.2	1	1.1
2	0	0.0	0	0.2	0	1.6
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.2	0	0.2
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.2
計	1	1.6	1	5.6	2	10.9

ドウガネブイブイ(予察灯BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R2	平年	R2	平年	R2	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	-	0.0
4	0	0.0	0	0.0	-	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.8	0	0.0	0	0.0
6	1	3.1	0	0.0	0	0.7
6・1	15	3.6	1	0.2	1	1.2
2	16	7.0	3	0.6	13	1.4
3	16	10.8	6	1.1	10	3.2
4	11	8.9	3	2.2	5	4.0
5	53	14.9	16	4.0	22	7.0
6	55	18.4	16	5.5	27	17.8
7・1	29	25.7	17	5.3	15	26.8
2	18	38.2	8	9.1	23	39.8
3	21	37.0	4	9.0	8	39.2
4	43	43.0	30	10.9	49	37.8
5	31	29.1	10	9.9	10	29.6
6	19	36.5	20	15.5	52	34.3
8・1	41	26.9	22	8.5	50	23.0
2	29	22.0	18	7.9	42	18.9
3	21	14.1	19	6.3	48	19.1
4	29	17.8	12	10.1	29	15.1
5	11	10.2	11	4.7	-	10.4
6	12	8.2	15	4.7	43	6.0
9・1	5	2.9	10	2.1	11	3.3
2	2	3.2	4	2.3	4	2.1
3	2	0.9	1	1.0	2	0.9
4	1	0.3	2	0.3	1	0.5
5	1	0.2	0	0.1	0	0.2
6	0	0.1	0	0.1	0	0.1
10・1	1	0.1	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	483	384.0	248	121.5	465	342.6

クロコガネ(予察灯BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R2	平年	R2	平年	R2	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	-	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.1	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.3	0	0.0	0	0.2
2	1	0.4	0	0.0	0	0.4
3	0	0.3	0	0.2	0	2.4
4	0	0.2	6	1.6	0	4.5
5	2	0.3	3	1.1	0	3.5
6	1	1.1	1	1.8	0	2.4
6・1	0	0.6	1	0.6	0	2.8
2	0	1.4	0	0.8	0	1.4
3	0	1.3	0	0.9	0	3.2
4	1	3.0	0	0.7	0	1.3
5	2	2.5	2	1.1	2	2.1
6	0	4.7	0	1.0	2	3.9
7・1	2	4.0	0	1.3	0	4.7
2	3	6.5	0	0.9	0	4.7
3	0	6.3	4	2.0	0	2.1
4	1	6.2	8	1.1	0	2.6
5	0	1.6	2	1.8	1	2.4
6	4	1.8	1	1.4	1	4.7
8・1	0	5.6	0	0.5	0	2.9
2	1	3.5	0	0.6	0	0.8
3	4	4.3	1	0.2	0	0.0
4	0	4.1	0	0.1	0	0.6
5	0	1.1	0	0.0	-	0.3
6	0	1.5	0	0.5	0	0.0
9・1	1	0.4	0	0.1	0	0.0
2	0	0.6	0	0.1	0	0.1
3	0	0.2	1	0.2	0	0.0
4	0	0.4	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	23	64.4	30	20.6	6	54.0

ヒメコガネ(予察灯BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R2	平年	R2	平年	R2	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	-	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.1	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.2
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	3	0.0	0	0.0	0	0.0
6	1	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	6	0.4	4	0.0	0	0.5
2	17	2.1	0	0.1	0	1.9
3	7	4.3	1	0.0	2	0.6
4	16	11.0	3	0.3	0	3.1
5	53	25.5	9	1.0	4	7.5
6	75	35.3	5	1.6	24	15.5
7・1	75	63.6	6	1.8	28	42.7
2	58	130.8	3	2.6	57	69.0
3	38	171.1	8	5.6	34	109.2
4	159	228.4	8	6.1	219	135.0
5	149	279.7	12	5.2	287	137.0
6	372	422.6	19	8.8	585	169.3
8・1	388	463.0	7	5.7	354	99.3
2	658	414.8	13	3.7	179	59.6
3	741	379.8	1	2.8	153	46.0
4	469	348.3	3	2.1	62	27.2
5	325	254.3	1	1.4	-	11.3
6	279	189.0	0	0.7	6	3.5
9・1	115	91.4	1	0.2	1	1.0
2	47	55.7	0	0.4	1	0.1
3	34	46.5	0	0.2	0	0.1
4	11	13.3	0	0.0	0	0.0
5	3	6.0	0	0.0	0	0.0
6	1	1.6	1	0.0	0	0.0
10・1	0	0.8	0	0.0	0	0.0
2	1	0.3	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	4,101	3,639.7	105	50.3	1,996	939.7

アカビロウドコガネ(予察灯BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R2	平年	R2	平年	R2	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	-	0.0
4	1	0.0	1	0.0	0	0.1
5	0	0.1	0	0.0	0	0.1
6	0	0.1	0	0.0	0	0.2
5・1	0	0.1	0	0.0	0	0.0
2	0	0.1	0	0.0	0	0.2
3	0	0.1	0	0.6	0	0.3
4	0	0.0	1	0.0	0	1.0
5	0	0.3	2	0.2	2	0.4
6	0	0.0	0	0.4	1	1.1
6・1	1	0.2	8	0.1	1	1.1
2	4	1.2	8	0.1	3	0.7
3	10	0.7	1	0.4	3	1.1
4	1	2.0	1	0.1	0	4.5
5	3	3.4	1	1.5	0	3.7
6	7	6.3	0	2.3	9	7.7
7・1	7	6.4	6	2.1	6	6.3
2	16	12.7	4	1.9	10	8.4
3	4	12.5	8	2.2	7	6.5
4	15	10.2	1	1.1	7	3.2
5	7	8.6	4	2.0	4	2.8
6	9	6.8	1	0.5	0	3.0
8・1	10	3.0	0	0.1	0	0.8
2	4	1.5	0	0.3	0	0.4
3	2	1.5	0	0.3	0	0.2
4	1	2.3	0	0.4	0	0.6
5	2	1.8	0	0.8	-	0.6
6	1	3.5	0	0.7	0	0.6
9・1	0	1.4	0	0.6	0	0.2
2	0	1.0	0	0.4	0	0.4
3	4	2.3	2	0.4	0	0.4
4	2	1.3	0	0.0	0	0.0
5	0	2.7	1	0.3	0	0.1
6	0	0.9	0	0.2	0	0.0
10・1	0	0.5	0	0.0	0	0.0
2	0	0.5	0	0.0	0	0.1
3	1	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	112	96.2	50	20.1	53	56.6

(2) 誘引剤トラップの調査結果

	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R2	平年	R2	平年	R2	平年
チャバネアオカメムシ	360.3	49.7	494.6	163.7	55.0	59.9
イチモンジカメムシ	—	—	83.6	—	—	—
ホソヘリカメムシ	173.9	—	51.0	117.0	64.0	—
コナガ	4.9	6.9	124.0	227.3	19.7	63.8
ハスモンヨトウ	874.9	1379.1	1427.6	2320.3	744.6	1190.6
シロイチモジヨトウ	169.5	137.9	97.0	—	561.3	—
カブラヤガ	—	—	1099.1	—	—	—
タバコガ	28.0	33.3	147.0	57.9	11.0	19.0
オオタバコガ	16.3	49.1	553.7	379.1	23.7	14.8

* 4～10月の総誘殺数（カブラヤガは1～12月、チャバネアオカメムシは5～10月）。

	宇治市		綾部市		京丹後市	
	R2	平年	R2	平年	R2	例年
チャノコカクモンハマキ	2070.3	3367.7	3118.9	2629.0	277.8	47.3
チャノホソガ	6273.5	8536.3	7171.5	7297.5	4905.4	4242.3

* 4月～10月の総誘殺数。

*平成26年に京丹後市のフェロモントラップの設置場所を変更した。

チャパネアカメムシ（フェロモントラップ）

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R2	平年	R2	平年	R2	平年
5・1	0.0	0.1	7.1	2.9	0.0	0.5
2	0.0	0.3	12.8	2.9	1.3	0.4
3	0.4	0.2	8.7	4.6	2.8	0.9
4	0.6	0.2	9.6	6.0	3.9	1.3
5	0.0	0.6	27.9	6.7	5.0	1.1
6	2.1	0.7	14.1	4.6	1.0	0.6
6・1	2.1	0.7	14.6	3.6	0.9	0.9
2	2.0	0.2	14.9	2.5	1.4	0.3
3	1.4	0.2	0.0	1.7	1.4	0.4
4	3.0	0.7	1.3	1.8	1.0	0.4
5	3.6	0.8	3.3	3.4	2.2	0.9
6	3.8	4.5	4.4	6.4	3.1	1.9
7・1	0.0	6.4	5.0	6.9	0.0	2.0
2	6.9	4.9	10.1	7.5	2.6	3.6
3	18.4	6.0	13.6	9.9	4.3	3.9
4	46.4	3.3	13.6	8.7	4.3	6.6
5	38.4	2.2	13.0	9.8	2.6	4.1
6	51.0	2.6	21.0	15.1	2.1	4.0
8・1	55.4	1.5	29.7	8.9	1.1	4.2
2	34.8	4.0	28.6	8.6	1.7	3.5
3	28.9	4.9	46.4	9.9	1.3	3.0
4	30.8	2.3	81.3	9.3	0.9	4.2
5	20.0	1.5	75.7	7.4	2.1	5.2
6	6.7	0.7	14.0	3.8	1.1	1.5
9・1	3.6	0.1	10.0	2.3	0.7	1.0
2	-	0.1	5.1	1.8	0.3	0.8
3	-	0.1	5.7	1.2	0.7	0.3
4	-	0.1	1.1	1.0	0.1	0.3
5	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.1
6	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.2
10・1	0.0	0.0	1.4	0.2	2.9	0.3
2	0.0	0.0	0.6	0.4	1.6	0.5
3	0.0	0.1	0.0	0.5	0.6	0.4
4	0.0	0.1	0.0	0.4	0.0	0.2
5	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.1
6	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2
5～10月計	360.3	49.7	494.6	163.7	55.0	59.9

コナガ（フェロモントラップ）

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R2	例年	R2	平年	R2	平年
4・1	0.6	0.5	0.6	1.7	0.0	3.0
2	0.4	0.8	0.7	2.7	0.6	3.9
3	0.0	0.6	0.7	2.6	1.4	3.3
4	0.0	0.8	0.0	3.3	1.4	2.6
5	0.4	0.2	0.0	2.2	3.1	3.2
6	0.7	0.0	0.0	2.7	3.4	2.7
5・1	0.7	0.1	0.0	1.7	0.0	1.7
2	0.1	0.1	0.0	3.1	0.0	2.7
3	0.0	0.2	0.0	2.6	0.0	3.3
4	0.0	0.4	0.4	3.6	0.0	5.1
5	0.0	0.2	2.1	4.3	0.0	3.3
6	0.0	0.0	1.9	7.2	0.0	3.0
6・1	0.0	0.2	1.9	8.4	0.0	1.2
2	0.0	0.0	6.1	10.0	0.0	1.1
3	0.0	0.0	22.1	16.8	0.0	2.0
4	0.0	0.4	21.8	19.3	0.0	3.2
5	0.0	0.2	13.2	19.1	0.0	2.2
6	0.0	0.0	7.5	19.9	0.0	2.6
7・1	0.0	0.0	19.3	23.2	0.0	2.2
2	0.0	0.2	11.1	21.1	0.0	0.7
3	0.0	0.0	4.7	14.3	0.1	0.4
4	0.0	0.0	0.7	8.7	0.7	0.3
5	0.0	0.2	2.4	3.3	0.1	0.1
6	0.0	0.0	1.7	3.1	0.0	0.0
8・1	0.0	0.0	0.0	1.9	0.5	0.1
2	0.0	0.1	0.0	1.8	0.5	0.1
3	0.0	0.1	0.0	2.0	0.0	0.1
4	0.0	0.3	0.0	0.9	0.0	0.1
5	0.0	0.2	0.0	1.3	0.0	0.2
6	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.3
9・1	0.0	0.1	0.0	0.6	0.0	0.2
2	0.0	0.0	1.0	0.4	0.0	0.1
3	0.0	0.1	0.0	0.5	0.0	0.3
4	0.0	0.1	1.1	0.9	0.0	0.7
5	0.0	0.1	0.9	0.5	0.0	0.6
6	0.0	0.3	0.0	1.0	0.0	0.6
10・1	0.0	0.1	1.4	1.3	0.7	0.6
2	0.0	0.0	0.6	1.0	0.3	1.0
3	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.9
4	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	1.1
5	0.6	0.0	0.0	1.7	2.9	1.5
6	1.3	0.2	0.0	1.8	3.9	1.7
4～10月計	4.9	6.9	124.0	227.3	19.7	63.8

ハスモンヨトウ（フェロモントラップ）

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R2	平年	R2	平年	R2	平年
4・1	0.0	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0
2	0.0	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0
3	0.0	0.2	0.0	0.3	0.0	0.0
4	0.0	0.4	0.0	1.2	0.0	0.2
5	0.0	0.9	0.0	2.1	0.0	0.8
6	0.1	0.7	0.3	2.5	0.0	1.1
5・1	0.7	2.4	1.4	2.1	0.0	2.4
2	1.5	3.1	0.3	3.2	0.7	3.3
3	2.4	3.7	1.3	3.5	1.6	4.0
4	2.4	3.4	1.9	3.5	2.0	7.5
5	0.7	4.0	0.7	6.2	1.4	7.5
6	2.3	5.2	0.9	8.1	4.6	8.7
6・1	7.3	4.8	11.0	7.0	13.3	5.0
2	12.6	8.7	19.1	10.0	21.1	10.4
3	20.0	13.4	24.3	17.2	28.6	12.8
4	47.3	15.3	18.2	20.0	29.7	12.4
5	36.3	15.3	24.7	15.6	29.3	18.3
6	24.4	16.2	30.0	18.0	28.8	28.6
7・1	129.3	16.9	86.4	22.6	52.9	32.4
2	59.0	23.4	60.7	30.0	49.0	31.5
3	10.7	20.0	37.3	31.5	42.1	30.9
4	5.0	19.1	11.1	36.0	25.0	32.4
5	17.6	20.5	21.5	39.2	22.1	22.1
6	17.6	31.3	20.6	54.7	27.0	26.9
8・1	7.9	24.0	10.9	50.8	19.9	25.7
2	8.4	34.7	28.6	70.8	33.6	39.0
3	14.0	22.7	33.7	59.9	31.1	28.6
4	16.9	24.2	32.5	48.9	18.4	27.8
5	10.7	34.8	25.7	62.3	11.4	32.6
6	13.3	50.1	35.3	94.9	8.6	44.9
9・1	16.4	60.2	56.4	109.8	12.9	47.3
2	17.0	51.6	199.1	130.5	26.0	50.7
3	23.6	52.5	94.3	124.3	22.1	62.9
4	15.0	62.5	64.0	124.4	21.0	63.7
5	14.3	66.3	49.0	137.3	21.3	54.4
6	16.4	72.3	37.9	133.2	22.1	63.7
10・1	34.3	83.8	61.4	125.7	22.1	84.8
2	54.9	90.3	54.1	155.1	20.0	80.9
3	61.6	124.7	54.1	178.3	16.9	69.9
4	33.6	102.6	73.6	152.3	10.0	43.2
5	50.1	86.1	55.3	103.7	21.4	33.1
6	69.4	106.5	90.0	123.4	23.1	38.5
4～10月計	874.9	1379.1	1427.6	2320.3	744.6	1190.6

タバコガ（フェロモントラップ）

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R2	平年	R2	平年	R2	平年
4・1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0
5・1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1
2	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0
3	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0	0.0
4	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0
5	0.0	0.2	0.0	0.6	0.0	0.0
6	0.0	0.1	0.0	0.5	0.0	0.1
6・1	0.0	0.2	0.0	0.7	0.0	0.1
2	0.0	0.1	0.3	1.0	0.0	0.0
3	0.0	0.3	1.4	0.7	0.0	0.0
4	0.0	0.7	3.6	0.5	0.0	0.1
5	0.0	0.2	5.0	0.6	0.0	0.1
6	0.0	0.3	5.6	0.6	0.0	0.1
7・1	0.0	0.1	0.7	0.7	0.0	0.3
2	0.9	0.3	0.3	0.9	0.4	0.4
3	1.4	0.6	0.6	0.9	0.6	0.2
4	1.4	0.7	2.9	1.5	0.0	0.1
5	2.0	0.6	1.7	1.6	0.0	0.1
6	2.6	1.0	4.7	2.0	0.0	0.6
8・1	1.7	0.9	6.1	2.3	1.0	0.3
2	0.0	0.7	3.9	2.3	1.0	0.4
3	0.4	1.0	4.5	2.7	0.4	0.4
4	0.9	2.1	5.3	3.1	0.6	0.4
5	0.7	3.2	4.3	4.0	0.0	0.9
6	0.4	4.8	3.9	5.4	0.4	6.3
9・1	2.1	3.6	9.3	4.4	2.1	3.3
2	0.9	2.7	9.7	4.5	0.4	1.8
3	2.1	1.3	14.3	3.0	0.0	1.0
4	1.6	1.0	13.1	3.2	0.0	0.6
5	1.1	1.9	11.4	2.9	0.6	0.3
6	0.7	1.5	9.3	2.5	1.4	0.3
10・1	2.9	1.3	11.4	1.2	0.0	0.3
2	2.0	0.5	7.6	1.0	0.4	0.1
3	1.3	0.5	4.3	0.6	0.7	0.1
4	0.7	0.2	1.4	0.5	0.7	0.1
5	0.1	0.2	0.3	0.5	0.1	0.1
6	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1
4～10月計	28.0	33.3	147.0	57.9	11.0	19.0

オオタバコガ（フェロモントラップ）

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R2	平年	R2	平年	R2	平年
4・1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0
2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
3	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1
4	0.0	0.0	0.7	0.3	0.0	0.0
5	0.4	0.0	0.3	0.2	0.0	0.0
6	0.6	0.2	0.0	0.7	0.0	0.0
5・1	0.0	0.3	0.0	1.3	0.0	0.1
2	0.0	0.5	4.7	2.9	0.7	0.1
3	0.0	0.7	5.3	3.0	0.3	0.2
4	0.0	1.0	4.7	4.0	0.0	0.2
5	0.0	0.2	3.6	2.6	0.0	0.1
6	0.0	0.2	2.1	2.7	0.0	0.0
6・1	1.3	0.2	0.6	2.0	0.0	0.2
2	1.7	0.2	0.6	1.4	0.1	0.1
3	0.0	0.0	2.9	0.7	0.7	0.1
4	0.7	0.6	2.6	1.0	0.1	0.0
5	0.3	0.3	4.8	1.3	0.0	0.0
6	0.0	0.1	6.3	4.0	0.0	0.0
7・1	0.0	0.3	8.6	5.3	0.0	0.0
2	0.0	0.2	4.3	4.4	0.0	0.0
3	0.0	0.2	1.3	3.1	0.0	0.0
4	0.0	0.4	0.7	2.0	0.0	0.0
5	0.0	0.1	0.7	1.2	0.0	0.0
6	0.0	0.1	3.0	2.3	0.0	0.0
8・1	0.0	0.0	8.9	3.3	0.0	0.0
2	0.0	0.0	11.8	4.5	0.0	0.1
3	0.0	0.0	6.3	2.9	0.0	0.0
4	0.0	0.1	4.1	3.3	0.0	0.0
5	0.0	0.1	4.3	10.7	0.0	0.0
6	0.0	0.3	17.3	15.4	1.9	0.2
9・1	0.0	0.6	36.4	10.7	9.3	0.4
2	0.1	0.4	37.3	12.2	5.9	0.0
3	0.7	0.2	20.0	19.4	0.0	0.2
4	1.3	0.5	24.6	17.2	0.0	0.4
5	0.9	0.7	25.4	20.2	0.0	0.8
6	0.0	1.6	25.0	25.7	0.0	0.8
10・1	0.7	3.4	27.1	25.4	0.0	0.9
2	0.7	4.6	33.6	34.4	0.0	1.0
3	1.1	6.4	44.9	37.2	0.0	2.7
4	2.9	5.0	72.9	38.6	0.0	2.0
5	1.1	7.0	48.3	27.1	1.7	2.1
6	1.7	12.5	48.0	24.4	3.0	2.1
5～10月計	16.3	49.1	553.7	379.1	23.7	14.8

チャノコカクモモンハマキ（フェロモントラップ）

調査時期 (月・半旬)	平治市		磯部市		京丹後市	
	R2	平年	R2	平年	R2	例年
4・1	0.0	2.1	-	0.3	0.0	0.0
2	6.0	6.1	11.1	0.7	0.3	0.1
3	10.5	14.4	24.9	12.4	1.4	0.1
4	26.5	52.3	45.0	32.0	8.3	0.6
5	20.7	120.5	123.6	54.2	8.0	0.9
6	83.3	204.5	172.1	81.4	5.0	0.8
5・1	228.5	384.2	204.4	113.0	17.9	2.1
2	75.8	488.4	138.0	164.9	10.6	2.2
3	47.8	465.0	21.3	183.7	4.6	2.2
4	34.0	271.2	14.8	110.3	2.9	0.6
5	6.0	116.4	5.0	38.1	2.1	0.4
6	5.0	33.5	0.0	9.5	1.4	0.2
6・1	0.0	5.1	0.0	4.7	0.7	0.0
2	3.0	2.3	84.6	5.8	0.7	0.0
3	53.2	17.3	211.4	48.6	17.1	0.3
4	91.1	40.6	91.4	50.3	22.3	1.5
5	71.5	56.3	125.3	96.9	24.7	2.2
6	95.2	70.8	137.0	151.2	20.7	2.7
7・1	47.0	117.6	93.6	112.2	13.9	2.3
2	28.0	63.3	43.3	62.6	7.3	1.2
3	4.5	33.7	-	23.2	0.0	0.5
4	4.8	9.2	-	7.2	1.4	0.2
5	15.6	7.7	80.7	9.6	2.7	0.3
6	4.2	35.9	141.4	35.2	6.0	1.7
8・1	56.0	56.5	118.4	38.6	7.9	0.9
2	68.8	35.9	91.3	35.2	6.4	1.1
3	33.5	31.1	45.6	34.0	5.2	0.1
4	0.8	13.7	19.7	25.7	2.4	0.0
5	1.0	5.3	12.9	17.6	0.0	0.0
6	4.0	4.2	29.1	43.9	1.0	0.0
9・1	28.3	9.4	85.7	50.6	3.6	0.5
2	39.2	12.9	101.4	85.4	4.4	2.9
3	111.5	41.2	111.9	127.5	12.1	3.8
4	219.2	52.1	160.0	158.9	14.3	4.7
5	241.8	64.6	135.2	138.3	14.0	2.0
6	92.3	94.6	101.9	110.2	7.1	2.0
10・1	119.7	92.8	107.9	127.0	7.1	1.8
2	31.8	111.6	76.4	95.9	6.3	2.4
3	28.2	59.2	54.6	72.7	5.0	1.5
4	3.0	30.0	21.6	35.0	0.0	0.2
5	18.0	21.9	21.8	14.3	0.4	0.2
6	11.0	12.6	54.6	10.3	0.6	0.0
4～10月計	2070.3	3367.7	3118.9	2629.0	277.8	47.3

平成26年に京丹後市のフェロモントラップの設置場所を変更した。

チャノホソガ（フェロモントラップ）

調査時期 (月・半旬)	平治市		磯部市		京丹後市	
	R2	平年	R2	平年	R2	例年
4・1	254.3	106.6	-	62.9	87.3	68.2
2	110.0	101.6	526.6	171.1	0.7	70.5
3	3.5	129.1	371.6	412.2	3.6	152.7
4	115.5	177.2	387.9	450.8	9.3	95.1
5	22.0	149.8	80.7	240.8	7.6	73.1
6	22.0	58.8	38.7	115.5	2.9	49.7
5・1	72.5	42.5	10.6	49.6	29.3	13.6
2	17.3	30.6	6.0	40.7	12.2	7.9
3	2.3	12.9	0.0	43.7	1.4	1.0
4	0.0	3.7	0.6	12.8	2.1	0.9
5	73.0	31.2	1.4	61.9	0.0	5.0
6	327.7	201.3	0.0	273.7	0.6	159.4
6・1	743.3	717.6	8.6	307.6	44.1	256.6
2	400.0	916.3	204.7	458.7	109.3	488.1
3	272.6	895.4	495.7	463.1	324.3	541.1
4	138.7	427.5	827.9	491.7	296.4	340.1
5	66.3	142.9	590.9	455.8	242.4	169.5
6	48.4	72.9	348.1	256.6	100.7	109.4
7・1	132.0	122.3	9.3	210.3	33.3	54.8
2	116.0	270.6	569.3	307.3	99.9	77.5
3	374.5	543.2	-	313.9	225.0	175.3
4	511.0	745.8	-	340.2	794.3	217.0
5	321.5	357.8	700.7	211.4	468.1	192.2
6	369.0	166.2	559.1	133.7	268.9	146.3
8・1	424.0	114.3	286.1	56.5	170.7	51.4
2	220.5	143.9	192.5	49.6	78.7	109.8
3	209.8	179.6	123.8	50.3	126.5	97.0
4	175.3	139.3	262.5	68.9	363.1	59.0
5	37.0	213.9	302.1	72.4	611.4	20.0
6	62.5	162.1	54.0	158.1	244.3	22.2
9・1	45.3	74.4	34.3	99.9	24.3	26.0
2	36.2	83.6	42.2	56.2	24.7	20.9
3	22.5	155.5	47.5	65.4	10.0	24.8
4	15.8	192.3	16.3	133.1	13.4	37.1
5	32.2	217.1	13.4	168.2	16.1	85.2
6	49.0	200.3	8.8	138.9	17.9	86.2
10・1	103.0	98.0	8.6	92.9	13.3	54.6
2	106.6	54.7	7.9	61.2	10.4	35.8
3	123.4	35.3	3.1	53.1	7.9	27.5
4	14.0	18.9	9.6	39.3	2.1	9.0
5	62.3	16.4	4.8	25.4	2.6	7.2
6	20.7	13.0	15.6	22.3	4.3	3.4
4～10月計	6273.5	8536.3	7171.5	7297.5	4905.4	4242.3

平成26年に京丹後市のフェロモントラップの設置場所を変更した。

(3) 黄色水盤の調査結果

アブラムシ類誘殺数(黄色水盤)
調査場所: 亀岡市(農林センター)

半旬別推定値

月・半旬	R 2	平年	R 元	H 3 0	H 2 9	H 2 8	H 2 7	H 2 6	H 2 5	H 2 4	H 2 3	H 2 2
4 ・ 1	1.0	2.2	1.0	2.0	1.0	8.0	1.0	2.0	4.0	0.0	1.0	2.0
2	0.0	3.3	4.2	0.0	1.0	10.0	4.0	1.0	1.0	0.0	1.2	10.3
3	1.0	3.9	7.8	1.3	0.0	5.0	4.0	0.0	6.0	2.5	5.1	6.8
4	1.0	5.4	14.2	1.7	0.6	9.0	3.0	2.0	14.5	2.5	1.7	5.0
5	2.0	7.4	25.2	1.3	3.0	13.0	7.3	3.0	10.5	2.0	2.0	6.7
6	2.0	9.2	15.2	7.4	2.9	15.3	5.7	2.0	24.0	9.0	5.0	5.3
5 ・ 1	3.3	10.9	9.1	8.7	10.3	5.0	6.8	1.0	14.0	0.0	14.0	40.0
2	10.7	18.5	31.3	4.6	31.3	7.8	7.3	15.0	64.0	0.0	16.0	8.0
3	5.0	26.1	17.5	11.5	46.0	11.0	9.0	19.0	124.0	5.0	12.0	5.7
4	2.0	23.3	9.9	15.2	27.0	0.0	2.0	28.0	119.0	9.0	14.0	9.3
5	12.0	15.3	12.7	8.3	28.0	11.0	25.0	8.0	46.0	0.0	9.0	5.0
6	5.0	24.2	6.6	28.0	27.2	5.0	4.0	16.5	138.0	10.0	4.0	3.0
6 ・ 1	4.0	16.3	8.6	17.3	14.1	1.0	1.0	23.5	70.8	10.0	10.0	7.0
2	4.0	13.7	12.7	19.4	8.8	5.0	7.0	4.0	61.2	6.0	2.3	11.0
3	5.0	7.3	5.0	11.3	10.3	0.0	4.0	6.0	12.7	18.0	1.7	4.0
4	3.5	5.6	3.7	4.0	14.6	2.0	3.3	1.0	9.3	12.0	2.0	4.3
5	2.5	2.9	3.3	5.0	14.4	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	5.7
6	0.0	5.4	5.5	14.3	17.8	0.8	3.0	0.0	9.0	0.0	1.0	3.0
7 ・ 1	6.0	3.8	4.5	1.7	13.5	2.3	2.0	0.0	10.0	0.0	1.0	3.0
2	2.0	3.7	3.3	0.0	7.5	2.0	2.0	1.0	4.0	13.0	0.0	4.0
3	3.0	1.4	2.7	0.0	1.0	1.7	0.0	0.7	2.0	1.0	0.0	5.0
4	1.0	1.9	4.2	0.0	0.0	3.3	0.0	1.3	4.7	0.0	0.0	5.0
5	14.2	4.6	23.9	0.3	3.2	13.0	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	0.8
6	36.8	7.2	30.7	1.2	19.6	10.0	0.0	0.0	6.0	3.0	1.0	0.9
8 ・ 1	125.0	9.7	9.2	2.8	20.2	3.0	23.0	3.0	11.7	8.0	16.0	0.3
2	42.0	21.4	9.5	19.7	13.0	0.0	67.0	0.0	14.3	10.0	80.0	0.0
3	34.3	20.6	2.5	56.0	4.0	0.0	15.7	0.6	9.0	35.0	76.0	7.0
4	4.7	10.5	5.0	25.0	12.0	1.0	6.3	0.4	0.0	28.0	19.0	8.5
5	0.0	5.4	6.6	5.0	9.0	4.0	1.5	3.3	0.0	15.7	3.0	5.5
6	3.4	5.9	12.8	4.0	6.7	0.0	0.5	16.7	0.3	6.3	10.0	2.0
9 ・ 1	2.6	6.4	9.8	3.5	23.3	0.0	0.3	24.0	0.7	0.0	0.0	2.0
2	6.0	5.9	5.1	2.5	7.3	1.0	4.7	6.0	7.0	3.0	20.0	2.6
3	3.0	5.8	4.2	21.3	7.7	1.0	1.0	0.0	2.0	0.0	20.0	0.4
4	8.0	5.4	6.2	8.1	4.0	0.0	0.0	0.0	8.0	0.0	1.0	26.7
5	9.0	5.1	9.8	19.7	3.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	10.0	7.6
6	5.0	3.3	3.8	10.7	0.3	1.0	1.0	7.0	2.0	0.0	5.0	2.8
10 ・ 1	6.0	4.8	3.4	11.3	2.8	0.0	0.0	1.0	12.0	0.0	0.0	17.0
2	2.7	2.1	4.3	1.0	2.0	0.0	1.2	0.0	8.0	0.0	4.0	0.0
3	3.3	3.8	1.0	5.0	1.0	2.0	0.8	1.0	4.0	10.0	0.0	13.0
4	3.0	4.3	1.3	2.7	2.0	1.0	4.0	0.0	2.0	7.7	5.0	17.0
5	2.0	3.8	1.1	6.6	1.3	0.0	5.0	1.0	0.0	19.3	4.0	0.0
6	2.5	5.3	0.6	22.3	3.7	2.0	5.0	1.0	10.0	0.0	3.4	5.0
11 ・ 1	1.5	3.1	2.0	4.5	0.8	1.0	1.0	0.0	3.0	0.0	0.6	18.0
2	0.0	7.0	1.6	16.8	4.3	0.0	0.0	2.0	10.0	15.7	10.0	10.0
3	4.0	6.0	2.4	7.7	1.5	0.0	1.0	0.0	2.0	11.3	2.0	31.7
4	6.0	5.1	1.7	7.7	0.5	0.0	2.0	1.0	21.7	10.0	0.0	6.3
5	4.0	2.7	1.3	3.4	1.2	0.0	0.0	0.0	11.3	6.0	1.3	2.0
6	1.0	2.5	1.0	5.4	1.8	1.0	0.0	1.0	5.0	3.0	6.7	0.0
4～11月計	406.0	380.2	369.0	437.0	436.0	159.0	243.0	205.0	903.0	292.0	401.0	346.2

2. 病虫害発生予察情報の内容

(1)水稲

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予 報 内 容 平年比(前年比)	根 拠	備考
葉いもち	5月20日(4号)	発生量 やや少ない(やや少ない)	(1) 5月中旬現在、補植用苗での発生を認めていない(平年並)。 (2) 前年の穂いもちの発生量は平年比やや少なかった(－)。 (3) 向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並、日照時間は平年並と予想されている。	
	6月24日(5号)	発生量 やや少ない(やや多い)	(1) 6月中旬現在、本田での発生を認めていない(平年並)。 (2) 山城及び南丹地域の一部で補植用苗に発生を認めている(+)。 (3) 長期持続型箱施用剤の普及率が高まっている(－)。 (4) 向こう1か月の気温は平年比高く(－)、降水量は日本海側では少なく、太平洋側で平年並または少なく(－)、日照時間は平年並または多いと予想されている。	
穂いもち	7月22日(6号)	発生量 やや多(多)	(1) 7月中旬現在、葉いもちの発生量は山城では平年比やや多く、南丹及び中丹では平年比多く、丹後では平年並、全体では平年比多い(+)。 (2) いもち病発生予察システム(ブラスタム)では、7月1日、2日、6日から10日にかけて広い範囲で感染(準)好適条件が記録されている(+)。 (3) 向こう1か月の気温は平年比高く、降水量及び日照時間はほぼ平年並と予想されている。	
	(中晩生水稲) 8月26日(7号)	発生量 やや多(多)	(1) 8月中旬現在、巡回調査での葉いもちの発生は平年比やや多い(+)。 (2) 8月中旬現在、巡回調査では穂いもちの発生は平年並。 (3) 向こう1か月の気温は高く(－)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多く(+)、日照時間は平年並と予想されている。	
紋枯病	6月24日(5号)	発生量 やや多(やや多)	(1) 6月中旬現在、発生を認めていない。 (2) 昨年8月の発生量は平年比多い(+)。 (3) 向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は日本海側では少なく、太平洋側で平年並または少なく(－)、日照時間は平年並または多い(－)と予想されている。	
	7月22日(6号)	発生量 やや多(多)	(1) 7月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2) 向こう1か月の気温は平年比低く(－)、降水量は平年並または多く(+)、日照時間は日本海側では少なく、太平洋側では平年並または少ない(+)と予想されている。	
	(中晩生水稲) 8月26日(7号)	発生量 多(並)	(1) 8月中旬現在、巡回調査での発生量は、山城及び丹後では平年比やや多く(+)、南丹及び中丹では平年並。 (2) 向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多く(+)、日照時間は平年並と予想されている。	
ヒメビウンカ と縞葉枯病	4月23日(3号)	発生量 [ヒメビウンカ] 並(多) [縞葉枯病] やや多(やや多)	(1) 4月中旬現在、ヒメビウンカの発生量は平年並。 (2) 昨年は、亀岡市及び久御山町の調査外ほ場で縞葉枯病の発生を認めた(+)。	
	5月20日(4号)	発生量 [ヒメビウンカ] 並(多) [縞葉枯病] やや多(やや多)	(1) ヒメビウンカの越冬虫数、確認は場率とも平年並。 (2) 昨年は、亀岡市及び久御山町の調査外ほ場で縞葉枯病の発生を認めた(+)。	
セジロウンカ	6月24日(5号)	発生量 多(多)	(1) 6月第3半旬現在、予察灯への誘殺を認めている。 (2) 6月中旬現在、本田での発生量は平年比多い(+)。	
	7月22日(6号)	発生量 やや多(多)	(1) 7月中旬現在、本田見取り調査での発生量は平年並、本田すくい取り調査での発生量は平年比やや多い(+)。	
トビイロウンカ	7月22日(6号)	発生量 並(並)	(1) 7月14日現在、予察灯への誘殺を認めていない。 (2) 7月中旬の巡回調査では、発生を認めていない(平年並)。	
(中晩生水稲)	8月26日(7号)	発生量 多(やや多)	(1) 8月中旬の巡回調査では、山城で平年比多い発生を認めている(+)。 (2) 府内の広範囲の水田で本虫発生を確認している(+)。 (3) 予察灯調査では、京田辺市で8月4、5及び14日に、亀岡市で8月6日に、京丹後市で8月5及び7日に、成虫の誘殺を認めた(+)。 (4) 向こう1か月の気温は高い(+)と予想されている。	
(晩生水稲)	9月24日(8号)	発生量 多	(1) 9月中旬現在の発生量は、山城及び南丹で平年比多い(+)。 (2) 向こう1か月の気温は平年比高い(+)と予想されている。	
ツマグロ ヨコバイ	5月20日(4号)	発生量 やや少(少)	(1) ツマグロヨコバイの越冬虫数は平年比やや少なく、確認ほ場率は平年比やや低い(－)。	
	6月24日(5号)	発生量 やや多(多)	(1) 6月中旬現在、本田での発生は平年比やや多い(+)。	
	7月22日(6号)	発生量 やや少(やや多)	(1) 7月中旬現在の発生量は、本田見取り調査では平年並、本田すくい取り調査では平年比やや少ない(－)。	
ニカメイチュウ (第1世代)	5月20日(4号)	発生量 並(並)	(1) 前年8月に第2世代幼虫の発生を認めておらず(平年並)、越冬量は平年並と予想される。	
コブノメイガ (晩生水稲)	7月22日(6号)	発生量 やや多(やや多)	(1) 7月中旬現在の発生量は、平年比やや多い(+)。	
	8月26日(7号)	発生量 多(多)	(1) 8月中旬現在の発生量は、平年比多い(+)。	
イネミズ ゾウムシ	4月23日(3号)	発生量 並(並)	(1) 前年の新成虫の予察灯への誘殺数は京田辺市、亀岡市及び京丹後市のいずれも平年並。 (2) 向こう1か月の気温は平年並または低いと予想されている。	
	5月20日(4号)	発生量 多(多)	(1) 前年の新成虫の予察灯への誘殺数は、京田辺、亀岡、京丹後のいずれも平年並。 (2) 5月中旬現在、本田での発生量は平年比やや多い(+)。 (3) 5月第2半旬現在、越冬世代成虫の予察灯への誘殺数は京田辺及び亀岡で平年比多く(+)、京丹後で平年比やや多い(+)。	

斑点米カメムシ類 (中晩生水稲)	6月24日(5号)	発生量 多(多)	(1)6月中旬現在、本田での発生量は平年比多く、畦畔雑草での発生量は平年比やや多い(+) (2)アカヒゲホソミドリカスミカメの予察灯への誘殺数は、京田辺、亀岡及び京丹後のいずれも平年並。 (3)アカスジカスミカメの予察灯への誘殺数は、京田辺で平年並、亀岡及び京丹後で平年比多い(+) (4)向こう1か月の気温は平年比高い(+と予想されている。
	7月22日(6号)	発生量 やや多(やや多)	(1)7月中旬現在、本田での発生は平年比やや多く(+)、畦畔雑草では平年並。 (2)アカスジカスミカメの予察灯への誘殺数は、京田辺市及び亀岡市で平年比やや多く(+)、京丹後市で平年並。 (3)アカヒゲホソミドリカスミカメの予察灯への誘殺数は、京田辺市及び亀岡市で平年比やや少なく(－)、京丹後市で平年比少ない(－)。 (4)向こう1か月の気温は平年比低いと予想されている。
	8月26日(7号)	発生量 やや多	(1)8月中旬現在、本田での発生量は、山城で平年比少なく(－)、南丹で平年比多い(+) (2)8月中旬現在、畦畔雑草での発生量は、山城で平年並、南丹でやや多い(+) (3)山城の一部ほ場でミナミアオカメムシの発生を確認している(+)
その他 (注意事項)			

(2) 麦類

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根拠	備考
その他 (注意事項)				

(3) 黒大豆

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根拠	備考
アブラムシ類 とウイルス病	6月24日(5号)	発生量 やや多(並)	(1)6月第3半旬現在、アブラムシ類の黄色水盤での誘殺数は平年比やや少ない(－)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側では少なく、太平洋側で平年並または少ない(+)と予想されている。	
吸害性 カメムシ類	7月22日(6号)	発生量 やや多(やや多)	(1)7月中旬現在、巡回調査で発生を認めていない(平年並)が、南丹地域のほ場での発生を認めている。 (2)7月第3半旬現在、予察灯(60W)への誘殺数は、アオクサカメムシでは平年並、イチモンジカメムシでは、京田辺市で平年比やや多く(+)、亀岡市と京丹後市で平年比多い(+)。 (3)7月第3半旬現在、イチモンジカメムシの予察灯(BL20W)への誘殺数は京田辺市、亀岡市で平年比多く(+)、京丹後市で平年並。 (4)7月第3半旬現在、ホソヘリカメムシのフェロモントラップへの誘殺数は亀岡市で例年並。 (5)向こう1か月の気温は平年比低く、降水量は平年並または多いと予想されている。	
	8月26日(7号)	発生量 やや多(並)	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年比少)(－)。 (2)8月第3半旬現在、予察灯(60W)への誘殺数は、アオクサカメムシでは京田辺市及び亀岡市で平年並、京丹後市で平年比やや多い(+)。イチモンジカメムシでは京田辺市で平年比多く(+)、亀岡市で平年比やや多く(+)、京丹後市で平年並。 (3)8月第3半旬現在、イチモンジカメムシの予察灯(BL)への誘殺数は、京田辺市で平年比多く(+)、亀岡市及び京丹後市で平年並。 (4)8月第3半旬現在、亀岡市におけるホソヘリカメムシのフェロモントラップへの誘殺数は例年比やや少ない(－)。 (5)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。	
	9月24日(8号)	発生量 やや多	(1)9月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+)。 (2)9月第3半旬現在、予察灯(60W)への誘殺数は、アオクサカメムシは京田辺市と京丹後市で認めず(平年並)、亀岡市で平年比多く(+)、イチモンジカメムシは京田辺市と京丹後市で平年比やや多く(+)、亀岡市で認めていない。 (3)9月第3半旬現在、イチモンジカメムシの予察灯(BL)への誘殺数は、京田辺市と京丹後市で平年比やや多く(+)、亀岡市で平年比多い (4)9月第3半旬現在、亀岡市のホソヘリカメムシのフェロモントラップへの誘殺数は例年比少ない(－)。	
サヤムシガ類	7月22日(6号)	発生量 やや多(多)	(1)7月中旬現在、寄生株率及び25株当たりの寄生数は平年並。 (2)7月中旬現在、被害株率及び25株当たりの被害数は平年比やや多い(+)。 (3)向こう1か月の気温は平均比低く、降水量は平年並または多いと予想されている。	

ハスモンヨトウ	7月22日(6号)	発生量 多(多)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)7月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市と亀岡市で平年比多く(+)、京丹後市で平年比やや多い(+) (3)向こう1か月の気温は平年比低く、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。
	8月26日(7号)	発生量 やや多(多)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)8月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は、京田辺市及び亀岡市で平年比少なく(-)京丹後市で平年並 (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多い(-)と予想されている。
	9月24日(8号)	発生量 やや多	(1)9月中旬現在、発生量は黒大豆、アズキで平年比やや多い(+) (2)9月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市と京丹後市で平年比少なく(-)、亀岡市で平年並 (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
ハダニ類	7月22日(6号)	発生量 やや少(やや少)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年比やや少ない(-)) (2)向こう1か月の気温は平年比低く、降水量は平年並または多いと予想されている。
	8月26日(7号)	発生量 並(多)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多い(-)と予想されている。
	9月24日(8号)	発生量 多	(1)9月中旬現在、発生量は黒大豆で平年比多く(+)、アズキで平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
(注意事項)			

(4)小豆

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根拠	備考
アブラムシ類 とウイルス病	6月24日(5号)	発生量 やや多(並)	(1)6月第3半旬現在、アブラムシ類の黄色水盤での誘殺数は平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側では少なく、太平洋側で平年並または少ない(+と予想されている。	
ハスモンヨトウ	7月22日(6号)	発生量 多(多)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)7月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市と亀岡市で平年比多く(+)、京丹後市で平年比やや多い(+) (3)向こう1か月の気温は平年比低く、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。	
	8月26日(7号)	発生量 並(やや多)	(1)8月中旬現在、発生量は平年並 (2)8月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は、京田辺市及び亀岡市で平年比少なく(-)京丹後市で平年並 (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。	
	9月24日(8号)	発生量 やや多	(1)9月中旬現在、発生量は黒大豆、アズキで平年比やや多い(+) (2)9月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市と京丹後市で平年比少なく(-)、亀岡市で平年並 (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
ハダニ類	7月22日(6号)	発生量 やや少(やや少)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年比やや少ない(-)) (2)向こう1か月の気温は平年比低く、降水量は平年並または多いと予想されている。	
	8月26日(7号)	発生量 多(多)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。	
	9月24日(8号)	発生量 多	(1)9月中旬現在、発生量は黒大豆で平年比多く(+)、アズキで平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
オオタバコガ	8月26日(7号)	発生量 やや多(やや多)	(1)8月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は、京田辺市および京丹後市では認められず(平年並)、亀岡市では平年比やや多い(+) (2)調査は場にて、卵及び幼虫の発生を確認している(+) (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。	
(注意事項)				

(5)果樹

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根拠	備考
黒斑病(ナシ)	3月27日(2号)	発生量 やや多	(1)越冬量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量及び日照時間とも平年並と予想されている。	
	4月22日(3号)	発生量 並(並)	(1)冬季に剪定した徒長枝での発生は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または低く(-)、降水量は平年並と予想されている。	
	5月20日(4号)	発生量 多(やや多)	(1)5月中旬現在の発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	6月24日(5号)	発生量 やや少(少)	(1)6月中旬現在、発生量は平年並 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では少なく、太平洋側で平年並または少ない(-)と予想されている。	
	7月22日(6号)	発生量 多(多)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比低く(+)、降水量は平年並または多い(+)と予想されている。	
	8月26日(7号)	発生量 多(多)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。	
黒星病(ナシ)	4月22日(3号)	発生量 多(やや多)	(1)前年10月の発生は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並と予想されている。	
	5月20日(4号)	発生量 やや多(やや多)	(1)5月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)5月中旬現在、幼果での発生を認めている(+) (3)向こう1か月の気温は高く(-)、降水量は平年並と予想されている。	
	6月24日(5号)	発生量 やや多(やや少)	(1)6月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は日本海側では少なく、太平洋側で平年並または少ない(-)と予想されている。	
	8月26日(7号)	発生量 やや多(並)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。	
べと病 (ブドウ)	5月20日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並と予想されている。	
	6月24日(5号)	発生量 少(やや少)	(1)6月中旬現在、発生を認めていない(平年比やや少)(-) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は日本海側では少なく、太平洋側で平年並または少ない(-)と予想されている。	
	7月22日(6号)	発生量 並(やや多)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年比低く、降水量は平年並または多い(+)と予想されている。	
	8月26日(7号)	発生量 やや多(並)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。	
カキクダアザ ミウマ(カキ)	3月27日(2号)	発生量 並	(1)前年10月に被害を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量及び日照時間とも平年並と予想されている。	
炭そ病(カキ)	4月22日(3号)	発生量 やや少(並)	(1)前年10月の発生は平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年並または低く(-)、降水量は平年並と予想されている。	
	7月22日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年比低く、降水量は平年並または多いと予想されている。	
	8月26日(7号)	発生量 やや多(やや多)	(1)8月中旬現在、果実での発生を認めていない(平年並)が、新梢での発生を認めている(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。	
落葉病(カキ)	5月20日(4号)	発生量 並	(1)前年10月の発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並と予想されている。	
うどんこ病 (カキ)	5月20日(4号)	発生量 やや多(並)	(1)5月中旬現在、発生量は平年並 (2)前年10月の発生量は平年比やや多い(+) (3)向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並と予想されている。	
	6月24日(5号)	発生量 多(多)	(1)6月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では少なく、太平洋側で平年並または少ないと予想されている。	
	7月22日(6号)	発生量 多(多)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比低く(+)、降水量は平年並または多い(+)と予想されている。	
	8月26日(7号)	発生量 多(多)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。	

ハダニ類 (カンキツ、 ナシ、ブドウ)	5月20日(4号)	発生量 ナシ やや多 (多) カンキツ やや多 (やや多)	(1)5月中旬現在、ナシでは発生を認めず(平年並)、カンキツでは平年 (2)向こう1か月の気温は高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
	6月24日(5号)	発生量 ナシ 並 (やや多) カンキツ やや多 (やや多)	(1)6月中旬現在、ナシで発生を認めず(平年比やや少ない)(-)、カン キツで平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側では少な く、太平洋側で平年並または少ない(+)と予想されている。
	7月22日(6号)	発生量 ナシ 並 (やや少) カンキツ やや多 (やや多)	(1)7月中旬現在、発生量はナシで平年並、カンキツで平年比やや多い (+)。 (2)向こう1か月の気温は平年比低く、降水量は平年並または多いと予想 されている。
	8月26日(7号)	発生量 ナシ 並 (並) カンキツ 並 (やや少)	(1)8月中旬現在、発生量はナシ及びカンキツで平年比やや少ない (-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で平年 並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。
カメムシ類 (果樹全般)	5月20日(4号)	発生量 多(やや多)	(1)チャバネアオカメムシの越冬量は、京都市及び南丹地域で平年並、 京丹後市で平年比やや多い(+) (2)5月中旬現在、ナシでの発生量は平年並。 (3)5月第2半旬現在、チャバネアオカメムシの予察灯(BL)への誘殺は 京田辺市及び亀岡市で平年比多く(+)、京丹後市では平年並。 (4)5月第2半旬現在、チャバネアオカメムシのフェロモントラップへの誘 殺は京田辺市で平年並、亀岡市で平年比多く(+)、京丹後市で平年比 やや多い(+) (5)5月第2半旬現在、ツヤアオカメムシの予察灯(BL)への誘殺は京田 辺市で例年比多く(+)、亀岡市及び京丹後市では認めていない(例年 並)。
	6月24日(5号)	発生量 多(多)	(1)6月中旬現在の発生量は、ナシで平年比やや多く(+)、カキでは発 生を認めていない(平年並)。 (2)チャバネアオカメムシの予察灯(BL)での誘殺数は、京田辺市で平年 比やや多く(+)、亀岡市及び京丹後市で平年比多い(+) (3)チャバネアオカメムシのフェロモントラップでの誘殺数は、京田辺市、 亀岡市及び京丹後市で平年比やや多い(+) (4)クサギカメムシの予察灯(BL)への誘殺数は、京田辺市及び亀岡市 で平年比多く(+)、京丹後市で平年並。
	7月22日(6号)	発生量 多(多)	(1)7月第2半旬現在、チャバネアオカメムシの予察灯(BL)への誘殺数は 京田辺市、亀岡市及び京丹後市で平年比多い(+) (2)7月第2半旬現在、チャバネアオカメムシのフェロモントラップへの誘 殺数は京田辺市、亀岡市及び京丹後市で平年並。 (3)7月第2半旬現在、予察灯(BL)へのツヤアオカメムシの誘殺数は京田 辺市及び亀岡市で平年比多く(+)、京丹後市で例年比多い(+) (4)向こう1か月の気温は平年比低く、降水量は平年並または多いと予想 されている。
	8月26日(7号)	発生量 多(多)	(1)8月第3半旬現在、チャバネアオカメムシの予察灯(BL)への誘殺数 は京田辺市及び京丹後市で平年比やや多く(+)、亀岡市で平年比多い (+)。 (2)8月第3半旬現在、チャバネアオカメムシのフェロモントラップへの誘 殺数は京田辺市で平年比多く(+)、亀岡市で平年比やや多く(+)、京 丹後市で平年並。 (3)8月第3半旬現在、クサギカメムシの予察灯(BL)への誘殺数は、京 田辺市及び亀岡市で平年比やや多く(+)、京丹後市で平年並。 (4)8月第3半旬現在、ツヤアオカメムシの予察灯(BL)への誘殺数は、 京田辺市及び亀岡市で平年比やや多く(+)、京丹後市で例年比多い (5)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側で平年並、太 平洋側で平年並または多いと予想されている。
その他 (注意事項)			

(6)茶樹

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)			根拠	備考
もち病	3月27日(2号)	発生量	山城 丹波 丹後	平年並(前年並) 平年並(前年並) 平年並(前年並)	(1)前年10月は山城、丹波、丹後とも発生を認めなかった(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量及び日照時間とも平年並と予想されている。	
	4月22日(3号)	発生量	山城 丹波 丹後	平年並(前年並) 平年並(前年並) 平年並(前年並)	(1)前年10月の発生量は山城、丹波、丹後とも発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く(－)、降水量は平年並と予想されている。	
	5月20日(4号)	発生量	山城 丹波 丹後	平年並(前年並) 平年並(前年並) 平年並(前年並)	(1)5月中旬現在、山城、丹波、丹後のいずれも発生を認めていない(いずれも平年並)。 (2)前年10月の発生は、山城、丹波、丹後のいずれも認めなかった(いずれも平年並)。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。	
	7月22日(6号)	発生量	山城 丹波 丹後	平年並(前年並) 平年並(前年並) 平年並(前年並)	(1)7月中旬現在、山城、丹波、丹後のいずれも発生を認めていない(いずれも平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並または多く、日照時間は日本海側では平年比少なく、太平洋側では平年並または少ないと予想されている。	
	8月26日(7号)	発生量	山城 丹波 丹後	平年並(前年並) 平年並(前年並) 平年並(前年並)	(1)8月中旬現在、山城、丹波、丹後ともに発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(－)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。	
炭疽病	4月22日(3号)	発生量	山城 丹波 丹後	平年並(前年並) 平年比やや多い(前年比やや多い) 平年並(前年並)	(1)4月中旬現在、発生量は山城で平年並、丹波ではやや多く(+)、丹後で平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く(－)、降水量は平年並と予想されている。	
	5月20日(4号)	発生量	山城 丹波 丹後	平年やや少ない(前年比並) 平年並(前年比やや多い) 平年並(前年比やや多い)	(1)5月中旬現在、発生量は山城でやや少なく、丹波、丹後では発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。	
	6月24日(5号)	発生量	山城 丹波 丹後	平年比やや少ない(前年並) 平年比やや少ない(前年並) 平年並(前年比多い)	(1)6月中旬現在の発生量は山城および丹波で平年並、丹後で平年比やや多い(+)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(－)、降水量は日本海側では少なく(－)、太平洋側で平年並または少ない(－)と予想されている。	
	7月22日(6号)	発生量	山城 丹波 丹後	平年比多い(前年比多い) 平年比多い(前年比多い) 平年比やや多い(前年比やや多い)	(1)7月中旬現在の発生量は、山城及び丹波で平年比やや多く(+)、丹後で平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比低く、降水量は平年並または多く(+)、日照時間は日本海側では平年比少なく、太平洋側では平年並または少ないと予想されている。	
	8月26日(7号)	発生量	山城 丹波 丹後	平年比やや多い(前年比やや多い) 平年比やや少ない(前年並) 平年比やや多い(前年比やや多い)	(1)8月中旬現在の発生量は、山城でやや多く(+)、丹波でやや少なく(－)、丹後でやや多い(+)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。	
カンザワハダニ	2月28日(1号)	発生量	山城 丹波 丹後	平年比やや多い(前年比やや多い) 平年比やや多い(前年並) 平年比多い(前年比多い)	(1)2月第5半旬現在、発生量は山城で平年並、丹後では平年比やや多く(+)、丹波では発生を認めていない(平年並)。 (2)産卵数は山城でやや多く(+)、丹波及び丹後では産卵を認めず、産卵率はいずれの地域ともに平年並。 (3)発生は場率は山城及び丹波で平年並、丹後では平年比多い(+)。 (4)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量はほぼ平年並と予想されている。	
		防除時期	3月中旬以降			
	3月27日(2号)	発生量	山城 丹波 丹後	平年比やや少ない(前年比少ない) 平年比多い(前年比多い) 平年比多い(前年比多い)	(1)3月中旬の調査では、発生量は山城で平年比少なく(－)、丹波及び丹後で平年比やや多い(+)発生であった。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量及び日照時間とも平年並と予想されている。	
	4月22日(3号)	発生量	山城 丹波 丹後	平年比やや少ない(前年比少ない) 平年並(前年比やや少ない) 平年並(前年並)	(1)4月中旬現在、発生量は山城で平年比やや少なく(－)、丹波、丹後では発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く(－)、降水量は平年並と予想されている。	
	5月20日(4号)	発生量	山城 丹波 丹後	平年並(前年比多い) 平年比やや多い(前年比やや多い) 平年比やや多い(前年並)	(1)5月中旬現在、発生量は山城で少なく(－)、丹波、丹後では発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	6月24日(5号)	発生量	山城 丹波 丹後	平年並(前年並) 平年並(前年比やや少ない) 平年並(前年並)	(1)6月中旬現在の発生量は山城、丹後で平年比やや少なく(－)、丹波で平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側では少なく(+)、太平洋側で平年並または少ない(+)と予想されている。	
	7月22日(6号)	発生量	山城 丹波 丹後	平年比やや多い(前年並) 平年並(前年比やや少ない) 平年並(前年比少ない)	(1)7月中旬現在、発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波及び丹後では平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比低く、降水量は平年並または多く、日照時間は日本海側では平年比少なく、太平洋側では平年並または少ないと予想されている。	

	8月26日(7号)	発生量	山城 平年並(前年並) 丹波 平年比やや多い(前年並) 丹後 平年並(前年並)	(1)8月中旬現在の発生量は、山城で平年比やや少なく(－)、丹波で平年並、丹後で平年比やや少ない(－) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(＋)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。
	9月24日(8号)	発生量	山城 平年比多い(前年比やや多い) 丹波 平年比多い(前年比やや多い) 丹後 平年比やや多い(前年比やや少ない)	(1)9月中旬現在、発生量は山城で平年比やや多く(＋)、丹波で平年比多く(＋)、丹後で平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(＋)、降水量は平年並と予想されている。
	10月23日(9号)	発生量	山城 平年比やや多い 丹波 平年並 丹後 平年並	(1)10月中旬現在、発生量は山城でやや多く(＋)、丹波、丹後で発生を認めていない(丹波で平年比やや少)(－)、(丹後で平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(＋)、降水量は日本海側ではほぼ平年並、太平洋側では平年並または多い(－)と予想されている。
チャノホソガ	3月27日(2号)	発生量	山城 平年比やや少ない(前年並) 丹波 平年比やや多い(前年比やや多い) 丹後 平年比やや多い(前年比やや多い)	(1)前年10月の発生量は、山城で平年比やや少なく(－)、丹波及び丹後では 平年比やや多い(＋)発生であった。
	4月22日(3号)	発生量	山城 平年並(前年比やや多い) 丹波 平年比やや多い(前年並) 丹後 平年並(前年並)	(1)前年10月の発生量は山城で平年並、丹波、丹後では平年比やや多い(＋)。 (2)4月中旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は宇治市、綾部市で平年比やや多く(＋)、京丹後市では平年比やや少ない(－)。 (3)向こう1か月の気温は平年並または低く(－)、降水量は平年並と予想されている。
	5月20日(4号)	発生量	山城 平年比やや多い(前年比やや少ない) 丹波 平年比やや多い(前年並) 丹後 例年比やや少ない(前年比やや少ない) 第2世代幼虫ふ化時期： 山城：6月第1～2半旬(平年比早い) 丹波：6月第2～3半旬(平年比やや早い) 丹後：6月第1～2半旬(例年比早い)	(1)5月中旬現在、第1世代の発生は山城で平年比やや多く(＋)、丹波で平年比やや多い、丹後で例年並。 (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治市、綾部市で平年並、京丹後市では例年比少ない(－)。 (3)フェロモントラップへの誘殺盛期は宇治市で平年比早い、綾部市で平年比やや早い、京丹後市では例年比早い。
	6月24日(5号)	発生量	山城 平年比やや多い(前年並) 丹波 平年並(前年比やや少ない) 丹後 平年比やや少ない(前年比やや少ない) 第3世代幼虫ふ化期： 山城 7月第2半旬～4半旬(平年並) 丹波 6月第4半旬～6半旬(平年比やや早い) 丹後 6月第5半旬～7月第1半旬(例年比早い)	(1)6月中旬現在の発生量は山城で平年比やや多く(＋)、丹波、丹後で平年並。 (2)フェロモントラップへの誘殺数は、宇治市は平年比やや多く(＋)、綾部市は平年並、京丹後市は例年比少ない(－)。 (3)フェロモントラップへの誘殺盛期は、宇治市は平年比やや早く、綾部市は平年比やや早く、京丹後市は例年比早い。 (4)向こう1か月の気温は平年比高く(＋)、降水量は日本海側では少なく、太平洋側で平年並または少ないと予想されている。
	7月22日(6号)	発生量	山城 平年比少ない(前年比やや少ない) 丹波 平年比やや多い(前年比やや多い) 丹後 平年比やや多い(前年比やや多い) 発生時期：第4世代幼虫ふ化期 山城 7月第6半旬～8月第1半旬(平年並) 丹波 8月第2半旬～3半旬(平年比遅い) 丹後 8月第2半旬～3半旬(例年並)	(1)7月中旬現在、第3世代幼虫の発生量は山城で発生を認めず(平年比少ない)(－)、丹波及び丹後で平年比やや多い(＋)。 (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治市及び綾部市で平年並、京丹後市では例年比やや多い(＋)。 (3)第3世代成虫の発生時期は宇治市で平年並、綾部市では平年比遅く、京丹後市では例年並。
	8月26日(7号)	発生量	山城 平年比やや多い(前年並) 丹波 平年比多い(前年比やや多い) 丹後 平年比多い(前年比やや多い) 第4世代幼虫ふ化期 山城 9月第1半旬～第2半旬(平年比やや遅い) 丹波 9月第1半旬～第2半旬(平年比遅い) 丹後 9月第2半旬～第4半旬(例年比やや遅い)	(1)8月中旬現在、発生量は山城で平年並、丹波では平年比多く(＋)、丹後では例年比やや多い(＋)。 (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治市で平年比やや多く(＋)、綾部市で平年比多く(＋)、京丹後市で例年多い(＋)。 (3)第2世代成虫の発生時期は、宇治市で平年並、綾部市では平年比遅く、京丹後市では例年比やや遅い。 (4)向こう1か月の気温は平年比高く(＋)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。
	9月24日(8号)	発生量	山城 平年並(前年比やや多い) 丹波 平年比やや多い(前年並) 丹後 平年比やや多い(前年並)	(1)9月中旬現在、発生量は山城、丹波、丹後で平年並。 (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治市でやや少なく(－)、綾部市で平年比やや多く(＋)、京丹後市で例年比多い(＋)。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く(＋)、降水量は平年並と予想されている。
チャノコカモンハマギ	10月21日(9号)	発生量	山城 平年並 丹波 平年並 丹後 平年並	(1)10月中旬現在、発生量は山城で平年比やや少なく(－)、丹波で平年並、丹後で発生を認めず(平年並)。 (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治市で平年並、綾部市で平年比やや少なく、京丹後市で例年比やや少ない。
	3月27日(2号)	発生量	山城 平年やや多い(前年比やや多い) 丹波 平年比多い(前年比やや多い) 丹後 平年並(前年並)	(1)前年10月の発生量は、山城で平年比やや多く(＋)、丹波で平年比多く(＋)並、丹後では発生並の発生であった。
	4月22日(3号)	発生量	山城 平年並(前年比少ない) 丹波 平年比やや多い(前年比やや少ない) 丹後 平年比やや多い(前年比やや少ない)	(1)4月中旬現在、発生量は山城、丹波、丹後とも発生を認めていない(平年並)。 (2)4月中旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は宇治市で平年並、綾部市で平年比やや多く(＋)、京丹後市で平年比多い(＋)。
	5月20日(4号)	発生量	山城 平年比やや多い(前年比やや少ない) 丹波 平年比やや多い(前年比やや少ない) 丹後 例年比やや多い(前年比並) 第1世代幼虫ふ化時期： 山城：5月第3～5半旬(平年比早い) 丹波：5月第3～5半旬(平年比やや早い) 丹後：5月第3～5半旬(例年並)	(1)5月中旬現在、発生量は山城で平年比やや多く(＋)、丹波、丹後では発生を認めていない(平年並)。 (2)前年10月の発生は山城でやや多く(＋)、丹波で平年比多く(＋)、丹後で例年並。 (3)フェロモントラップへの誘殺数は宇治市で平年比やや少なく(－)、綾部市では平年比やや多く(＋)、京丹後市では例年比多い(＋)。 (4)フェロモントラップへの誘殺盛期は宇治市で平年比早い、綾部市で平年比やや早い、京丹後市で例年並。
	6月24日(5号)	発生量	山城 平年並(前年並) 丹波 平年並(前年比やや多い) 丹後 平年比多い(前年並) 第2世代幼虫ふ化期： 山城 6月第3半旬～6半旬(平年比早い) 丹波 6月第2半旬～5半旬(平年比早い) 丹後 6月第3半旬～6半旬(例年比やや早い)	(1)6月中旬現在、第1世代の発生量は山城、丹波で平年並、丹後で平年比多い(＋)。 (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治市は平年比少なく(－)、綾部市は平年並、京丹後市では例年比多い(＋)。 (3)フェロモントラップへの誘殺盛期は宇治市で平年比早く、綾部市では平年比やや早く、京丹後市では例年並。 (4)向こう1か月の気温は平年比高く(＋)、降水量は日本海側では少なく(＋)、太平洋側で平年並または少ない(＋)と予想されている。

	7月22日(6号)	発生量	山城 平年並(前年並) 丹波 平年比やや多い(前年比やや多い) 丹後 例年比多い(前年比多い)	(1)7月中旬現在、第2世代幼虫の発生量は山城で平年並、丹波及び丹後でやや多い(+) (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治市及び綾部市で平年並、京丹後市では例年比多い(+) (3)第2世代成虫の発生時期は宇治市で平年並、綾部市で平年比早く、京丹後市では例年比やや早い。
		第3世代幼虫ふ化期	山城 8月第4～5半旬(平年並) 丹波 8月第2～3半旬(平年比早い) 丹後 8月第3～4半旬(例年比やや早い)	
	8月26日(7号)	発生量	山城 平年比やや多い(前年比やや多い) 丹波 平年比多い(前年比やや多い) 丹後 平年比やや多い(前年比やや少ない) 第4世代幼虫ふ化期 山城 9月第6半旬～10月第1半旬(平年並) 丹波 9月第6半旬～10月第1半旬(平年比早い) 丹後 10月第1半旬～第2半旬(例年並)	(1)8月中旬現在の発生量は、山城で平年並、丹波で平年比多い(+)、丹後で平年並。 (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治市で平年比やや多く(+)、綾部市で平年比多く(+)、京丹後市で例年並。 (3)第2世代成虫の発生時期は宇治市で平年比やや遅く、綾部市で平年比やや早く、京丹後市で例年比やや遅い。 (4)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。
	9月24日(8号)	発生量	山城 平年比並(前年比やや少ない) 丹波 平年比多い(前年並) 丹後 平年比多い(前年比多い)	(1)9月中旬現在、発生量は山城で平年比やや少なく(－)、丹波、丹後で多い(+) (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治市および綾部市で平年比やや多く(+)、京丹後市で例年比多い(+) (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
クワシロ カイガラムシ	4月22日(3号)	発生量	山城 平年比少ない(前年並) 丹波 平年並(前年並) 丹後 平年並(前年並)	(1)4月中旬現在、発生量は山城で平年比少なく(－)、丹波、丹後で平年並。
	5月20日(4号)	発生量	山城 平年比少ない(前年比少ない) 丹波 平年並(前年比やや多い) 丹後 平年比少ない(前年並)	(1)5月中旬現在、発生量は山城で平年比少なく(－)、丹波、丹後では発生を認めていない(平年比少ない)(－)。
	6月24日(5号)	発生量	山城 平年比やや少ない(前年並) 丹波 平年比やや多い(前年比やや少ない) 丹後 平年並(前年並)	(1)第1世代幼虫の発生量は山城で平年比やや少なく(－)、丹波で平年比やや多く(+)、丹後では平年並。
	8月26日(7号)	発生量	山城 平年比少ない(前年比少ない) 丹波 平年比多い(前年比多い) 丹後 平年並(前年比やや多い)	(1)8月中旬現在の発生量は、山城で平年比少なく(－)、丹波で平年比多く(+)、丹後で平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。
チャノキイロ アザミウマ	5月20日(4号)	発生量	山城 平年比やや多い(前年並) 丹波 平年比やや多い(前年比やや少ない) 丹後 平年比多い(前年比多い)	(1)5月中旬現在、発生量は山城、丹波で平年並、丹後では平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
	6月24日(5号)	発生量	平年比やや多い(前年並)	(1)6月中旬現在の発生量は、山城で平年比やや多く(+)、丹波で平年比やや少ない(－) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側では少なく(+)、太平洋側で平年並または少ない(+と予想されている。
	7月22日(6号)	発生量	山城 平年比やや少ない(前年比やや多い) 丹波 平年比やや少ない(前年比やや少ない) 丹後 平年並(前年比多い)	(1)7月中旬現在、発生量は山城及び丹波で平年比やや少なく(－)、丹後では平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比低く、降水量は平年並または多く、日照時間は日本海側では平年比少なく、太平洋側では平年並または少ないと予想されている。
	8月26日(7号)	発生量	山城 平年比やや少ない(前年並) 丹波 平年比やや多い(前年比多い) 丹後 平年比やや少ない(前年比やや少ない)	(1)8月中旬現在の発生量は、山城で平年比少なく(－)、丹波では平年並、丹後では発生を認めていない(平年比少ない)(－)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。
チャノミドリヒメ ヨコバイ	5月20日(4号)	発生量	山城 平年比やや多い(前年並) 丹波 平年比やや多い(前年比やや多い) 丹後 平年比やや多い(前年比やや多い)	(1)5月中旬現在、発生量は山城で平年並、丹波、丹後では発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
	6月24日(5号)	発生量	平年比多い(前年比多い)	(1)6月中旬現在の発生量は、山城及び丹波で平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では少なく、太平洋側で平年並または少ない(+と予想されている。
	7月22日(6号)	発生量	山城 平年比やや少ない(前年並) 丹波 平年比少ない(前年比少ない) 丹後 平年並(前年比やや多い)	(1)7月中旬現在、発生量は山城で平年比やや少なく(－)、丹波で平年比少なく(－)、丹後では平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比低く、降水量は平年並または多く、日照時間は日本海側では平年比少なく、太平洋側では平年並または少ないと予想されている。
	8月26日(7号)	発生量	山城 平年比多い(前年並) 丹波 平年比やや多い(前年比やや多い) 丹後 平年比多い(前年比多い)	(1)8月中旬現在の発生量は、山城で平年比やや多く(+)、丹波で平年並、丹後で平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。
その他 (注意事項)				

(7)野菜

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根拠	備考
疫病・褐色腐敗病(果菜類)	5月20日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、トマトおよびナスで発生を認めていない。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。	
	6月24日(5号)	発生量 やや少(やや少)	(1)6月中旬現在、ナスで褐色腐敗病の発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では少なく、太平洋側で平年並または少ない(－)と予想されている。	
	8月26日(7号)	発生量 やや多(並)	(1)8月中旬現在、ナスの巡回調査で発生を認めていない(平年並)。 (2)7月下旬に生産現場のナスで発生を認めている(+)。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多い(+)と予想されている。	
うどんこ病 (果菜類)	5月20日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、ナス、キュウリで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。	
	6月24日(5号)	発生量 並(やや少)	(1)6月中旬現在、トマトで発生を認めず(平年比少ない)(－)、キュウリ、ナスで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では少なく、太平洋側で平年並または少ない(+)と予想されている。	
	7月22日(6号)	発生量 多(多)	(1)7月中旬現在、発生量はキュウリで平年並、ナスで平年比多い(+)。 (2)向こう1か月の気温は平年比低く、降水量は平年並または多いと予想されている(+)。	
	8月26日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在の発生量は、キュウリで認めず(平年並)、ナスでは平年比やや少ない(－)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。	
べと病 (キュウリ)	5月20日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。	
(ウリ類)	6月24日(5号)	発生量 並(やや多)	(1)6月中旬現在、キュウリでの発生量は平年比やや多い(+)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では少なく、太平洋側で平年並または少ない(－)と予想されている。	
(キュウリ)	7月22日(6号)	発生量 やや多(やや多)	(1)7月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比低く、降水量は平年並または多いと予想されている(+)。	
(アブラナ科)	9月24日(8号)	発生量 やや少(並)	(1)9月中旬現在、キャベツ、カブで発生を認めていない(例年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(－)、降水量は平年並と予想されている。	
(アブラナ科)	10月21日(9号)	発生量 やや少(やや少)	(1)10月中旬現在の発生量は、キャベツで発生を認めず(平年並)、カブで平年比少ない(－)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(－)、降水量は日本海側ではほぼ平年並、太平洋側では平年並または多い(+)と予想されている。	
炭疽病 (ウリ類)	6月24日(5号)	発生量 やや少(やや少)	(1)6月中旬現在、キュウリで発生を認めていない。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では少なく、太平洋側で平年並または少ない(－)と予想されている。	
(キュウリ)	7月22日(6号)	発生量 やや多(やや多)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比低く、降水量は平年並または多いと予想されている(+)。	
(キュウリ)	8月26日(7号)	発生量 やや多	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多い(+)と予想されている。	
褐斑病 (キュウリ)	7月22日(6号)	発生量 やや多(並)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比多い(+)。 (2)向こう1か月の気温は平年比低く、降水量は平年並または多いと予想されている。	
	8月26日(7号)	発生量 やや多	(1)8月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多い(+)と予想されている。	
斑点細菌病 (キュウリ、 トウガラシ)	5月20日(4号)	発生量 並(少)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。	
	6月24日(5号)	発生量 並(少)	(1)6月中旬現在、キュウリで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では少なく、太平洋側で平年並または少ないと予想されている。	
	7月22日(6号)	発生量 やや多(やや多)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比低く、降水量は平年並または多い(+)と予想されている。	

白斑病 (アブラナ科野菜)	9月24日(8号)	発生量 やや少(やや少)	(1)9月中旬現在、カブで発生を認めていない(例年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(－)、降水量は平年並と予想されている。	
	10月21日(9号)	発生量 並(やや少)	(1)10月中旬現在の発生量は、カブでやや多い(+)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(－)、降水量は日本海側ではほぼ平年並、太平洋側では平年並または多い(+)と予想されている。	
菌核病 (キャベツ)	3月27日(2号)	発生量 やや多い(並)	(1)前年11月に発生を認めていない(平年並)。 (2)3月中旬の調査では、発生を認めていない(平年並)。 (3)調査株外で発生を認めている(+)。 (4)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量及び日照時間とも平年並と予想されている。	
	4月22日(3号)	発生量 やや多(やや多)	(1)4月中旬現在、調査ほ場では発生を認めていない(平年並)。 (2)農業改良普及センターからの情報により、京丹後市で発生を認めている(+)。 (3)向こう1か月の気温は平年並または低く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	9月24日(8号)	発生量 並(並)	(1)本年4月に発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(－)、降水量は平年並と予想されている。	
	10月21日(9号)	発生量 並(並)	(1)本年4月に発生を認めていない(平年並)。 (2)10月中旬現在、調査株で発生を認めていない(平年並)が、調査外では発生を認めている。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側ではほぼ平年並、太平洋側では平年並または多い(+)と予想されている。	
白さび病(アブラナ科野菜)	10月21日(9号)	発生量 並(やや少)	(1)10月中旬現在の発生量は、ダイコンでやや多く(+)、カブで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(－)、降水量は日本海側ではほぼ平年並、太平洋側では平年並または多い(+)と予想されている。	
黒腐病・黒斑細菌病 (アブラナ科野菜)	9月24日(8号)	発生量 やや少(やや少)	(1)9月中旬現在、キャベツで黒腐病の発生を認めず(例年並)、ダイコンでも黒斑細菌病の発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(－)、降水量は平年並と予想されている。	
黒腐病 (キャベツ)	10月21日(9号)	発生量 やや多(やや多)	(1)10月中旬現在の発生量は、平年比やや多い(+)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側ではほぼ平年並、太平洋側では平年並または多い(+)と予想されている。	
さび病(ネギ)	4月22日(3号)	発生量 並(並)	(1)4月中旬現在、小株及び大株で発生を認めていない(平年並、例年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並と予想されている。	
	5月20日(4号)	発生量 並(やや多)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。	
アブラムシ類 (アブラナ科野菜、野菜類)	3月27日(2号)	発生量 やや多(やや多)	(1)3月中旬のキャベツの調査では、発生は平年比やや多い。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量及び日照時間とも平年並と予想されている。	
	4月22日(3号)	発生量 やや少(少)	(1)4月中旬現在、発生量はトマト(施設)では発生を認めず(平年並)、キャベツでは平年比やや少なく、ネギでは平年並、ホウレンソウでは平年比やや多い。 (2)4月第4半旬現在、黄色水盤への誘殺数は平年比少ない(－)。 (3)向こう1か月の気温は平年並または低く(－)、降水量は平年並と予想されている。	
アブラムシ類とモザイク病	5月20日(4号)	発生量 やや多(やや多)	(1)5月中旬現在、アブラムシ類の発生量はキュウリ及びネギで平年比やや多く(+)、ナス及びキャベツで平年並。 (2)5月第3半旬現在、黄色水盤への誘殺数は平年比少ない(－)。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	6月24日(5号)	発生量 やや少(少)	(1)6月中旬現在、アブラムシ類の発生は、トマトでは認めず(平年並)、キュウリでも認めず(平年比やや少ない) (－)、ナスでは平年並。 (2)6月中旬現在、キュウリでのモザイク病の発生は認めていない(平年並)。 (3)6月第3半旬現在、アブラムシ類の黄色水盤での誘殺数は平年比やや少ない(－)。 (4)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では少なく、太平洋側で平年並または少ない(+)と予想されている。	
アブラムシ類 (野菜全般)	8月26日(7号)	発生量 やや多(並)	(1)8月中旬現在、キュウリでは発生を認めておらず(平年並)、ナスでは平年並。 (2)8月第4半旬現在、黄色水盤への飛来数は平年比多い(+)。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多い(－)と予想されている。	

ハダニ類 (チャノホコリダニを含む) (果菜類) (野菜全般)	5月20日(4号)	発生量 やや多(並)	(1)5月中旬現在、キュウリで発生を認めず(平年並)、ナスで平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
	6月24日(5号)	発生量 多(やや多)	(1)6月中旬現在、キュウリでは発生を認めず(平年比やや少)(-)、ナスでは平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側では少なく、太平洋側で平年並または少ない(+)と予想されている。
	7月22日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生量はキュウリ、ナスで平年並 (2)向こう1か月の気温は平年比低く、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。
	8月26日(7号)	発生量 やや多(並)	(1)8月中旬現在の発生量は、キュウリで平年比多く(+)、ナスで平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多い(-)と予想されている。
アザミウマ類 (果菜類)	5月20日(4号)	発生量 やや多(並)	(1)5月中旬現在、発生量はキュウリで平年比多く(+)、ナスで平年並 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
	6月24日(5号)	発生量 並(やや多)	(1)6月中旬現在、トマトの白ぶくれ果率は例年比やや高く(+)、アザミウマ類の発生量はキュウリで平年比やや少なく(-)、ナスで平年比少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側では少なく、太平洋側で平年並または少ない(+)と予想されている。
	7月22日(6号)	発生量 やや少(やや少)	(1)7月中旬現在、発生量はキュウリでは平年比少なく(-)、ナスで平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年比低く、降水量は平年並または多いと予想されている。
	8月26日(7号)	発生量 並(やや少)	(1)8月中旬現在の発生量は、キュウリでは認めず(平年並)、ナスで平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多い(-)と予想されている。
ハモグリバエ類(果菜類) (果菜類) (果菜類等) (野菜類全般)	6月24日(5号)	発生量 やや少(並)	(1)6月中旬現在、発生量はトマトで平年並、キュウリで認めず(平年比やや少ない)、ナスで平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では少なく、太平洋側で平年並または少ないと予想されている。
	7月22日(6号)	発生量 やや少(並)	(1)7月中旬現在、発生量はキュウリで認めず(平年比やや少)(-)、ナスで平年並 (2)向こう1か月の気温は平年比低く、降水量は平年並または多いと予想されている。
	8月26日(7号)	発生量 やや多(多)	(1)8月中旬現在の発生量は、キュウリで平年並、ナスで平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。
	9月24日(8号)	発生量 並(並)	(1)9月中旬現在の発生量は、ナスで平年並、キュウリおよびカブで認めていない(キュウリ:平年比少ない(-)、カブ:例年並) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
コナガ (アブラナ科野菜)	3月27日(2号)	発生量 並(並)	(1)3月中旬のキャベツの調査では、発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量及び日照時間とも平年並と予想されている。
	4月22日(3号)	発生量 並(やや少)	(1)4月中旬現在、キャベツでの発生量は平年並 (2)フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市で例年比やや少なく、亀岡市で平年比少なく、京丹後市で平年比やや少ない(-) (3)予察灯60Wへの誘殺数は京田辺市及び亀岡市で平年並、京丹後市で平年比やや多い(+) (4)向こう1か月の気温は平年並または低く(-)、降水量は平年並と予想されている。
	5月20日(4号)	発生量 やや少	(1)5月中旬現在、キャベツで発生を認めていない(平年比少ない(-)) (2)フェロモントラップへの誘殺数は、京田辺市で例年並、亀岡市で平年比少なく(-)、京丹後市で平年並 (3)予察灯60Wへの誘殺数は、京田辺市でやや多く(+)、亀岡市で平年並、京丹後市で平年比やや少ない(-) (4)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。
	8月26日(7号)	発生量 やや少(少)	(1)8月第3半旬現在、予察灯(60W)への誘殺数は京田辺市で平年比少なく(-)、亀岡市で平年並、京丹後市で平年比やや少ない(-) (2)8月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は、京田辺市で誘殺を認めず(例年並)、亀岡市で平年比やや少なく(-)、京丹後市で平年比やや多い(+) (3)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。
	9月24日(8号)	発生量 並(並)	(1)9月中旬現在の発生量は、キャベツで例年並、ダイコンで発生を認めず(平年並)、カブで例年比多い(+) (2)9月第3半旬現在、予察灯(60W)への誘殺数は京田辺市、亀岡市および京丹後市で平年並 (3)9月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市で誘殺を認めず(例年並)、亀岡市で平年比やや少なく(-)、京丹後市で誘殺を認めていない(平年並) (4)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。

	10月21日(9号)	発生量 並(並)	(1)10月中旬現在の発生量は、キャベツで平年並、ダイコンおよびカブで発生を認めていない(平年並)。 (2)10月第2半旬現在の予察灯(60W)への誘殺数は、京田辺市で誘殺を認めず(平年並)、亀岡市及び京丹後市では平年並。 (3)10月第2半旬現在のフェロモントラップへの誘殺数は、京田辺市で誘殺を認めず(例年並)、亀岡市および京丹後市で平年並。 (4)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側ではほぼ平年並、太平洋側では平年並または多い(一)と予想されている。
ハスモンヨトウ (野菜全般)	7月22日(6号)	発生量 多(多)	(1)7月第2半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市と亀岡市で平年比多く、京丹後市で平年比やや多い(+) (2)7月中旬現在、黒大豆の巡回調査で白変葉を認めている(+) (3)向こう1か月の気温は平年比低く、降水量は平年並または多い(一)と予想されている。
	8月26日(7号)	発生量 やや多	(1)8月中旬現在、黒大豆での発生量は平年比多く(+)、アズキで平年並。 (2)8月中旬にカキで卵塊と白変葉を認めている(+) (3)病害虫調査協力員から、キャベツで発生を認めているとの情報提供があった(+) (4)8月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市および亀岡市で少なく(一)、京丹後市で平年並。 (5)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多い(一)と予想されている。
	9月24日(8号)	発生量 やや多(やや多)	(1)9月中旬現在、野菜での発生量はキュウリでは発生を認めず(平年並)、ナスで多く(+)、キャベツで例年並、ダイコンでは発生を認めていない(平年並)。 (2)9月中旬現在、豆類での発生量は黒大豆、アズキで平年比やや多い(+) (3)9月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は、京田辺市で平年比少なく(一)、亀岡市で平年並、京丹後市で平年比少ない(一)。 (4)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
タバコガ類[オオタバコガ、タバコガ]	9月24日(8号)	発生量 やや多	(1)9月中旬現在、アズキでのオオタバコガの発生は、平年比やや少ない(一)。 (2)9月第3半旬現在、オオタバコガのフェロモントラップへの誘殺数は、京田辺市で平年並、亀岡市で平年比やや多く(+)、京丹後市で平年比多い(+) (3)9月第3半旬現在、タバコガのフェロモントラップへの誘殺数は京田辺市で平年比やや少なく(一)、亀岡市で平年比やや多く(+)、京丹後市で平年並。 (4)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
ハイマダラノメイガ[ダイコンシンクイムシ] (アブラナ科野菜)	9月24日(8号)	発生量 やや多(多)	(1)9月中旬現在、ダイコンでの発生は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
シロオビノメイガ (ホウレンソウ)	8月26日(7号)	発生量 並	(1)8月第3半旬現在、予察灯(60W)への誘殺数は、京田辺市、亀岡市京丹後市いずれも誘殺を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。
	9月24日(8号)	発生量 やや多(やや多)	(1)9月第3半旬現在、予察灯(60W)への誘殺は京田辺市、亀岡市および京丹後市で認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
ネギアザミウマ (ネギ)	4月22日(3号)	発生量 並(並)	(1)4月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く(一)、降水量は平年並と予想されている。
	5月20日(4号)	発生量 多(やや多)	(1)5月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
ネギアザミウマ とえそ条斑病 (ネギ)	6月24日(5号)	発生量 やや多(やや多)	(1)6月中旬現在、ネギアザミウマの発生量は平年並。 (2)6月中旬現在、とえそ条斑病の発生量は例年並。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側では少なく、太平洋側で平年並または少ない(一)と予想されている。
ネギアザミウマ (ネギ)	7月22日(6号)	発生量 並(やや少)	(1)7月中旬現在の発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比低く、降水量は平年並または多いと予想されている。
	8月26日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在の発生量は、小株では平年並、大株でやや少ない(一)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多い(一)と予想されている。
	9月24日(8号)	発生量 並(並)	(1)9月中旬現在の発生量は、小株で平年並、大株で例年比少ない(一)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
	10月21日(9号)	発生量 並(並)	(1)10月中旬現在の発生量は、小株で平年並、大株で例年比少ない(一)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側ではほぼ平年並、太平洋側では平年並または多い(一)と予想されている。

ネギハモグリバエ(ネギ)	4月22日(3号)	発生量 やや少(並)	(1)4月中旬現在、発生を認めていない(平年比少ない)(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く(-)、降水量は平年並と予想されている。
	5月20日(4号)	発生量 やや少(やや少)	(1)5月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。
	6月24日(5号)	発生量 やや少(やや多)	(1)6月中旬現在の発生量は平年比少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では少なく、太平洋側で平年並または少ないと予想されている。
	7月22日(6号)	発生量 やや少(並)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比低く、降水量は平年並または多いと予想されている。
	8月26日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在の発生量は、小株で平年比やや少なく(-)、大株は例年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。
	9月24日(8号)	発生量 並(やや多)	(1)9月中旬現在、発生量は小株では平年比少なく、大株では例年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
	10月21日(9号)	発生量 やや少(やや少)	(1)10月中旬現在の発生量は、小株および大株で平年比(例年比)少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側ではほぼ平年並、太平洋側では平年並または多い(-)と予想されている。
シロイチモジトウ(ネギ)	7月22日(6号)	発生量 並(やや少)	(1)7月中旬現在、巡回調査では発生を認めていない(平年並)。 (2)府内各地のネギ栽培ほ場で発生を確認している(+) (3)7月第2半旬現在、京田辺市のフェロモントラップへの誘殺数は平年比 やや多い(+) (4)向こう1か月の気温は平年比低く、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。
	8月26日(7号)	発生量 やや多(並)	(1)8月中旬現在、発生は小株で平年比やや多く(+)、大株で株に被害を認めている。 (2)8月第3半旬現在、京田辺市のフェロモントラップへの誘殺数は平均値並。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。
	9月24日(8号)	発生量 やや多(やや多)	(1)9月中旬現在の発生量は、ネギの小株で平年比やや多く(+)、ネギの大株で発生を認めている。 (2)9月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市で平均並。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
	10月21日(9号)	発生量 やや多(やや多)	(1)10月中旬現在の発生量は、ネギの小株でやや多く(+)、大株で発生を認めている。 (2)10月第2半旬現在、京田辺市のフェロモントラップへの誘殺数は平均比多い(+) (3)カブおよびホウレンソウで発生を認めている(+) (4)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側ではほぼ平年並、太平洋側では平年並または多い(-)と予想されている。

病害虫発生予報内容の根拠とした今後1か月間の気象予想の概要

発行号	予報月	発行日	気象予報日	気温降水量日照時間
第1号	3月	2月27日	2月28日	平年並または高い平年比多い平年比少ない
第2号	4月	3月27日	3月21日	平年並または高い平年並または少ない平年並
第3号	5月	4月23日	4月18日	平年比高い平年比多い平年比少ない
第4号	6月	5月22日	5月16日	平年比高い平年並または多い平年並
第5号	7月	6月20日	6月13日	平年比低い平年並または少ない平年並または多い
第6号	8月	7月25日	7月18日	平年比低い平年並または多い平年並または少ない
第7号	9月	8月22日	8月15日	平年比高い平年並平年並
第8号	10月	9月27日	9月19日	平年比高い平年比多い平年比多い
第9号	11月	10月23日	10月17日	平年比高い平年比多い平年比少ない

・根拠欄に気象要因の記載がないのは、病害虫発生への気象の影響が少ない場合である。

3. 対象病害虫の発生状況

農作物名	作付面積	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
イネ	14402ha	葉いもち	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	8987ha	ブラスタムでは7月上旬～中旬に府内の広い地域で感染好適条件日を記録した。8月中旬の巡回調査では、山城地域で平年比やや多く、丹後で平年比多い発生となり、府全体ではやや多い発生となった。全体では平年比やや多い発生であった。	6月中旬から7月下旬にかけて曇りや雨の日が多く、中干しができないほ場が多く見られた。また、梅雨明け以降は晴れの日が長期間続いたことにより、湛水状態のほ場が多く、イネが過繁茂かつ弱勢となって発生を助長したと思われる。	長期持続型施用剤による予防防除を行っている地域が多い。
		穂いもち	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや多	2405ha	8月に南丹、中丹及び丹後地域で平年比やや多い発生となり、9月には山城地域で平年比やや少ない発生となった。全体的には平年並の発生となった。	梅雨明け以降は晴れの日が長期間続いたことにより、湛水状態のほ場が多く、早生品種では過繁茂かつ弱勢となって発生を助長したと思われる。	出穂期前後の防除を行っている。
		紋枯病	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや少	4956ha	8月から府内全域で発生を認め、山城及び丹後地域では平年比やや多く、南丹及び中丹地域では平年並の発生となった。府内全体では平年比やや多い発生となった。	梅雨明け以降は晴れの日が長期間続いたことにより、湛水状態のほ場が多く、かつ高温が続いたため、発生を助長したと思われる。	育苗施用剤により葉いもちと同時防除を行っている。
		白葉枯病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	0ha	発生を認めなかった。		実施せず。
		稲こじ病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	0ha	発生を認めなかった。		実施せず。
		イネミズゾウムシ	平年：並 前年：やや早	平年：並 前年：並	9028ha	予察灯への初飛来は京田辺(5月4日)で平年比早く、亀岡(5月4日)で平年並、京丹後(5月2日)では平年比早かった。 予察灯への誘殺数(4月第1半旬～5月第2半旬)は、京田辺及び亀岡で平年比多く、京丹後で平年比やや多かった。 本田での発生は府内全体で平年並の発生であったが、発生面積は平年比やや多かった。	前年の新成虫の予察灯への誘殺数は、京田辺及び亀岡で平年比多く、京丹後で平年比やや多かった。	育苗施用剤による防除を行っている地域が多い。
		ツマグロヨコバイ	平年：早 前年：並	平年：並 前年：多	5985ha	越冬世代幼虫の発生時期は平年比早く、虫数は平年並であった。本田では、6月に山城及び丹後地域で発生を認め、8月には府内全域で発生を認めたが、全体的に平年並の発生で推移した。	越冬密度は平年並であった。	田植え時及び出穂期前後に他病害虫との同時防除を行っている。
		ヒメビウウカ	平年：やや早 前年：やや遅	平年：少 前年：並	7110ha	6月から発生を認め、9月まで平年比少ない発生に推移した。	越冬密度は平年比少なかった。 4月の平均気温は平年比低く、5月の平均気温は平年比高く推移した。	田植え時及び出穂期前後に他病害虫との同時防除を行っている。
		セジロウソウ	平年：前年：やや遅	平年：多 前年：多	10557ha	予察灯への初飛来は、京田辺(8月2日)で平年比遅く、亀岡(7月2日)で平年比やや早く、亀岡(6月11日)で平年比早かった。 本田では7月から府内全域で発生を認め、全体的に平年比多い発生で推移した。	飛来量は平年並であった。 7月の平均気温は平年比低かったが、6及び8月の平均気温は平年比高く推移した。	田植え時及び出穂期前後に他病害虫との同時防除を行っている。
		トビイロウンカ	平年：早 前年：並	平年：多 前年：並	7201ha	予察灯への初飛来は京田辺で8月4日、亀岡で8月6日、京丹後で8月5日であった。 本田での発生は8月に丹後及び山城のほ場で確認し、8月に緊急に行なった調査で府内全域で成幼虫の発生を認めたため、8月26日付で病害虫発生予察注意報第3号を発表した。8月下旬には京都府南部の一部ほ場(普通稲)で坪枯れ被害が発生し、なお被害が拡大する状況を確認したため、9月10日付で病害虫発生予察警報第1号を発表した。その後、晩生稲で坪枯れ被害は拡大した。	8月下旬までの予察灯への飛来数は平年比多かった。	田植え時及び出穂期前後に他病害虫との同時防除を行っている。
		ニカメイガ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	576ha	9月に丹後地域の一部で発生を確認した。	近年発生ほ場が増加傾向にあり、出穂後に農薬散布を行なわない飼料米では発生が目立つ。	常発地では本田防除を実施。
		イチモンジセセリ	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	2193ha	6月から中丹地域で発生を確認し、7月には平年比やや多い発生となった。		常発地では本田防除を実施。
麦	248ha	うどんこ病	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	62ha	4月の調査では、二条大麦で発生ほ増率66.7%、小麦では発生を認めなかった。 5月の調査で、小麦では発生を認めなかった。	1～3月の高温が二条大麦での発生を助長したと考えられる。	赤かび病と同時防除を実施している。
		赤かび病	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	0ha	4月の二条大麦の調査で発生を認めず、5月の二条大麦及び小麦の調査でも発生を認めなかった(平年並)。		薬剤散布は、二条大麦では約穀抽花期およびその1週間後の2回、小麦では開花期およびその1週間後の2回実施。

農作物名	作付面積	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
大豆(黒)	307ha	アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：やや少	0ha	7～9月の調査では、発生を認めなかった。 当所の黄色水盤での本年の誘殺数は、8月中旬に平年比多かったが、7、9月は平年並であった。	7月の多雨および、その後の高温で発生が抑制されたと考えられる。	播種時の殺虫剤浸漬処理及び定植時粒剤施用。 ほ場では、ハスモンヨトウ、吸蜜性カメムシ類との同時防除に対応。
		ハスモンヨトウ	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：多	269ha	9月中旬の調査では、幼虫寄生ほ場率30%で平年並、白変葉の発生はほ場率80%でやや多発した。全体的には平年比やや多い発生であった。これらの発生状況等により、9月24日付けで防除所ニュースを発表した。フェロモントラップでの誘殺数は、平年比ややや少なく推移した。	夏季の高温、9月の台風。	開花期以降の薬剤散布(3回)。
		吸蜜性カメムシ類	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：並	115ha	7、8月の調査では発生を認めず、9月中旬の調査では、南丹地域でやや多発(発生ほ場率：75%)した。全体的には平年比やや多い発生であった。	夏季の高温・少雨。	開花期以降の薬剤散布(3回)。 アブラムシ類、ハスモンヨトウとの同時防除に対応。
カンキツ	17ha	そうか病	平年：－ 前年：－	平年：多 前年：多	11ha	4～7月の調査では、発生を認めず、8、9月の調査で多発(発生ほ場率66.7%)した。 過去10年間、H27年に2ほ場で少発生を認めたのみである。	7月の多雨。	定期的な薬剤散布。
		黒点病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	6～9月の調査では、発生を認めなかった。 過去10年間、発生を認めていない。	例年発生しておらず、病原菌の密度が低い。	定期的な薬剤散布。
		かいよう病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	4～9月の調査では、発生を認めなかった。 過去10年間、発生を認めていない。	例年発生しておらず、病原菌の密度が低い。	定期的な薬剤散布。
		ミカンハダニ	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：並	17ha	6、8、9月の調査では並～やや少発し、7月にはやや多発(発生ほ場率：100%)した。 全体的には平年比やや多い発生となった。	7月中旬頃までにやや多発し、その後の多雨で発生が抑制されたと考えられる。	定期的な薬剤散布。
		アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：並	11ha	6、7、9月に発生(発生ほ場率33～67%)した。	8月は高温で発生が抑制されたと考えられる。	定期的な薬剤散布。
ナシ	71ha	黒斑病	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	71ha	丹後地域の「二十世紀」栽培ほ場で、7～9月にやや多～多発(発生ほ場率：60～100%)した。全体的には平年比やや多い発生であった。	7月下旬の多雨傾向で発生が多くなったと考えられる。	定期的な薬剤散布。
		黒星病	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：並	71ha	丹後、山城地域の「赤ナシ系統」栽培ほ場では、5～9月にやや多～多発(発生ほ場率：20～100%)を認めた。 全体的には平年比やや多い発生となった。	7月の多雨傾向で発生が多くなったと考えられる。	定期的な薬剤散布。
		ハマキムシ類	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：やや少	0ha	5～8月の巡回調査では、発生を認めなかった。	薬剤防除が行き届いている。	定期的な薬剤散布。
		ハダニ類	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	39ha	7月は中発生(発生ほ場率：55%)であったが、8、9月は少発(発生ほ場率：27～46%)となった。 全体的には平年比やや少ない発生であった。	7月初旬に発生が多くなったが、8、9月以降は薬剤防除で発生が抑えられたと考えられる。	薬剤のローテーション防除。
		カメムシ類	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：並	6ha	チャバネアオカメムシの越冬量は京都市及び南丹地域は平年並、丹後地域は平年比やや多かった。 果樹園でのカメムシ被害見取り調査では、6月に発生を認めた(平年比多)。 チャバネアオカメムシの予察灯(BL)への誘殺数は、5月中旬以降に京田辺市、亀岡市で京丹後市で平年比多くなった。ツヤアオカメムシの誘殺数は京田辺市、亀岡市及び京丹後市で5月中旬以降に平年比多くなった。これら誘殺状況から、5月29日付けで防除所ニュース、6月24日付で注意報を発表した。 全体的には平年比やや多い発生であった。	カメムシの越冬量が多かった事が、5、6月の多発要因と考えられる。 8月下旬以降予察灯(BL)への飛来が増加したのは、スギ、ヒノキの穂果が餌として不適となり、餌を求めて飛翔したため、また夜温が平年より高く推移したためと考えられる。 青ナシでは、通常袋掛けが行われるため果実被害は抑制されるが、赤ナシでは袋掛けを行わない園が多く被害が発生しやすい。	薬剤散布。袋掛け。
		アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：やや多	13ha	5月に少発し、6月以降は発生を認めなかった。発生ほ場率は5月：27%であった。	5月に初期防除が遅れた園で少発となったが、7月以降は夏季の高温により発生が抑制されたと考えられる。	薬剤散布。
		シンクイムシ類	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	6～8月の巡回調査では、発生を認めなかった(平年並)。	強化袋を用いた袋掛けにより、果実への食害が抑えられている。	薬剤散布。袋掛け。
ブドウ	61ha	べと病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：やや少	20ha	7月以降発生を認めたが(平年比やや少)、8、9月は平年比少発であった。 発生ほ場率は7月：17%、8、9月：33%であった。 全体的に平年比少ない発生であった。	8月以降高温、少雨傾向で発生が抑制された。	薬剤散布。雨除け。
		灰色かび病	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：並	0ha	5、6月の巡回調査で発生を認めなかった。	薬剤防除が行き届いている。	薬剤散布。雨除け。
カキ	76ha	炭そ病	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：並	51ha	5～7月の巡回調査では、発生を認めず(平年並)、8月に新梢で発生を認め(平年並)、9、10月に平年比やや多い発生を認めた。 全体的には平年比やや多い発生となった。	薬剤の散布時期にずれが生じている可能性がある。	薬剤散布。
		カキノヘタムシガ	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	25ha	8、9月の巡回調査では、発生を認めなかった(平年並)が、10月の調査では多発生を認めた(平年比多)。全体的には平年比やや多い発生となった。	薬剤の散布時期にずれが生じている可能性がある。	薬剤散布。
		カイガラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	25ha	9月に発生を認め、発生ほ場率33%であった。全体的には平年並の発生となった。	薬剤の散布時期にずれが生じている可能性がある。	薬剤散布。
		カメムシ類	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	0ha	6～10月の巡回調査では発生を認めなかった(平年並)。 越冬量調査、予察灯の誘殺数の状況は、ナシのカメムシ類の項参照。	薬剤防除が行き届いている。	薬剤散布。
		チャノキイロアザミウマ	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：並	76ha	8月にやや多発(発生ほ場率：100%)であったが、9月にやや少発(発生ほ場率：33%)、10月に甚発生(発生ほ場率100%)。全体的には平年比やや多い発生であった。	本虫の発生消長と防除薬剤の選択、散布時期がずれている可能性がある。	薬剤散布。
		カキクダアザミウマ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	5～10月の巡回調査では発生を認めなかった(平年並)。	薬剤防除が行き届いている。	薬剤散布。

農作物名	作付面積	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
チ ャ	1588ha	炭そ病	平年：－ 前年：－	平年：多 前年：やや少	923ha	4月～6月の巡回調査では平年並～平年比やや少ない発生で推移した。7月、8月、10月の巡回調査で平年比やや多い発生を認めたが、9月の巡回調査では平年並の発生であった。	薬剤散布時期にずれが生じている可能性がある。	薬剤散布。
		もち病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	74ha	4月、5月及び7月、8月の巡回調査では発生を認めなかった(平年並)。6月、10月の巡回調査で平年比やや多く、9月には京都府北部の一部で平年比多い発生であった。	薬剤散布時期にずれが生じている可能性がある。	薬剤散布。
		灰色かび病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	4月～10月の巡回調査では発生を認めなかった(平年並)。	薬剤防除が行き届いている。	薬剤散布。
		チャノコカクモ	平年：やや遅 前年：並	平年：並 前年：並	381ha	4月の巡回調査では発生を認めず(平年並)、5月は平年比やや多い発生であった。6月～8月、10月の巡回調査では平年並の発生を認め、9月は京都府北部の一部で平年比多い発生であった。	薬剤散布時期にずれが生じている可能性がある。	薬剤散布。
		チャノソノガ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	649ha	4月～6月の巡回調査では、平年比やや多い発生で推移した。7月、8月の巡回調査では、京都府北部の一部で平年比多い～やや多い発生を認めた。9月、10月の巡回調査では、平年並の発生であった。	薬剤散布時期にずれが生じている可能性がある。	薬剤散布。
		カンザワハダニ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	1129ha	2月～6月の巡回調査では、平年並～平年比少ない発生で推移した。7月、9月、10月の巡回調査では、平年比やや多く、8月では平年比やや	薬剤防除が行き届いている。	薬剤散布。
		チャノミドリヒメコバイ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや多	1316ha	5月の巡回調査から発生を確認し、6月、8月の巡回調査では平年比やや多い発生を認めた。7月の巡回調査では平年比やや少ない発生を確認し、9月、10月では平年比少ない発生であった。	ネオニコチノイド系、有機リン系の薬剤に対する感受性が低下している地域がある。	薬剤散布。
		チャノキイロアザミウマ	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	1520ha	4月の巡回調査では例年比やや少なく、5月、10月は平年並、6月は平年比やや多い発生を認めた。7月～9月の巡回調査結果では、平年比やや少ない～少ない発生で推移した。	薬剤散布時期にずれが生じている可能性がある。	薬剤散布。
		クワシロカイガラムシ	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	219ha	4月～10月の巡回調査で平年比少ない～やや少ない発生で推移した。	薬剤防除が行き届いている。	薬剤散布。
冬春 トマト	26ha	疫病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	発生を認めなかった(平年並)。		発生を認めた時に薬剤散布。
		灰色かび病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	発生を認めなかった(平年並)。		発生を認めた時に薬剤散布。
		葉かび病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	5ha	6月中旬に発生を認めた(発生ほ場率20%)。	梅雨時期はハウスを閉めきり適温多湿の発病に適した条件となりやすく、例年どおり発病したと考えられる。	発生を認めた時に薬剤散布。 抵抗性品種の導入。
		うどんこ病	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：少	0ha	発生を認めなかった。	5月から6月中旬の高温少雨で発病が抑制されたと考えられる。	発生を認めた時に薬剤散布。
		アザミウマ類	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：－	13ha	6月に寄生花(発生ほ場率50%)、白ぶくれ果(発生ほ場率：40%)の発生を認め、全体を通しては例年比やや多かった。	5、6月の晴天による高温で発生が増加したと考えられる。	定植時の粒剤施用。 発生を認めた時に薬剤散布。 防虫ネット(ハウス)。
		コナジラミ類	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	0ha	6月に発生を認めた(発生ほ場率20%)。	5、6月の晴天による高温で発生が増加したと考えられる。	定植時の粒剤施用。 発生を認めた時に薬剤散布。 防虫ネット(ハウス)。
		アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	0ha	発生を認めなかった(平年並)。		定植時の粒剤施用。 発生を認めた時に薬剤散布。 防虫ネット(ハウス)。
		ハスモンヨトウ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：－	0ha	ほ場の見取り調査では、発生を認めなかった。当所のフェロモントラップでの4～6月の誘殺数は、平年並からやや多く推移した。		発生を認めた時に薬剤散布。 防虫ネット(ハウス)。
ナ ス (夏秋)	179ha	うどんこ病	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：少	153ha	5、6月は発生を認めなかったが、7～9月に発生を認めた(発生ほ場率：7月28.6%、8月28.6%、9月71.4%、10月85.7%)。本年の発生量は、平年比やや少～多で推移した。	7月は低温により多発したが、8、9月は高温で発病が抑制されたと考えられる。	薬剤に対する感受性低下を防ぐため、ローテーション防除。
		灰色かび病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	発生を認めなかった(平年並)。		
		アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	179ha	9月までは平年並に推移したが、10月にやや多発した(発生ほ場率：5月100%、6月57.1%、7月0.0%、8月28.6%、9月14.3%、10月42.9%)。		定植時の粒剤施用。 薬剤散布。 ソルゴー障壁の導入。
		ハダニ類	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	129ha	平年比やや多く推移した(発生ほ場率：5月50.0%、6月42.9%、7月57.1%、8月42.9%、9月57.1%、10月57.1%)。種類はカンザワハダニが中心で、ほ場によってはナミハダニが混発した。	5、6、8、9月の高温少雨で発生が増加したと考えられる。	効果の高い薬剤による初期防除。 感受性低下を防ぐため、ローテーション防除。
		アザミウマ類	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：少	179ha	平年比やや少なく推移した(発生ほ場率：5月66.7%、6月100.0%、7月42.9%、8月14.3%、9月100.0%、10月57.1%)。	適正な防除により発生が抑制されたと考えられる。	定植時における粒剤施用。 薬剤散布。
		ハスモンヨトウ	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	26ha	9月に発生を認めた(発生ほ場率：9月14.3%、10月0.0%)。当所のフェロモントラップの誘殺数は、平年比少なく推移した。	8、9月の高温少雨で発生が増加したと考えられる。	効果の高い薬剤による初期防除。
		コナジラミ類	平年：－ 前年：－	平年：多 前年：多	179ha	5月は発生を認めず、6月以降多発した(発生ほ場率：5月0%、6月28.6%、7月42.9%、8月57.1%、9月71.4%、10月100%)。	5、6、8、9月の高温少雨で発生が増加したと考えられる。	効果の高い薬剤による初期防除。

農作物名	作付面積	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
キュウリ (夏秋)	119ha	べと病	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	71ha	5月は発生を認めず、6、8月にやや多発した(発生ほ場率：5月0%、6月33.3%、7月60.0%、8月50.0%)。	7月の多雨により発病が助長されたと考えられる。	発生初期からの薬剤散布。
		炭そ病	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	0ha	発生を認めなかった(平年並)	7月の多雨により発病が助長されたと考えられる。	発生初期からの薬剤散布。
		うどんこ病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	48ha	7月に発生を認めた(発生ほ場率：5・6・8月0%、7月40.0%)。		発生初期からの薬剤散布。 抵抗性品種の利用
		褐斑病	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	59ha	7、8月にやや多発した(発生ほ場率：7月20.0%、8月50.0%)。	7月の多雨により発病が助長されたと考えられる。	発生初期からの薬剤散布。
		斑点細菌病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：少	0ha	発生を認めなかった(平年並)		
		モザイク病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	24ha	7月に発生を認めた(平年並、発生ほ場率20.0%)。	アブラムシの発生は平年並で、本病も平年並となったと考えられる。	定植時の粒剤施用。 一部ほ場では弱毒ウイルス接種苗を利用。
		灰色かび病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	発生を認めなかった(平年並)。		定植時の粒剤施用。 一部ほ場では弱毒ウイルス接種苗を利用。
		アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：並	119ha	5、7月にやや多発し、全体的には平年比やや多かった(発生ほ場率：5月100.0%、6月0.0%、7月40.0%、8月0.0%)。	4月下旬から6月中旬の高温少雨で発生が増加したと考えられる。	発生初期からの薬剤散布。
		ハダニ類	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	60ha	8月に多発し、全体的はやや多発(発生ほ場率：7月40.0%、8月50.0%)。	8月の高温少雨により発生が増加したと考えられる。	定植時の粒剤施用。 他の害虫との同時防除。
		アザミウマ類	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：少	119ha	5月に多発し甚発ほ場も認めた。6月以降は少～並発した(発生ほ場率：5・6月100.0%、7月20.0%、8月：0%)。	4月下旬～5月中旬の高温少雨により発生が増加したと考えられる。	定植時の粒剤施用。 他の害虫との同時防除。
		コナジラミ類	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	60ha	5月に多発、8月にやや多発した(発生ほ場率：5月33.3%、6月0.0%、7月0.0%、8月：50.0%)。	4月下旬～5月中旬の高温少雨により発生が増加したと考えられる。	定植時の粒剤施用 他の害虫との同時防除
ダイコン	239ha	アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	159ha	やや多い発生であった(発生ほ場率：9月20.0%、10月33.3%、11月66.7%)。	秋季の高温傾向で発生が増加したと考えられる。	は種時の粒剤使用。 発生初期の薬剤防除。
		ハスモンヨトウ	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	80ha	9月、10月は平年並であったが、11月にやや多発した(発生ほ場率：9月0.0%、10月16.7%、11月33.3%)。当所のフェロモントラップでの誘殺数は平年比少なく推移した。	11月の高温で発生が増加したと考えられる。	発生初期の薬剤防除。
		コナガ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	80ha	平年並の発生であった(発生ほ場率：9月0.0%、10月0.0%、11月16.7%)。当所のフェロモントラップでの誘殺数は平年比やや少なく推移した。		発生初期の薬剤防除。
		ハイマダラノメイガ	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：少	0ha	平年比やや少ない発生であった(発生ほ場率：9月20.0%、10月0.0%、11月0.0%)。		発生初期の薬剤防除。
キャベツ (春)	140ha	菌核病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	0ha	4、5月の調査では、発生を認めなかった(平年並)。		発生初期の薬剤防除。
		黒腐病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	4、5月の調査では、発生を認めなかった(平年並)。		発生初期の薬剤防除。
		モンシロチョウ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：少	56ha	5月に発生を認めた(発生ほ場率40.0%、平年並)。		他害虫との同時防除。
		アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	140ha	4月はやや少なく、5月は平年並で中発ほ場が認められた(発生ほ場率：4月100.0%、5月100.0%)。	5月上中旬の高温少雨で発生が増加したと考えられる。	定植時の粒剤施用。 他害虫との同時防除。
		コナガ	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：並	28ha	4月に発生を認めた(発生ほ場率：4月20.0%、5月0.0%)。当所のフェロモントラップでの春季の誘殺数は、平年少なく推移した。	暖冬で冬季の発生が多かったと考えられる。	定植時の粒剤施用。 他害虫との同時防除。
		ヨトウガ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	28ha	5月にやや多い発生で、多発ほ場を認めた(発生ほ場率：4月0.0%、5月20.0%)	4月下旬～5月中旬の少雨により発生が増加したと考えられる。	発生初期の薬剤散布。 他の害虫との同時防除。
					0ha	発生を認めなかった(平年並)。		発生初期の薬剤防除。
キャベツ (冬)	118ha	菌核病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	発生を認めなかった(平年並)。		発生初期の薬剤防除。
		黒腐病	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	59ha	9月は発生を認めなかったが、10月、11月に平年比やや多発した(発生ほ場率：9月0.0%、10月50.0%、11月28.6%)。	10月の多雨で発生が増加したと考えられる。	発生初期の薬剤防除。
		モンシロチョウ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	79ha	平年並の発生で推移した(発生ほ場率：9月0.0%、10月66.6%、11月14.3%)。		他害虫との同時防除。
		アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや多	79ha	平年並の発生で推移した(発生ほ場率：9月66.7%、10月16.7%、11月57.1%)。		定植時の粒剤施用。 他害虫との同時防除。
		コナガ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	20ha	平年並の発生で推移した(発生ほ場率：9月16.7%、10月16.7%、11月0.0%)。当所のフェロモントラップでの誘殺数は平年比やや少なく推移した。		定植時の粒剤施用。 他害虫との同時防除。
		ヨトウガ	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：並	0ha	10月に平年比やや多く、11月は平年比多発した(発生ほ場率：9月0.0%、10月50.0%、11月14.3%)。	11月の高温で発生が増加したと考えられる。	発生初期の薬剤散布。 他の害虫との同時防除。
		ハスモンヨトウ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	20ha	平年並の発生で推移した(発生ほ場率：9月16.7%、10月0.0%、11月0.0%)。当所のフェロモントラップでの誘殺数は平年比少なく推移した。		発生初期の薬剤散布。 他の害虫との同時防除。

農作物名	作付面積	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
ネギ（夏）	62ha	さび病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	4～9月の調査で、小株、大株とも発生を認めなかった(平年並)。 ※ 小株：葉長40cm未満のネギ 大株：葉長40cm以上のネギ		発生初期の薬剤防除。
		黒斑病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	4～9月の調査で、小株、大株とも発生を認めなかった(平年並)。		発生初期の薬剤防除。
		べと病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	4～9月の大株の調査で発生を認めなかった(平年並)。		発生初期の薬剤防除。
		えそ条斑病	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：－	62ha	小株の調査では、6、7月に発生を認めた(発生ほ場率：6月100.0%、7月50.0%)。 大株の調査では、6～8月に発生を認めた(発生ほ場率：6月100.0%、7月83.3%、8月25.0%)。	本病を媒介するネギアザミウマの発生がやや少なかった。	媒介虫であるネギアザミウマの防除。 春期の伝染源と考えられるタマネギでのネギアザミウマの防除の徹底。
		アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	10ha	小株の9月調査で発生を認めた(発生ほ場率：16.7%)。		発生初期の薬剤防除。
		シロイチモジヨトウ	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや少	62ha	小株の調査では8、9月に平年比やや多い発生であった(発生ほ場率：8月37.5%、9月50.0%)。大株の調査では7～9月に発生を認めた(発生ほ場率：7月33.3%、8月37.5%、9月83.3%)。 当所フェロモントラップへの誘殺数は9月以降多くなっている。	近年の多発傾向が続いており、感受性の低い薬剤の影響、8月以降の高温少雨が発生を助長していると考えられる。	発生初期の薬剤防除。 一部地域では、地区単位で交信かく乱剤、黄色LED光源による防除が行われている。
		ネギハモグリバエ	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	41ha	小株の調査で、やや少ない発生であった(発生ほ場率：4月0.0%、5月60.0%、6月0.0%、7月16.7%、8月50.0%、9月66.7%)。	効果の高い薬剤が使用されていると考えられる。	発生初期の薬剤防除。
		ネギアザミウマ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	62ha	小株の調査で、5月はやや多発したが、以降は平年並の発生で推移した(発生ほ場率：4月66.7%、5～8月100.0%、9月83.3%)。	梅雨時期の多雨で6月以降の発生が抑制されたと考えられる。	発生初期の薬剤防除(産雄性系統が優先している場合は防除効果の高い薬剤を選択)。
ネギ(秋冬)	187ha	さび病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	10～11月の調査では、小株、大株とも発生を認めなかった(平年並)。 ※ 小株：葉長40cm未満 大株：葉長40cm以上		発生初期の薬剤防除。
		黒斑病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	10～11月の調査では、小株、大株とも発生を認めなかった(平年並)。		発生初期の薬剤防除。
		べと病	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	0ha	10～11月の調査(大株)では、発生を認めなかった。		発生初期の薬剤防除。
		えそ条斑病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	10～11月の調査では、小株、大株とも発生を認めなかった(平年並)。	南丹市以南の地域では本病を媒介するネギアザミウマの産雄性系統が優占し、産雌性系統に比べ殺虫剤感受性が低い傾向が強く、このことが本病の発生を助長する一要因と推察された。 本病の第一感染源であるタマネギに隣接するほ場ほど発生が早く、また発生量も多くなる傾向が認められた。	媒介虫であるネギアザミウマの防除(産雄性系統が優先している場合は防除効果の高い薬剤を選択)。
		アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	0ha	10～11月の調査(小株)では、発生を認めなかった(平年並)。		発生初期の薬剤防除。
		シロイチモジヨトウ	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	160ha	10～11月の調査(小株)では、平年比やや多い発生であった(発生ほ場率：10月20.0%、11月33.3%)。 10～11月の(大株)では、発生ほ場率：10月85.7%、11月0.0%であった。	多発傾向が続いている。 登録農薬数剤については、薬剤感受性の低いものがあり、使える薬剤に限りがある。	発生初期の薬剤防除。 一部地域では、地区単位で交信かく乱剤を使用し、本種の発生を抑えている。
		ネギハモグリバエ	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：やや少	187ha	10～11月の調査(小株)では、平年比少ない発生であった(発生ほ場率：10月20.0%、11月33.3%)。 10～11月の(大株)では、平年比少ない発生であった(発生ほ場率：10月71.4%、11月60.0%)。		発生初期の薬剤防除。
		ネギアザミウマ	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	187ha	10～11月の調査(小株)では、平年比やや少ない発生であった(発生ほ場率：10月80.0%、11月66.7%)。 10～11月の(大株)では、平年比少ない発生であった(発生ほ場率：10月71.4%、11月60.0%)。	南丹市以南の地域では産雄性系統が優占し、産雌性系統に比べ殺虫剤感受性が低い傾向が強く、本種による被害が多い一要因と推察された。	発生初期の薬剤防除(産雄性系統が優先している場合は防除効果の高い薬剤を選択)。
ホウレンソウ	332ha	アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	221ha	4月の調査で、平年比多かった(発生ほ場率：66.7%)。10～11月の調査で、平年比やや多かった(発生ほ場率：10月33.3%、11月50.0%)。	3月及び11月の高温により増加したと考えられる。	他害虫との同時防除
		ヨトウガ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	4月及び10～11月の調査で発生を認めなかった(平年並)。		他害虫との同時防除

Ⅱ 重要病害虫侵入警戒調査等の実施

(Ⅰ) ミバエ類等侵入警戒調査

ミバエ類等の侵入の危険性が高い地域において、早期発見体制の整備及び侵入警戒調査を実施する事業で、本府では、チチュウカイミバエ及び火傷病を対象に実施。

1 事業実施地区の概況

調 査 対 象 病 害 虫	市 町 村	主要規制植物の栽培状況							
		カンキツ	ナ シ	ブドウ	カ キ	ナ ス	トマト	キュウリ	計
チチュウカイ ミバエ	亀岡市	—	0	2	9	5	9	4	29
	宮津市	25	1	4	6	6	7	6	55
	京丹後市	—	68	33	43	15	23	14	196
火 傷 病	京丹後市		68						68

2 実施状況及び結果

項 目	調 査 概 要	調 査 結 果
チチュウカイ ミバエ	亀岡市余部町・宮津市石浦・京丹後市弥栄町に誘引剤トラップを設置し、4月～10月（日最高気温の月別平均値が15℃以上の月）に調査を行なった。調査間隔は、日最高気温の月別平均値が15℃以上20℃未満の4月は15日頃、20℃以上の5月～10月は各月15日・30日頃の2回調査を実施した。	侵入を認めず。
火傷病	京丹後市網野町・久美浜町の巡回調査ナシ園4か所で、5月～10月の各月1回の見取り調査を実施した。	侵入を認めず。

(Ⅱ) プラムポックスウイルス発生状況調査

平成21年4月、東京都青梅市のウメにおいて、国内で初めてプラムポックスウイルス(PPV)によるウメ輪紋病の発生が確認された。

本ウイルスはアブラムシ類が媒介し、サクラ属のウメ、モモ、スモモ等の果樹が感染、発病する。発病樹は葉や花卉、外果皮に斑紋が現れるとともに、早期落果により収穫量が減少する。

このため、本病の全国的な発生状況を把握するため、全国調査が実施された。

平成21年以降も毎年、全国的な調査が行われており、本府においてもウメ及びモモの主要な生産園地を中心に発生状況調査を実施した。

1 全国調査

- 1) 調査対象植物 ウメ、モモ
- 2) 調査日時・地域 令和2年5月20日：城陽市
令和2年5月21日：綾部市、福知山市、舞鶴市
令和2年5月22日：亀岡市、京丹後市

- 3) 調査及び検定体制 調査実施機関：京都府、検定実施機関：神戸植物防疫所

- 4) 調査方法 ①調査園及び周辺園を見取り調査。
②調査園から5樹を選定し、1樹当たり5葉を採取して、検定実施機関で検定。
- 5) 調査結果 ①発病を認めなかった。
②LAMP法による検定で、全て陰性であった。

種 類	調査地域数	調査園数	検定試料数	LAMP陽性試料数
ウ メ	6	6	150	0
モ モ	4	4	100	0
合 計	10	10	250	0

(Ⅲ) キウイフルーツかいよう病発生状況調査

平成26年5月に、国内の複数のキウイフルーツ生産県において、かいよう症状を呈した発病樹から国内で発生報告がなかったキウイフルーツかいよう病菌の新系統（Psa3）が確認された。

本系統の発病樹は、花蕾の褐変、腐敗や枝幹の枯死等の収穫量の減少に直結する被害をもたらし、国内のキウイフルーツ産業への影響が危惧されている。

このため、本病の全国的な発生状況を把握するために緊急全国調査が実施され、本府においても調査を行った。

1 全国調査

- 1) 調査対象植物 キウイフルーツ
2) 調査日時・地域 令和2年5月22日
3) 調査及び検定体制 調査実施機関：京都府
4) 調査方法 調査園を見取り調査。
5) 調査結果 発病を認めなかった。

(Ⅳ) ツマジロクサヨトウ調査

ツマジロクサヨトウの被害が確認された農作物（飼料用とうもろこし、スイートコーン、飼料用ソルガム等）について、京都府における初期発生を的確に把握し、その発生状況等を生産者や生産者団体等に適時的確に情報提供することにより、農作物の被害軽減を図ることを目的として調査を行った。

○調査内容

調査内容	調査地点数 (市町村)	調査方法	調査時期	調査回(点)数
成虫飛来調査	4か所 (京田辺市)(亀岡市) (綾部市)(京丹後市)	フェロモントラップ による誘殺調査	4月～11月	16回 (2月／月)
幼虫発生調査	10か所 (久御山町)(京都市) (亀岡市)(綾部市) (京丹後市) 各地域2か所	ほ場での見取り調査 (連続する10株×5回 ／ほ場)	5月～10月	60点 (10点／月)

Ⅲ 調査・試験の結果

単年度試験研究成績（2021年3月作成）

課 題 名： 新規発生害虫ネギハモグリバエ別系統の発生生態の解明と防除技術の確立

（1）別系統の発生実態の解明

担当部署名：京都農技セ・農林セ・環境部

担 当 者 名：中島優介・岩川秀行・浅井信一・山村和

協 力 分 担：生資C、農研機構野菜花き研究部門、同東北農業研究センター、富山県、茨城県など

予算(期間)：消費・安全対策交付金（令和2～4年度）

1. 目的

ネギハモグリバエ別系統の京都府内における発生実態（発生消長、地理的分布、従来系統の発生状況）について、複数年調べることにより明らかにする。

2. 方法

（1）発生消長の調査

京都市伏見区竹田および伏見区淀、八幡市岩田の葉ネギ栽培（露地）3ほ場で、令和2年4月～令和3年3月までの期間中に1～2週間間隔で調査を行った。調査は各ネギほ場でネギをランダムに25株選択し、ネギハモグリバエによる被害株率を調査した。

3. 結果の概要

- （1）京都市伏見区竹田のほ場は、葉ネギの他に、採種用および太ネギが露地で栽培されていた。このほ場では被害株が7月から11月にかけて常発しており、被害株率は60%～100%で推移した。12月3日以降の調査では同0～16%で推移した（図1）。
- （2）八幡市岩田のほ場では出荷用の葉ネギが露地で栽培されており、2020年5月27日に被害株率8%、また9月16日に同4%と、6月及び9月に発生のピークがみられた（図2）。
- （3）京都市伏見区淀のほ場では出荷用の葉ネギが露地で栽培されており、2020年5月27日に被害株率8%、また9月7日に同16%と、（2）と同様に6月及び9月に発生のピークがみられた（図3）。
- （4）発生消長の調査株にネギハモグリバエの生存幼虫を確認した場合は、1株あたり1葉を持ち帰り、25℃15L9Dの長日条件の実験室内で飼育して羽化させて、成虫をサンプルとしてエタノール100%に浸けて保存した。

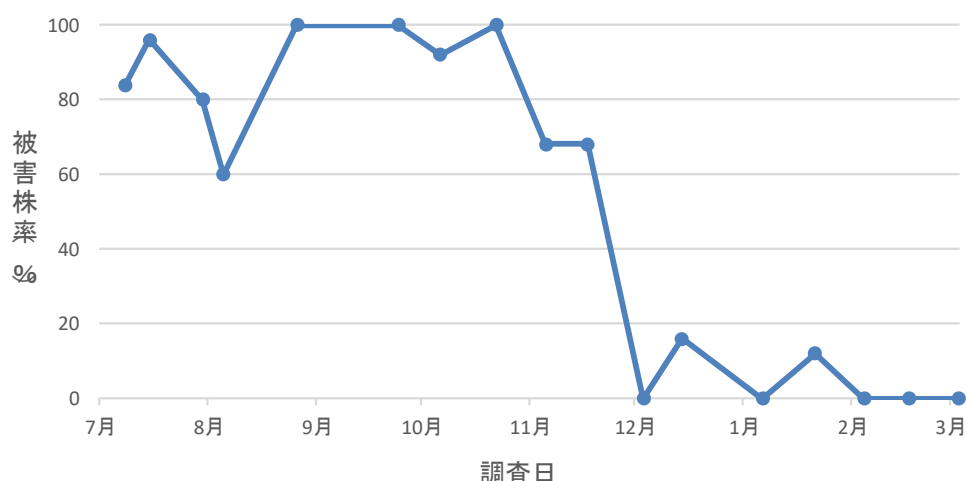


図1 京都市伏見区竹田の露地ネギにおけるネギハモグリバエの被害株率
（期間：2020年7月～2021年3月）

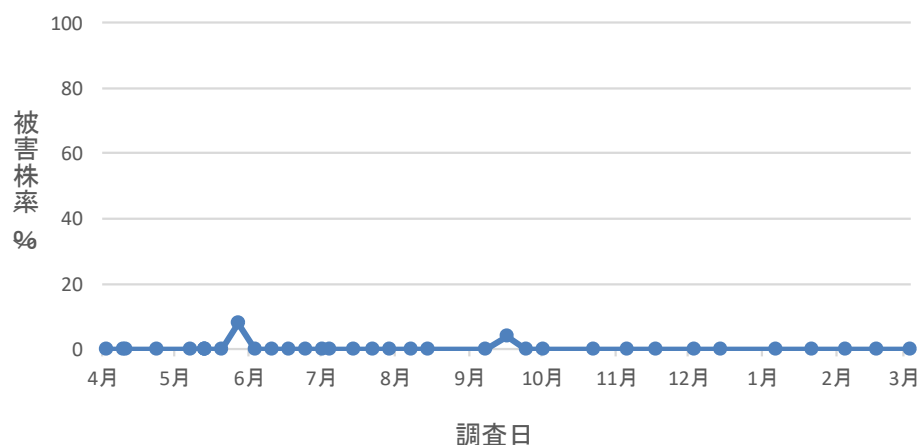


図2 八幡市岩田の露地ネギにおけるネギハモグリバエの被害株率
(期間:2020 年4月～2021 年3月)

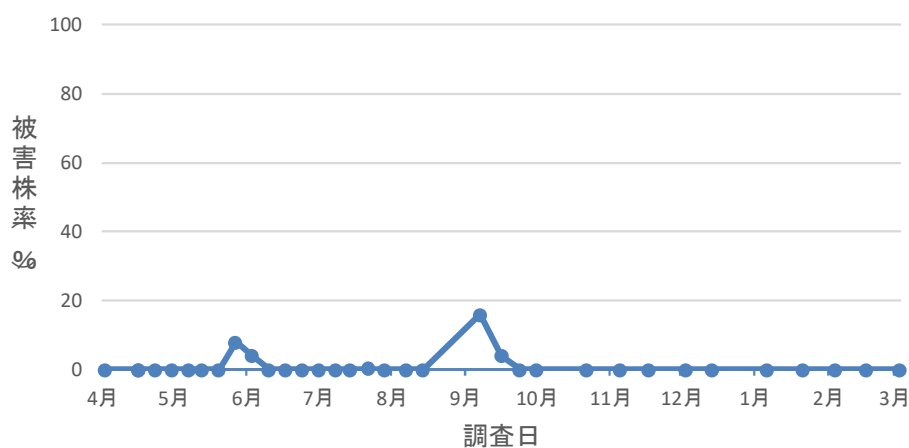


図3 京都市伏見区淀の露地ネギにおけるネギハモグリバエの被害株率
(期間:2020 年4月～2021 年3月)

4. 結果の要約

ネギハモグリバエの被害株率は、京都市伏見区竹田では、7月から11月まで継続して被害株が見られた。出荷用ほ場である京都市八幡市岩田および伏見区淀では6月及び9月に発生のピークがみられた。

〔キーワード〕 ネギハモグリバエ、別系統、従来系統、被害株、発生生態

5. 今後の問題点と次年度以降の計画

羽化させた成虫サンプルについて、mtCOI 領域の塩基配列から系統を判別する。

引き続き同様の手法でネギハモグリバエの発消長を調査する。

6. 結果の発表、活用等（予定を含む）

なし

課 題 名： 新規発生害虫ネギハモグリバエ別系統の発生生態の解明と防除技術の確立

(2) 別系統の防除技術の確立 (別系統の薬剤殺虫効果)

担当部署名：京都農技セ・農林セ・環境部

担 当 者 名：中島優介・岩川秀行・浅井信一・山村和

協 力 分 担：生資セ、農研機構野菜花き研究部門、同東北農業研究センター、富山県、茨城県など

予算(期間)：消費・安全対策交付金 (令和2~4年度)

1. 目的

ネギハモグリバエ別系統の薬剤殺虫効果及び土着天敵相について、従来系統(徳丸, 2006; 2008)と比較して明らかにする。初年度は幼虫の薬剤殺虫効果について調べる。

2. 方法

(1) 供試虫：2020年6月10日に京都府与謝郡与謝野町の葉ネギほ場(ハウス)で採集し、22.5℃長日条件(15L9D)下で累代飼育したネギハモグリバエ別系統の2齢幼虫を用いた。

(2) 供試薬剤

有機リン系、合成ピレスロイド系、ネオニコチノイド系、ネライストキシシン系、昆虫成長制御剤、スピノシン系など、IRACコードの異なる合成殺虫剤の中から選定した12種類の殺虫剤。

(3) 試験方法

ネギ株(葉長:20 cm、葉数:2~3枚)を1本植えたアイスクリームカップ(直径10 cm×高さ4.5 cm)を2~3個入れたプラスチック製飼育ケージ(20 cm×20 cm×30 cm)にネギハモグリバエ成虫を10~20匹放飼し、25℃長日条件(15L9D)下に設定した人工気象器内で24時間産卵させた。その後、取り出したネギは産卵条件と同じ温度日長条件下に置いて、4日後の2齢幼虫に薬剤処理した。薬剤は全て常用濃度とし、展着剤(新グラミン3,000倍液)を加用し、2齢幼虫が寄生したネギの葉部を10秒間葉片浸漬処理した。処理後は、同温度日長条件下で飼育し、処理2日後に実体顕微鏡下でネギの葉部をピンセットで裂いて、葉内の生存幼虫数及び死亡幼虫数を記録した。死亡率は、無処理(水道水)の値を対照としてAbbott(1925)の方法により補正した。

3. 結果の概要

(1) 補正死虫率が90%以上を示した殺虫剤は、チオシクロラム水和剤であった。また、70~89%を示した殺虫剤はシペルメトリン乳剤、クロチアニジン水溶剤、アバメクチン乳剤およびシアントラニリプロール水和剤であり、50~69%を示した殺虫剤はスピノサド水和剤およびフルキサメタミド乳剤であった(表1)。

以上のことから、ネギハモグリバエ別系統2齢幼虫に対する薬剤殺虫効果は、薬剤の種類により異なることが考えられた。

表1 ネギハモグリバエ2齢幼虫寄生葉を各種薬剤に浸漬処理した時の補正死虫率

IRACコード	薬剤名	反復数	処理濃度 (倍)	供試個体数 (匹)	補正死虫率 (%)
1B	ダイアジノン乳剤	3	1000	119	27.9
3A	シペルメトリン乳剤	3	2000	108	88.8
4A	クロチアニジン水溶剤	3	2000	54	75.9
4A	ニテンピラム水溶剤	3	1000	104	22.6
5	スピノサド水和剤	3	2500	163	52.6
5	スピネトラム水和剤	3	2500	106	9.9
6	エマメクチン安息香酸塩乳剤	3	2000	76	20.9
6	アバメクチン乳剤	3	500	175	72.0
14	チオシクラム水和剤	3	1500	190	97.9
17	シロマジン液剤	3	1000	48	25.0
28	シアントラニリプロール水和剤	3	2000	126	86.5
30	フルキサメタミド乳剤	3	2000	156	50.3

4. 結果の要約

補正死虫率が90%以上を示した殺虫剤は、チオシクラム水和剤であった。70～89%を示したのはシペルメトリン乳剤、クロチアニジン水溶剤、アバメクチン乳剤およびシアントラニリプロール水和剤であった。

〔キーワード〕 ネギハモグリバエ、薬剤殺虫効果、別系統、従来系統、IRAC

5. 今後の問題点と次年度以降の計画

- (1) 成虫に対する薬剤殺虫効果を調査する。
- (2) 別個体群を用いて、薬剤殺虫効果の個体群間差および年次間差を調査する。

6. 結果の発表、活用等（予定を含む）

- (1) 令和2年度農林センター試験研究成績報告会 ポスター発表
- (2) 関西病虫害研究会（第103回） 口頭発表（2021年6月予定）

実施課題名：農作物の病害虫に関する現地対策調査

（1）交信かく乱剤によるネギのシロイチモジヨトウ防除効果

担当部署名：京都農技セ・農林セ・環境部

担当者名：浅井信一、岩川秀行、山村 和、中島優介

協力分担：京都乙訓・山城北普及セ

予算（期間）：消費・安全対策交付金（2020 年度）

1. 目的

京都府では、平成 28 年頃からシロイチモジヨトウがネギ等の野菜類で多発しているが、効果的な殺虫剤が少なく、生産現場では防除に苦慮している。このため、府内の一部ネギ生産地において、2018 年度から交信かく乱剤の設置による防除に取り組んでいる。そこで、本虫の発生状況を、交信かく乱剤を設置していない産地と比較することで、交信かく乱剤の効果を検証する。

2. 方法

（1）調査区（交信かく乱剤設置の有無）

設置産地、無設置産地 A、無設置産地 B

＊産地は府南部地域に位置し、任意の 5 圃場を調査

（2）設置産地の交信かく乱剤設置の詳細

設置期間：2020 年 5 月～8 月

設置面積；ネギ栽培圃場 8ha

詳細：ビートアーミル A 剤の 20cm 長チューブを支柱に 3 本巻き付け、圃場にチューブ数 100～120 本/10a を設置

（3）調査時期と項目

8 月から 10 月までは月 2 回、11 月は月 1 回、各圃場任意の 25 株の幼虫数と被害株数を調査

3. 結果の概要

- （1）幼虫数は、設置産地（以下、設置区）は期間全体で 0.00～0.13 頭となり、無設置産地 A（以下、無 A 区）の 0.01～0.13 頭と同等に推移した。無設置産地 B（以下、無 B 区）では 10 月に 0.33～0.50 頭と多くなったが、期間全体では区間に有意な差は認められなかった（図 1）。なお、無 A 区で幼虫数が増加しなかった理由として、適正な殺虫剤散布が行われたためと考えられる。
- （2）被害株率は、8 月は設置区では 6%未満と無 A 区および無 B 区同様に低く推移し、9 月から 11 月では設置区で最高 10.4%、無 A 区は同 28.0%、無 B 区は同 34.4%となり、期間全体では設置区が有意に低くなった（図 2）。無 A 区の幼虫数と同等に推移したにも関わらず、設置区で被害株率が低く推移したのは、設置区は産卵抑制により幼虫数が少なくなるのに対し、無 A 区では孵化し摂食した後、薬剤散布により幼虫数が減るためと考えられる。
- （3）発生圃場率は、9 月から 10 月初旬までは設置区が 40～60%と無 A 区の 100%、無 B 区の 80%より低く推移したが、期間全体では区間に有意な差は認められなかった（図 3）。
- （4）以上のことから、交信かく乱剤設置によりシロイチモジヨトウの産卵が抑制され、ネギの被害株率が低く推移することが明らかになり、葉の被害が減収に直結するネギでは、収量向上の効果が期待できる。

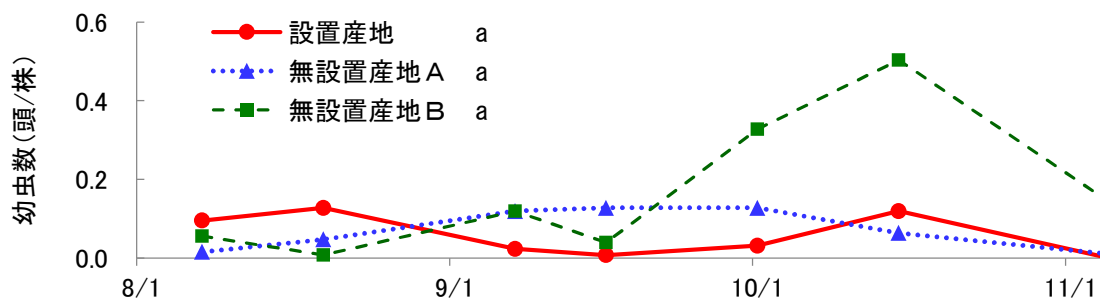


図1 交信かく乱剤設置がシロイチモジヨトウ幼虫数に及ぼす影響(2020年)

注)各圃場25株調査、各地域5ほ場の平均値

凡例の同一英小文字間は、全調査期間における対数変換($\ln(x+0.5)$)後の分散分析により5%水準で有意差がないことを示す

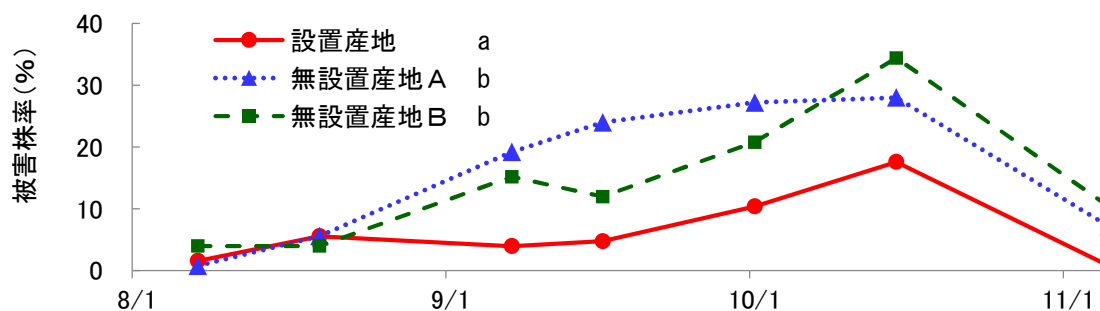


図2 交信かく乱剤設置がシロイチモジヨトウ被害株率に及ぼす影響(2020年)

注)各圃場25株調査、各地域5ほ場の平均値

凡例の異なる英小文字間は、全調査期間における逆正弦変換後のBonferroni検定により5%水準で有意差があることを示す

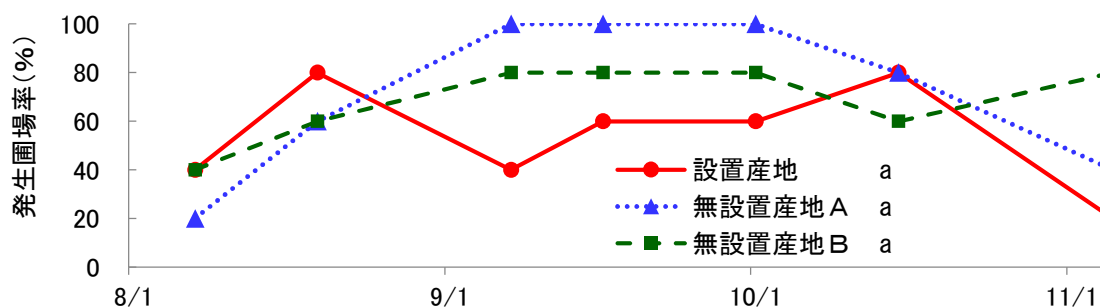


図3 交信かく乱剤設置がシロイチモジヨトウ発生圃場率に及ぼす影響(2020年)

注)各圃場25株調査、各地域5ほ場調査

凡例の同一英小文字間は、全調査期間における逆正弦変換後の分散分析により5%水準で有意差がないことを示す

4. 結果の要約

ネギでの交信かく乱剤設置により、シロイチモジヨトウ幼虫数および発生圃場率に差は認められなかったが、産卵が抑制されるため被害株率が低く推移し、収量向上の効果が期待できる。

〔キーワード〕 シロイチモジヨトウ、ネギ、交信かく乱剤

5. 今後の問題点と次年度以降の計画

なし

6. 結果の発表、活用等

令和2年度農林センター試験研究報告会でポスター発表

実施課題名：農作物の病害虫に関する現地対策調査

(2) 2020 年の京都府の水稻におけるトビイロウンカ発生状況

担当部署名：京都農技セ・農林セ・環境部

担当者名：岩川秀行・浅井信一・山村 和・中島優介

協力分担：

予算(期間)：植物防疫事業交付金(2020 年度)

1. 目的

トビイロウンカは中国大陸から東シナ海を渡ってくる水稻の飛来害虫であるが、被害を受けたときの減収が大きく、病害虫発生予察調査においても特に警戒している害虫種である。一方で、京都府内では越冬できないため、発生は飛来虫に限られ、世代交代毎に増殖して被害を及ぼすため、飛来時期が遅くなると防除の必要が無く、年により防除の必要性が大きく変動する特徴がある。2020 年は、南丹地域以南の府内南部地域で本虫による大きな被害が発生し、1987 年以來の病害虫発生予察警報を発表した。

そこで、2020 年の本虫飛来調査及び本田発生調査の経過をまとめることとする。

2. 方法

(1) 調査場所：①予察灯(60W白熱電球) 3カ所

京田辺市、亀岡市(農林センター内)、京丹後市(丹後農研内)

②府内水田 のべ113カ所

(2) 調査時期：①予察灯 6月1日～10月31日

②府内水田 8月17日～8月20日、9月3日～9月8日

(3) 府内水田調査ほ場数

8月：山城 16(10)ほ場、南丹 18(9)ほ場、中丹 12(6)ほ場、丹後 23(14)ほ場

9月：山城 20ほ場、南丹 10ほ場、中丹 6ほ場、丹後 8ほ場

※8月の()は追加調査ほ場数を示す。9月は全て追加調査ほ場数。

(4) 調査方法

①予察灯：60W予察灯で1日毎に誘殺したトビイロウンカを調査した。

②府内水田：調査地点のほ場内任意の25株について、成虫(長翅型及び短翅型)及び幼虫別に払い落とし調査した。

3. 結果の概要

①予察灯

(1) 予察灯への初飛来は、京田辺市が8月4日、亀岡市が同6日、京丹後市は同5日であった。

(2) 予察灯での誘殺数は、いずれの地点も8月中旬までは半旬当たり数頭程度にとどまっていたが、京田辺市では8月第6半旬から、京丹後市では9月第1半旬から急激に増加した(表1)。

②府内水田

(1) 8月のほ場調査では、山城で発生ほ場率56.3%、寄生株率6.3%と発生が広がりつつあり、南丹及び中丹でも発生を確認した。一方、丹後では調査外での発生を確認したが、調査ほ場での発生は確認できなかった。

(2) 9月のほ場調査の虫数は、府内全域で発生を確認した。南丹以南では、調査ほ場のすべてで発生し、中丹以北でも60%以上の発生ほ場率となった(表2)。

(3) 9月のほ場調査では、南丹以北では発生程度少と直ちに防除を要する水準ではなかったが、山城では発生程度中と府の要防除水準(5頭/株)を超える発生量であった。

(4) 「警報」発表後、8月下旬には京都乙訓管内で、9月上旬には山城管内の平坦部及び南丹管

内の一部で坪枯れが発生し、以後 10 月の晩生品種収穫時期まで被害が拡大した。

表1 予察灯(60W白熱電球)へのトビイロウンカ半旬毎誘殺数(期間:2020年7月1日～10月31日)

地点	月 半旬	7月						8月						9月						10月					
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
京田辺市	2020年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	2.0	1.0	0.0	17.0	28.0	17.0	1.0	11.0	7.0	2.0	22.0	3.0	4.0	5.0	1.0	2.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.3	0.9	0.1	1.0	2.1	0.5	2.1	0.3	0.1	0.4	0.8	0.4	0.1	0.0
亀岡市	2020年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	4.0	3.0	3.0	0.0	4.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.4	0.3	0.2	0.3	1.2	0.9	0.8	0.4	1.0	2.7	0.3	0.0	0.0	0.0
京丹後市	2020年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	2.0	0.0	0.0	0.0	2.0	15.0	14.0	10.0	57.0	14.0	2.0	9.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	1.1	0.9	0.8	5.9	8.3	5.2	1.0	1.3	0.5	0.3	0.5	0.0	0.0

表2 京都府の8月中旬におけるトビイロウンカ発生状況(調査時期:17日～20日)

地域	調査 ほ場数	発生 ほ場率(%)	寄生株率*1 (%)	寄生虫数*1(25株当たり)				発生程度*2
				合計	成虫		幼虫	
					長翅型	短翅型		
丹後	23	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	無
中丹	12	16.7	0.7	0.2	0.0	0.2	0.0	少
南丹*3	18	16.7	0.9	0.4	0.1	0.3	0.0	少
山城*3	16	56.3	6.8	2.3	0.1	1.6	0.6	少

*1:25株見取り・払い落とし調査

*2:発生程度別基準

程度	無	少	中	多	甚
25株当たり虫数	0	1～125	126～500	501～1250	1251以上

*3:注意報・警報対象地域

表3 京都府の9月上旬におけるトビイロウンカ発生状況(調査時期:3日～8日)

表3 京都府の9月15日に於けるヒメハダマシの発生状況(調査時期:8日・8日)								
地域	調査 ほ場数	発生 ほ場率(%)	寄生株率*1 (%)	寄生虫数*1(25株当たり)				発生程度*2
				合計	成虫		幼虫	
					長翅型	短翅型		
丹後	8	62.5	3.0	0.9	0.8	0.1	0.0	少
中丹	6	66.7	12.0	4.7	3.3	0.3	1.0	少
南丹*3	10	100.0	52.4	56.3	21.0	6.9	17.1	少
山城*3	20	100.0	75.0	175.4	65.6	32.7	77.1	中

注:*1、*2及び*3の内容は表1と同じ。

4. 結果の要約

本年のトビイロウンカは、予察灯への誘殺を8月上旬に確認し、8月中旬のほ場調査で中丹地域以南の広域で発生を確認した。9月上旬のほ場調査では府内全域で発生を確認し、山城地域では要防除水準(5頭/株)を超過したため「発生予察警報」を発表した。その後、山城地域を中心に坪枯れ被害が発生した。

[キーワード] 水稻、トビイロウンカ、坪枯れ、発生予察警報、京都府

5. 今後の問題点と次年度以降の計画

8月上旬～中旬に水田の追加発生調査。

6. 結果の発表、活用等

令和2年度農林センター成績報告会及び令和2年度農作物病害虫セミナーで報告

防除所ニュース(8月18日)、注意報(8月26日)、警報(9月10日・晩生品種)を発表

Ⅳ 緊急防除等に係る協力・指導の実施

- | | |
|--------------------------------|---------|
| 1 国の行う緊急防除（法第 17 条）への協力 | 本年度該当なし |
| 2 『防除計画』（法第 24 条）に基づき府が行う防除の指導 | 本年度該当なし |
| 3 府の行う防除（法第 29 条）の指導等 | 本年度該当なし |

Ⅴ 情報提供サービスの実施

（Ⅰ）情 報 提 供 の 概 要

1 病虫害防除所ホームページ

1) 設置場所及びサービス開始時期

- (1) 設置場所：京都府のホームページ『おこしやす京都』

(アドレス <http://www.pref.kyoto.jp/byogai/>)

- (2) サービス開始：平成10年 4 月

2) 情報の概要及び更新時期

- (1) 内 容：① 病虫害発生予察コーナー

② 病虫害発生状況（フェロモントラップ誘殺数）

③ 巡回調査結果

④ 水稻いもち病発生予察システム（BLASTAM）の結果

⑤ 防除所ってなに？

⑥ 病虫害ワクワクツアー

⑦ 家庭菜園で見られる病虫害（Web 病虫害辞典）

- (2) 更新時期：毎月の下旬及び必要に応じて随時更新

(Ⅱ) 情報の内容と利用状況

1 病虫害防除所ホームページ (アドレス <http://www.pref.kyoto.jp/byogai/>)

(1) 京都府ホームページの防除所ホームページ上に、以下のコーナーを運営している。掲載情報・掲載日等は表のとおり。

①病虫害発生予察コーナー

- ・公表した発生予察情報等をPDFファイルで掲載
- ・18年度以降に公表した情報も過去情報として掲載

②病虫害発生状況（予察灯及びフェロモントラップ誘殺数）

- ・京田辺市、亀岡市、京丹後市に設置している予察灯（60W 及び BL）による誘殺数（グラフ）を更新
- ・京田辺市、亀岡市、京丹後市に設置しているフェロモントラップによる誘殺数（グラフ）を更新
- ・宇治市、綾部市に設置している茶樹害虫のフェロモントラップによる誘殺数（グラフ）を更新

③巡回調査結果

- ・巡回調査結果のうち水稻、黒大豆、小豆、茶、ナシ、ナス、キュウリ、ネギ、ホウレンソウ、ダイコン、カブの調査結果をPDFファイルで掲載

④水稻いもち病発生予察システム（BLASTAM）の結果

- ・JPP-NET（日本植物防疫協会が運営する農作物の病虫害防除情報サービス）内のデータベースを用いて、府内8箇所のアメダスデータからいもち病の発生を予測した結果を掲載

⑤防除所ってなに？

- ・防除所の業務内容や歴史などを常時紹介

⑥病虫害ワクワクツアー

- ・農作物の病虫害の生態や防除法などの写真等を常時掲載

⑦家庭菜園で見られる病虫害（Web病虫害辞典）

- ・夏野菜に見られる病虫害の写真を常時掲載

(2) 利用者の利便性を図るため以下の取組を実施している。

①「新着情報」のコンテンツでは、最新の発生予察情報にリンク

②「各種データ（巡回調査結果、フェロモン誘殺数等）」のコンテンツでは、病虫害発生状況（フェロモントラップ誘殺数）、巡回調査結果、水稻いもち病発生予察システム（BLASTAM）の結果の各データとリンク

③「お知らせ」のコンテンツでは最新情報、更新情報を掲載

【病害虫発生予察情報等】

種類	更新掲載情報	掲載年月日
予報	病害虫発生予報第1号	令和2年2月28日
	病害虫発生予報第2号	令和2年3月27日
	病害虫発生予報第3号	令和2年4月22日
	病害虫発生予報第4号	令和2年5月20日
	病害虫発生予報第5号	令和2年6月24日
	病害虫発生予報第6号	令和2年7月22日
	病害虫発生予報第7号	令和2年8月26日
	病害虫発生予報第8号	令和2年9月24日
	病害虫発生予報第9号	令和2年10月21日
注意報	発生予察注意報第1号：ネギ：べと病	令和2年3月27日
	発生予察注意報第2号：果樹：果樹カメムシ類	令和2年6月24日
	発生予察注意報第3号：水稻：トビイロウンカ	令和2年8月26日
警報	発生予察警報第1号：水稻：トビイロウンカ	令和2年9月10日
特殊報	発生予察特殊報第1号：チャ：ヒサカキワタフキコナジラミ	令和2年3月27日
	発生予察特殊報第2号：トマト：クロテンコナカイガラムシ	令和2年10月21日
	発生予察特殊報第3号：ウメ：ウメシロヒメヨコバイ（仮称）	令和2年10月21日
防除所 ニュース	防除所ニュース第1号（ネギ：べと病）	令和2年1月30日
	防除所ニュース第2号（果樹：カメムシ類）	令和2年5月29日
	防除所ニュース第3号（水稻：いもち病）	令和2年7月22日
	防除所ニュース第4号（水稻：トビイロウンカ）	令和2年8月18日
	防除所ニュース第5号（豆、野菜類：ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ）	令和2年9月24日
	防除所ニュース第6号（豆類：ハダニ類）	令和2年9月24日

【巡回調査結果】

調査月及び掲載調査品目	掲載月日
4月の巡回調査結果（茶、ネギ）	令和2年4月22日
5月の巡回調査結果（水稻、茶、ナシ、ナス、ネギ）	令和2年5月20日
6月の巡回調査結果（水稻、茶、ナシ、ナス、ネギ）	令和2年6月24日
7月の巡回調査結果（水稻、黒大豆、茶、ナシ、ナス、ネギ）	令和2年7月22日
8月の巡回調査結果（水稻、黒大豆、小豆、茶、ナシ、ナス、ネギ）	令和2年8月26日
9月の巡回調査結果（水稻、黒大豆、小豆、茶、ナシ、ナス、ネギ）	令和2年9月24日
10月の巡回調査結果（黒大豆、小豆、茶、ナシ、ナス、ネギ）	令和2年10月21日

【その他】

種 類	更新月（更新回数）
チャノコカクモンハマキ フェロモントラップ誘殺グラフ（宇治市、綾部市、京丹後市）	令和2年4月～10月 （7回）
チャノホソガ フェロモントラップ誘殺グラフ（宇治市、綾部市、京丹後市）	
コナガ フェロモントラップ誘殺グラフ（京田辺市、亀岡市、京丹後市）	
ハスモンヨトウ フェロモントラップ誘殺グラフ（京田辺市、亀岡市、京丹後市）	令和2年5月～10月 （6回）
オオタバコガ フェロモントラップ誘殺グラフ（京田辺市、亀岡市、京丹後市）	
アオクサカメムシ 予察灯（60W）誘殺グラフ（京田辺市、亀岡市、京丹後市）	
イチモンジカメムシ 予察灯（60W、BL）誘殺グラフ（京田辺市、亀岡市、京丹後市）	
ホソヘリカメムシ フェロモントラップ誘殺グラフ（京田辺市、亀岡市、京丹後市）	
チャバネアオカメムシ 予察灯（BL）誘殺グラフ（京田辺市、亀岡市、京丹後市）	
クサギアオカメムシ 予察灯（BL）誘殺グラフ（京田辺市、亀岡市、京丹後市）	
ツヤアオカメムシ 予察灯（BL）誘殺グラフ（京田辺市、亀岡市、京丹後市）	
コナガ 予察灯（60W）誘殺グラフ（京田辺市、亀岡市、京丹後市）	
シロイチモジヨトウ フェロモントラップ誘殺グラフ（京田辺市、亀岡市、京丹後市）	
タバコガ フェロモントラップ誘殺グラフ（京田辺市、亀岡市、京丹後市）	
カブラヤガ フェロモントラップ誘殺グラフ（亀岡市）	
シロオビノメイガ 予察灯（60W）誘殺グラフ（京田辺市、亀岡市、京丹後市）	
水稻いもち病発生予察システム（BLASTAM）の結果	令和2年6月～7月 （2回）

Ⅵ 病害虫調査協力員の活動状況

（Ⅰ）病害虫調査協力員の設置

平成18年3月31日に定めた京都府病害虫調査協力員設置要領によって、府内各農業協同組合から選任された、病害虫発生状況調査等に協力を願う病害虫調査協力員（以下「協力員」と言う）を23名設置した。

（Ⅱ）報告内容の活用

協力員から寄せられた情報は、結果をとりまとめて発生予察会議の資料として活用した。

表1 協力員による病害虫発生状況報告の概要

照会日	照 会 内 容	回答数
6月9日	① 水稻の生育状況 ② 育苗時の病害虫発生状況 ③ 葉いもちについて ④ その他作物の目立つ病害虫	16
7月10日	① 水稻の生育状況 ② 葉いもちについて ③ 斑点米カメムシ類について ④ その他作物の目立つ病害虫	16
8月10日	① 水稻の生育状況 ② いもち病、紋枯病について ③ 斑点米カメムシ類についての発生と防除状況 ④ その他作物のハスモンヨトウ、カメムシ類の発生 ⑤ その他作物の目立つ病害虫	15
9月9日	① 水稻の生育状況 ② 水稻の倒伏について ③ 穂いもちの発生状況 ④ トビイロウンカの発生状況 ⑤ 水稻で目立ったその他病害虫 ⑥ 豆類でのハスモンヨトウ、白変葉及び子実害虫の発生状況 ⑦ その他作物の目立つ病害虫	10
11月9日	① 水稻の生育状況（中晩稲） ② 水稻全体の作柄（収量、一等米比率） ③ その他作物の目立つ病害虫	15

（Ⅲ）協力員研修の概要

植物防疫セミナーへ参加願い、病害虫の発生状況等の研修を実施した。

- (1) 開催日 令和3年3月1日～25日（YouTubeによる動画配信）
- (2) 内 容 植物防疫セミナーのページ参照

Ⅶ 会議、打合せ・研修の実施等

1 植物防疫に関する会議等

会 議 名	開 催 日	開 催 場 所
病害虫AIプロ事業ナスグループ中間検討会	9月 4日	Webによるリモート会議
クビアカツヤカミキリ対策会議	10月30日	近畿農政局
全国病害虫防除所長会議	11月 6日	近畿農政局
東海・近畿地区植物防疫事業検討会	11月25 ～26日	名古屋市
スクミリンゴガイ防除講習会	12月 3日	農林センター
水稻病害虫防除対策全国協議会	12月 7日	近畿農政局
病害虫AIプロ事業ナスグループ年度末検討会	12月15日	Webによるリモート会議
病害虫AIプロ事業全体年度末検討会	1月18日	Webによるリモート会議
病害虫の防除に直結する発生予察体制への転換委託事業年度末検討会	1月20日	Webによるリモート会議
京都府植物防疫担当者会議	2月 5日	Webによるリモート会議
植物防疫事業担当者会議	3月25日	近畿農政局

2 植物防疫に関する講演・講義

講座・研修名及び講演タイトル	開 催 日	開 催 場 所
農業大学校1年生講義	7月 1日 7月29日 8月 4日 9月 2日 9月 3日 11月24日 1月 8日	農業大学校
営農指導員認定研修会	8月 7日	京都テルサ
農薬管理指導士養成研修会	1月22日	キャンパスプラザ京都
京都府農林センター試験研究成績報告会	2月10～ 3月 9日	YouTubeによる 動画配信
農作物病害虫セミナー	3月 1～25日	YouTubeによる動画配信

3 職員の研修、視察

月 日	研 修 名	主 催	開催場所
2月15日～19日	植物防疫研修会	一般社団法人日本植物防疫協会	Web

Ⅸ 普及センター等との連携の推進

1 農作物病害虫セミナーの開催

次年度作に向けて特に注意が必要な病害虫について、注意喚起を図るとともに防除対策技術に関する情報を伝えるため、農家及び植物防疫に関連する関係機関を対象に「農作物病害虫セミナー」を配信形式で開催した。

- ① 開催日 令和3年3月1日（月）～令和3年3月25日（木）（視聴期間）
（申込期間：令和3年2月26日（金）～令和3年3月22日（月））
- ② 申込者 56名、視聴数 延べ332回
- ③ 内 容 以下の4課題を動画によるスライド口頭発表形式として配信
 - ア 水稻害虫トビイロウンカ及びスクミリンゴガイの防除対策
 - イ 野菜等の害虫シロイチモジヨトウの生態と防除対策
 - ウ 京都府内で昨年新たに確認された病害虫
 - エ クビアカツヤカミキリの防除対策

2 病害虫情報共有化シート

各農業改良普及センター、各研究所、農産課、及び防除所等が病害虫発生状況の情報を共有化するとともに、発生予察会議の資料として活用するために、行政支援システムの農林水産部本庁・地方機関共用フォルダーの防除所フォルダー内に病害虫情報共有化シートを設置した。令和2年度の書き込み件数は下表のとおりである。

月	農業改良普及センター							試験研究 機関	計
	京都乙訓	山城北	山城南	南丹	中丹東	中丹西	丹後		
4月	0	0	2	4	0	0	2	1	9
5月	0	0	3	4	2	2	14	4	29
6月	0	0	1	10	6	0	17	3	37
7月	1	0	4	12	7	0	0	4	28
8月	4	0	1	11	7	0	7	3	33
9月	2	0	3	13	5	0	11	0	34
10月	1	1	0	3	0	0	0	2	7
11月	0	3	0	4	0	0	0	0	7
12～3月	0	0	0	2	0	0	0	0	2
計	8	4	14	63	27	2	51	17	186

参考資料
令和2(2020)年 半旬別気象表

平 年 値	最高・最低気温、降水量 ……1981～2010年の平均値
	平均気温 ……1993～2010年の平均値
	日照時間 ……2005～2010年の平均値

京都府農林センター（亀岡市余部町）

月	半旬	最高気温 (℃)		最低気温 (℃)		平均気温 (℃)		降水量 (mm)		日照時間 (h)		平年比		平年比	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	降水量	日照時間	最高気温	最低気温
1	1	10.7	8.4	-0.4	-0.7	4.4	3.5	2.5	7.8	16.7	19.2	32%	87%	2.3	0.3
	2	11.8	8.5	2.4	-0.9	6.7	3.2	17.0	6.3	11.9	17.8	270%	67%	3.3	3.3
	3	10.2	7.9	0.2	-1.1	4.6	3.5	0.5	8.6	16.2	20.8	6%	78%	2.3	1.3
	4	11.2	8.4	0.1	-1.3	5.0	3.5	0.0	7.9	16.5	20.6	0%	80%	2.8	1.4
	5	10.4	7.1	3.1	-1.4	6.8	2.6	20.0	9.5	5.8	14.6	211%	40%	3.3	4.5
	6	11.9	7.8	4.1	-2.2	7.6	2.7	5.0	11.0	10.6	23.5	45%	45%	4.1	6.3
	平均・計	11.1	8.0	1.7	-1.3	5.9	3.2	45.0	51.2	77.7	116.6	88%	67%	3.1	3.0
2	1	11.0	7.0	-1.9	-2.0	3.8	2.2	0.0	7.9	22.9	20.3	0%	113%	4.0	0.1
	2	6.3	8.7	-3.3	-1.6	1.4	3.4	1.5	9.2	21.4	20.8	16%	103%	-2.4	-1.7
	3	14.1	9.3	2.8	-1.0	7.8	3.8	7.5	10.1	15.4	18.5	74%	83%	4.8	3.8
	4	12.2	8.6	1.8	-0.7	6.3	3.7	15.0	16.0	20.8	20.1	94%	103%	3.6	2.5
	5	13.3	9.5	0.3	-0.3	5.9	4.9	15.5	16.8	21.5	24.8	92%	87%	3.8	0.6
	6	9.4	10.2	3.1	-0.2	6.2	5.1	6.5	11.2	8.8	15.5	58%	57%	-0.8	3.3
	平均・計	11.2	8.8	0.3	-1.0	5.2	3.8	46.0	71.3	110.8	119.9	65%	92%	2.4	1.3
3	1	12.5	10.4	4.1	0.3	7.5	5.3	16.5	17.2	20.9	22.0	96%	95%	2.1	3.8
	2	15.8	10.8	3.2	0.3	9.1	5.8	20.5	12.8	24.6	21.8	160%	113%	5.0	2.9
	3	13.7	12.2	2.4	1.0	7.6	6.3	5.5	19.2	28.8	26.1	29%	110%	1.5	1.4
	4	15.5	12.9	0.7	1.7	8.3	7.5	6.0	17.8	39.6	27.1	34%	146%	2.6	-1.0
	5	17.2	13.6	2.1	2.8	9.1	8.0	0.0	22.3	42.1	25.5	0%	165%	3.6	-0.7
	6	16.5	14.3	6.2	2.8	11.3	8.6	30.5	16.4	13.7	32.3	186%	42%	2.2	3.4
	平均・計	15.2	12.4	3.2	1.5	8.9	7.0	79.0	105.8	169.7	154.8	75%	110%	2.8	1.7
4	1	16.2	16.2	4.1	3.6	10.1	9.4	24.5	15.8	26.3	26.2	155%	100%	0.0	0.5
	2	17.8	18.1	3.0	5.3	10.0	11.5	0.0	19.6	48.9	33.6	0%	145%	-0.3	-2.3
	3	14.4	18.4	4.2	6.1	9.3	12.2	51.0	20.2	22.4	22.1	253%	101%	-4.0	-1.9
	4	19.4	19.8	8.3	7.0	13.3	13.8	37.5	17.2	17.4	26.4	218%	66%	-0.4	1.3
	5	16.7	20.1	4.4	7.9	10.2	14.4	3.0	17.2	27.3	26.1	17%	104%	-3.4	-3.5
	6	21.9	22.1	6.3	8.4	14.3	14.9	0.5	13.1	44.3	39.5	4%	112%	-0.2	-2.1
	平均・計	17.7	19.1	5.1	6.4	11.2	12.7	116.5	103.1	186.6	173.9	113%	107%	-1.4	-1.3
5	1	26.9	22.7	13.5	10.4	19.7	17.3	1.5	18.9	32.2	35.5	8%	91%	4.2	3.1
	2	23.4	23.7	11.7	11.1	17.3	17.6	6.0	25.6	23.4	23.8	23%	98%	-0.3	0.6
	3	27.5	22.6	10.1	11.4	18.9	16.9	2.5	35.5	43.0	33.1	7%	130%	4.9	-1.3
	4	23.5	23.5	14.9	12.2	18.6	18.0	72.0	28.6	10.6	23.7	252%	45%	0.0	2.7
	5	26.3	24.7	15.0	13.2	20.4	19.0	0.0	19.3	21.0	28.7	0%	73%	1.6	1.8
	6	26.4	25.2	14.2	13.8	19.8	19.5	21.5	18.7	35.7	33.1	115%	108%	1.2	0.4
	平均・計	25.7	23.8	13.3	12.1	19.1	18.1	103.5	146.5	165.9	177.9	71%	93%	1.9	1.2
6	1	29.9	26.4	17.1	15.1	23.4	20.3	0.0	16.9	29.7	25.7	0%	116%	3.5	2.0
	2	29.6	26.7	16.6	16.0	23.0	20.9	6.0	24.8	39.5	22.3	24%	178%	2.9	0.6
	3	27.4	26.6	21.8	16.8	24.3	21.6	105.5	21.4	6.0	25.4	493%	24%	0.8	5.0
	4	25.7	27.5	17.5	18.0	21.0	22.8	68.5	39.4	18.2	22.9	174%	79%	-1.8	-0.5
	5	29.6	26.9	18.3	19.0	24.0	22.8	1.0	42.6	26.7	14.4	2%	186%	2.7	-0.7
	6	29.2	28.1	20.7	20.0	24.9	24.3	52.0	47.7	12.9	13.7	109%	94%	1.1	0.7
	平均・計	28.6	27.0	18.7	17.5	23.4	22.1	233.0	192.8	133.0	124.4	121%	107%	1.6	1.2

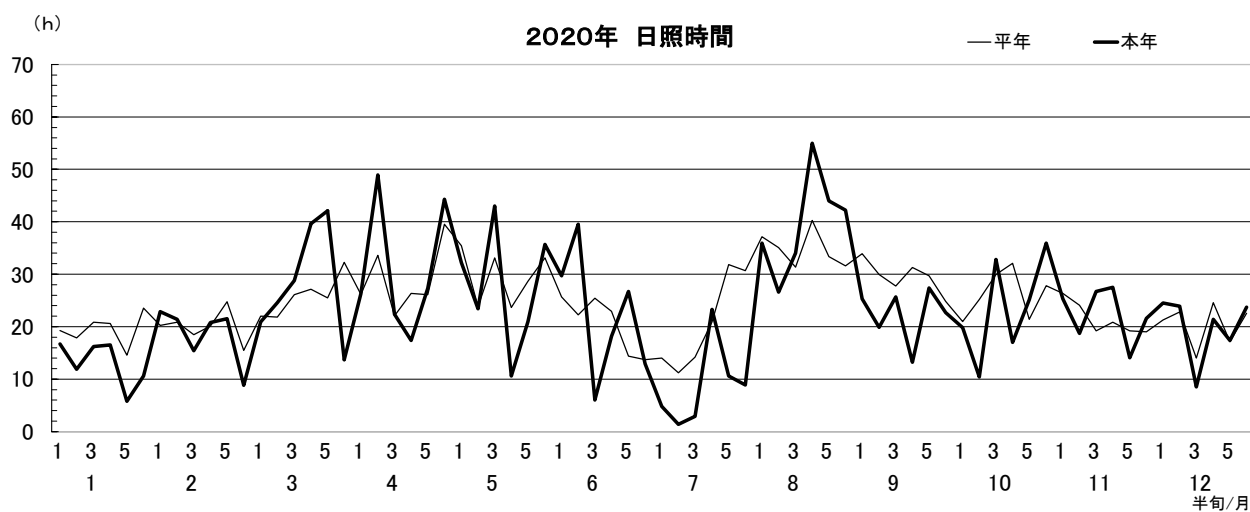
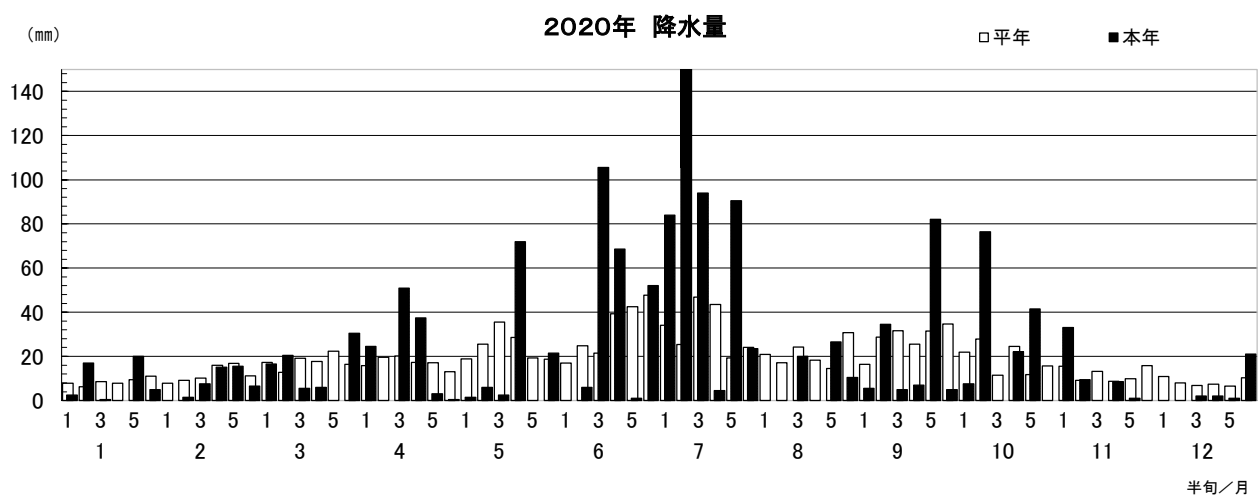
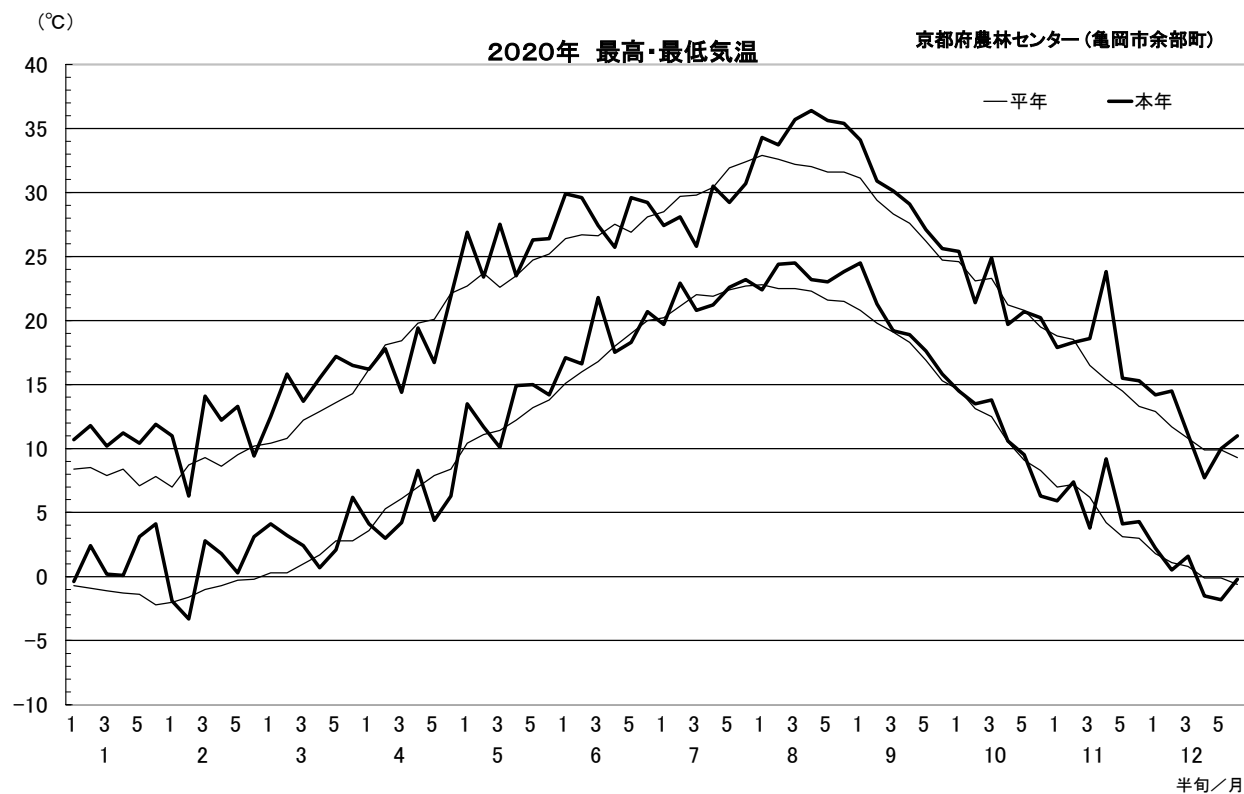
日照時間は2005年4月以降太陽電池式で測定

平 年 値	最高・最低気温、降水量 ……1981～2010年の平均値
	平均気温 ……1993～2010年の平均値
	日照時間 ……2005～2010年の平均値

京都府農林センター（亀岡市余部町）

月	半旬	最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		平均気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)		平年比		平年比	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	降水量	日照時間	最高気温	最低気温
7	1	27.4	28.5	19.7	20.2	23.2	24.8	84.0	34.1	4.8	14.0	247%	34%	-1.1	-0.5
	2	28.1	29.7	22.9	21.1	25.0	25.2	185.0	25.4	1.4	11.2	727%	13%	-1.6	1.8
	3	25.8	29.8	20.8	22.0	23.2	25.8	94.0	46.8	2.9	14.2	201%	20%	-4.0	-1.2
	4	30.5	30.4	21.2	21.9	25.3	25.6	4.5	43.6	23.3	20.9	10%	111%	0.1	-0.7
	5	29.2	31.9	22.6	22.4	25.2	27.0	90.5	19.3	10.6	31.8	470%	33%	-2.7	0.2
	6	30.7	32.4	23.2	22.7	26.2	27.0	23.5	24.0	8.9	30.7	98%	29%	-1.7	0.5
	平均・計	28.7	30.5	21.8	21.7	24.7	25.9	481.5	193.1	51.9	122.9	249%	42%	-1.8	0.1
8	1	34.3	32.9	22.4	22.8	27.6	27.8	0.0	20.9	35.9	37.2	0%	97%	1.4	-0.4
	2	33.7	32.6	24.4	22.5	28.8	27.4	0.0	17.2	26.6	35.1	0%	76%	1.1	1.9
	3	35.7	32.2	24.5	22.5	29.2	27.0	20.0	24.2	34.0	31.3	83%	109%	3.5	2.0
	4	36.4	32.0	23.2	22.3	29.1	27.1	0.0	18.2	55.0	40.3	0%	137%	4.4	0.9
	5	35.6	31.6	23.0	21.6	28.3	26.0	26.5	14.5	44.0	33.4	183%	132%	4.0	1.4
	6	35.4	31.6	23.8	21.5	28.4	25.7	10.5	30.7	42.2	31.6	34%	133%	3.8	2.3
	平均・計	35.2	32.1	23.6	22.2	28.6	26.8	57.0	125.7	237.7	208.8	45%	114%	3.1	1.4
9	1	34.1	31.1	24.5	20.8	28.2	25.1	5.5	16.5	25.3	33.9	33%	75%	3.0	3.7
	2	30.9	29.4	21.3	19.8	25.4	24.3	34.5	28.6	19.9	30.0	120%	66%	1.5	1.5
	3	30.1	28.3	19.2	19.1	24.1	23.5	5.0	31.7	25.7	27.7	16%	93%	1.8	0.1
	4	29.1	27.6	18.9	18.3	23.4	22.9	7.0	25.5	13.2	31.3	27%	42%	1.5	0.6
	5	27.1	26.2	17.6	16.9	22.0	21.3	82.0	31.6	27.4	29.7	260%	92%	0.9	0.7
	6	25.6	24.7	15.8	15.3	19.9	19.8	5.0	34.6	22.7	24.8	14%	92%	0.9	0.5
	平均・計	29.5	27.9	19.6	18.4	23.8	22.8	139.0	168.4	134.2	177.4	83%	76%	1.6	1.2
10	1	25.4	24.6	14.5	14.6	19.5	19.3	7.5	21.9	19.8	21.0	34%	94%	0.8	-0.1
	2	21.4	23.1	13.5	13.1	17.2	17.8	76.5	27.8	10.4	25.2	275%	41%	-1.7	0.4
	3	24.9	23.3	13.8	12.5	18.9	17.6	0.0	11.4	32.8	29.9	0%	110%	1.6	1.3
	4	19.7	21.2	10.6	10.5	14.2	15.8	22.0	24.6	17.0	32.1	90%	53%	-1.5	0.1
	5	20.7	20.8	9.5	9.1	14.8	15.0	41.5	11.7	25.1	21.4	354%	117%	-0.1	0.4
	6	20.2	19.5	6.3	8.3	12.0	13.7	0.0	15.7	35.9	27.8	0%	129%	0.7	-2.0
	平均・計	22.0	22.0	11.2	11.3	16.0	16.4	147.5	113.1	141.0	157.4	130%	90%	0.0	-0.1
11	1	17.9	18.8	5.9	7.0	11.7	12.3	33.0	15.5	25.3	26.3	212%	96%	-0.9	-1.1
	2	18.3	18.5	7.4	7.2	12.2	12.1	9.5	9.1	18.7	24.1	104%	78%	-0.2	0.2
	3	18.6	16.5	3.8	6.2	9.8	11.5	0.0	13.2	26.7	19.2	0%	139%	2.1	-2.4
	4	23.8	15.4	9.2	4.2	15.6	9.1	8.5	8.7	27.5	20.9	98%	132%	8.4	5.0
	5	15.5	14.5	4.1	3.1	9.8	8.1	1.0	9.9	14.1	19.2	10%	74%	1.0	1.0
	6	15.3	13.3	4.3	3.0	9.2	8.3	0.0	15.8	21.6	19.1	0%	113%	2.0	1.3
	平均・計	18.2	16.2	5.8	5.1	11.4	10.2	52.0	72.3	133.9	128.7	72%	104%	2.0	0.7
12	1	14.2	12.9	2.2	1.8	7.0	7.1	0.0	10.9	24.5	21.3	0%	115%	1.3	0.4
	2	14.5	11.7	0.5	1.1	5.9	5.7	0.0	8.0	23.9	22.8	0%	105%	2.8	-0.6
	3	11.1	10.8	1.6	0.8	5.8	5.4	2.0	6.8	8.5	14.0	29%	61%	0.3	0.8
	4	7.7	9.9	-1.5	-0.1	2.4	4.5	2.0	7.4	21.4	24.6	27%	87%	-2.2	-1.4
	5	10.0	9.9	-1.8	-0.1	3.2	4.1	1.0	6.5	17.4	17.1	15%	102%	0.1	-1.7
	6	11.0	9.3	-0.2	-0.6	4.4	3.6	21.0	10.2	23.7	22.6	205%	105%	1.7	0.4
	平均・計	11.4	10.7	0.1	0.4	4.8	5.0	26.0	49.8	119.4	122.4	52%	98%	0.7	-0.3
年平均・計		21.2	19.9	10.3	9.5	15.2	14.5	1526.0	1393.1	1661.8	1785.1	110%	93%	1.3	0.8

※7月7日、8日の最高気温は欠測



参考資料
令和2(2020)年 半旬別気象表

平 年 値	最高・最低気温、降水量 ……1981～2010年の平均値
	平均気温 ……1993～2010年の平均値
	日照時間 ……2005～2010年の平均値

京都府農林センター（京丹後市弥栄町）

月	半旬	最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		平均気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)		平年比		平年比	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	降水量	日照時間	最高気温	最低気温
1	1	9.7	8.0	3.2	0.6	6.5	4.2	13.5	35.6	7.4	8.0	38%	93%	1.7	2.6
	2	12.6	8.2	2.7	0.0	7.7	4.0	35.0	40.4	9.5	9.0	87%	106%	4.4	2.7
	3	10.7	7.2	0.3	0.1	5.5	3.6	25.5	46.6	10.1	6.8	55%	149%	3.5	0.2
	4	9.9	7.7	2.1	-0.3	6.0	3.7	6.0	38.2	11.1	9.6	16%	116%	2.2	2.4
	5	10.1	6.6	2.6	-1.1	6.4	2.7	22.0	38.7	2.6	8.2	57%	32%	3.5	3.7
	6	10.7	7.0	4.3	-1.1	7.5	2.9	83.5	49.4	8.0	11.9	169%	67%	3.7	5.4
	平均・計	10.6	7.4	2.6	-0.3	6.6	3.5	185.5	248.9	48.7	53.5	75%	91%	3.2	2.9
2	1	10.1	6.3	-0.7	-1.2	4.7	2.5	14.5	31.2	19.5	8.2	46%	238%	3.8	0.5
	2	6.1	7.8	-1.4	-1.0	2.3	3.4	17.0	29.2	10.4	12.5	58%	83%	-1.7	-0.4
	3	14.2	8.3	1.0	-0.2	7.6	4.0	14.5	27.8	17.8	12.7	52%	140%	5.9	1.2
	4	11.2	7.9	1.8	-0.4	6.5	3.7	33.0	29.6	7.9	11.2	111%	71%	3.3	2.2
	5	12.8	8.4	1.6	-0.1	7.2	4.2	11.0	33.4	21.9	14.5	33%	151%	4.4	1.7
	6	9.8	9.1	3.0	-0.2	6.4	4.4	4.5	16.5	8.9	9.8	27%	91%	0.7	3.2
	平均・計	10.8	7.9	0.7	-0.5	5.7	3.7	94.5	167.7	86.4	68.9	56%	125%	2.9	1.2
3	1	11.5	9.5	1.4	0.3	6.5	5.0	18.0	23.2	19.2	14.7	78%	131%	2.0	1.1
	2	14.5	10.0	1.8	0.4	8.1	5.2	30.0	20.9	21.9	17.3	144%	127%	4.5	1.4
	3	12.2	11.6	1.5	0.8	6.8	6.3	44.5	20.1	23.2	19.7	221%	118%	0.6	0.7
	4	15.1	12.2	0.5	1.9	7.8	7.0	26.5	21.3	34.3	19.9	124%	172%	2.9	-1.4
	5	15.1	12.7	1.3	2.3	8.2	7.5	0.5	26.0	36.0	18.6	2%	194%	2.4	-1.0
	6	16.1	13.3	4.7	2.5	10.4	7.9	26.5	23.2	21.4	25.1	114%	85%	2.8	2.2
	平均・計	14.1	11.6	2.0	1.4	8.0	6.5	146.0	134.7	156.0	115.3	108%	135%	2.5	0.6
4	1	16.0	15.0	3.0	3.0	9.5	9.0	40.0	17.8	30.5	26.2	225%	116%	1.0	0.0
	2	15.1	17.1	1.5	4.7	8.3	10.9	0.5	21.4	40.3	25.6	2%	157%	-2.0	-3.2
	3	14.3	16.9	3.4	5.3	8.9	11.1	86.0	21.6	22.8	23.8	398%	96%	-2.6	-1.9
	4	17.6	18.8	7.0	6.2	12.3	12.5	26.0	17.7	16.1	29.6	147%	54%	-1.2	0.8
	5	14.7	19.3	3.1	7.2	8.9	13.3	32.5	17.8	20.5	26.9	183%	76%	-4.6	-4.1
	6	19.5	21.2	5.0	7.3	12.3	14.2	5.5	12.0	44.0	32.6	46%	135%	-1.7	-2.3
	平均・計	16.2	18.1	3.8	5.6	10.0	11.8	190.5	108.3	174.2	164.7	176%	106%	-1.9	-1.8
5	1	24.9	21.6	11.5	9.1	18.2	15.4	1.0	18.4	32.8	28.2	5%	116%	3.3	2.4
	2	21.1	22.8	11.6	9.9	16.3	16.3	13.0	22.9	22.0	29.3	57%	75%	-1.7	1.7
	3	23.8	21.5	8.7	10.6	16.2	16.1	4.0	34.5	43.1	25.5	12%	169%	2.3	-1.9
	4	22.3	22.4	14.3	11.3	18.3	16.9	49.5	25.4	12.8	26.3	195%	49%	-0.1	3.0
	5	24.1	23.2	13.1	12.1	18.6	17.7	3.5	18.0	32.2	28.7	19%	112%	0.9	1.0
	6	23.2	24.0	12.2	12.6	17.7	18.3	3.5	17.3	38.1	33.3	20%	114%	-0.8	-0.4
	平均・計	23.2	22.6	11.9	11.0	17.6	16.8	74.5	136.5	181.0	171.3	55%	106%	0.6	0.9
6	1	28.4	24.9	15.2	13.5	21.8	19.1	0.0	14.7	35.7	29.6	0%	121%	3.5	1.7
	2	28.1	25.1	15.4	14.6	21.7	19.8	0.0	16.5	40.5	24.1	0%	168%	3.0	0.8
	3	27.2	25.6	20.0	15.4	23.6	20.5	168.0	19.8	5.4	23.3	848%	23%	1.6	4.6
	4	24.4	26.4	16.0	16.7	20.2	21.5	30.5	26.3	34.9	22.0	116%	159%	-2.0	-0.7
	5	28.6	26.1	16.9	17.6	22.7	21.8	12.5	41.1	38.9	15.5	30%	251%	2.5	-0.7
	6	28.4	26.8	18.1	18.5	23.3	22.6	42.0	40.4	16.0	15.5	104%	103%	1.6	-0.4
	平均・計	27.5	25.8	16.9	16.1	22.2	20.9	253.0	158.8	171.4	130.0	159%	132%	1.7	0.8

日照時間は2005年4月以降太陽電池式で測定

平 年 値	最高・最低気温、降水量 ……1981～2010年の平均値
	平均気温 ……1993～2010年の平均値
	日照時間 ……2005～2010年の平均値

京都府農林センター（京丹後市弥栄町）

月	半旬	最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		平均気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)		平年比		平年比	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	降水量	日照時間	最高気温	最低気温
7	1	24.6	27.5	19.3	19.3	21.9	23.3	29.5	35.8	23.4	17.3	82%	135%	-2.9	0.0
	2	28.4	28.6	21.5	19.8	25.0	24.1	58.0	31.0	23.1	20.0	187%	116%	-0.2	1.7
	3	25.3	28.9	19.8	20.8	22.6	24.8	109.0	45.4	15.1	14.8	240%	102%	-3.6	-1.0
	4	28.9	29.4	19.9	20.7	24.4	25.0	7.0	40.0	20.6	23.3	18%	88%	-0.5	-0.8
	5	27.9	30.8	21.3	21.3	24.6	26.0	40.0	23.9	7.1	30.2	167%	24%	-2.9	0.0
	6	29.0	31.2	22.5	21.8	25.8	26.4	37.0	19.7	7.9	36.3	188%	22%	-2.2	0.7
	平均・計	27.4	29.5	20.8	20.7	24.1	25.0	280.5	195.8	97.2	141.9	143%	68%	-2.1	0.1
8	1	32.4	31.6	21.4	21.9	26.9	26.7	0.0	21.6	31.0	35.0	0%	89%	0.8	-0.5
	2	33.3	32.1	23.6	21.9	28.5	26.9	6.5	15.8	28.7	33.5	41%	86%	1.2	1.7
	3	36.0	31.5	25.4	21.9	30.7	26.7	22.5	17.2	7.1	29.8	131%	24%	4.5	3.5
	4	37.6	31.4	23.4	21.6	30.5	26.4	5.5	21.1	37.7	31.3	26%	120%	6.2	1.8
	5	37.2	30.8	23.9	21.0	30.5	25.8	0.0	31.4	42.1	28.1	0%	150%	6.4	2.9
	6	38.9	30.5	25.7	20.7	32.3	25.6	1.5	24.2	52.1	35.5	6%	147%	8.4	5.0
	平均・計	36.0	31.3	24.0	21.5	30.0	26.3	36.0	131.3	198.7	193.2	27%	103%	4.7	2.5
9	1	37.1	29.5	25.9	20.0	31.5	24.7	12.0	27.7	34.7	28.5	43%	122%	7.6	5.9
	2	35.6	28.0	23.6	18.9	29.6	23.4	1.0	34.8	24.7	20.2	3%	122%	7.6	4.7
	3	32.3	27.2	20.4	18.2	26.4	22.6	21.5	38.1	20.3	20.3	56%	100%	5.1	2.2
	4	31.1	26.9	20.3	17.4	25.7	22.1	60.0	37.5	19.6	22.3	160%	88%	4.2	2.9
	5	29.5	25.5	18.8	16.0	24.1	20.7	54.0	36.4	11.0	18.4	148%	60%	4.0	2.8
	6	28.0	23.9	17.3	14.5	22.7	19.2	51.5	35.6	16.4	17.9	145%	92%	4.1	2.8
	平均・計	32.3	26.8	21.1	17.5	26.7	22.1	200.0	210.1	126.7	127.6	95%	99%	5.5	3.6
10	1	29.1	23.9	16.1	14.0	22.6	18.9	1.0	24.9	21.7	19.4	4%	112%	5.2	2.1
	2	25.8	22.5	15.8	12.4	20.8	17.4	17.5	29.2	10.8	20.1	60%	54%	3.3	3.4
	3	25.7	22.5	16.1	11.8	20.9	17.1	6.0	25.2	20.9	21.9	24%	95%	3.2	4.3
	4	25.1	20.8	10.6	10.1	17.9	15.3	1.5	32.8	19.9	22.3	5%	89%	4.3	0.5
	5	22.4	20.1	12.1	8.6	17.3	14.3	64.5	18.7	20.5	21.9	345%	94%	2.3	3.5
	6	20.1	19.3	6.4	8.2	13.3	13.7	3.5	30.1	36.0	24.0	12%	150%	0.8	-1.8
	平均・計	24.6	21.4	12.6	10.8	18.6	16.0	94.0	160.9	129.8	129.6	58%	100%	3.2	1.8
11	1	18.2	18.3	7.4	7.2	12.8	12.7	31.5	29.4	20.1	18.7	107%	107%	-0.1	0.2
	2	17.0	18.0	9.6	7.6	13.3	12.4	20.5	25.1	6.6	18.6	82%	35%	-1.0	2.0
	3	17.7	16.3	3.3	6.7	10.5	11.1	1.0	28.1	31.5	13.8	4%	228%	1.4	-3.4
	4	23.1	14.7	10.8	5.3	16.9	10.0	0.0	29.4	29.0	13.6	0%	213%	8.4	5.5
	5	16.5	14.4	5.0	4.0	10.7	9.1	16.5	28.7	14.8	14.4	57%	103%	2.1	1.0
	6	13.9	13.0	5.7	4.4	9.8	8.7	62.5	41.0	10.3	10.8	152%	95%	0.9	1.3
	平均・計	17.7	15.8	7.0	5.9	12.3	10.7	132.0	181.7	112.3	89.9	73%	125%	1.9	1.1
12	1	12.9	13.0	4.2	2.8	8.5	7.8	35.5	36.1	9.7	13.4	98%	72%	-0.1	1.4
	2	14.2	12.0	2.3	2.4	8.3	7.1	20.0	35.7	24.2	12.7	56%	191%	2.2	-0.1
	3	10.9	10.8	2.5	1.9	6.7	6.4	94.5	44.9	7.3	9.9	210%	74%	0.1	0.6
	4	5.9	9.9	0.4	1.1	3.2	5.4	97.0	35.1	4.7	10.4	276%	45%	-4.0	-0.7
	5	9.7	9.9	-0.8	1.1	4.5	5.5	52.0	32.3	17.5	9.6	161%	182%	-0.2	-1.9
	6	9.7	9.4	0.4	0.6	5.0	5.0	72.5	46.2	18.5	11.3	157%	164%	0.3	-0.2
	平均・計	10.5	10.8	1.5	1.6	6.0	6.2	371.5	230.3	81.9	67.3	161%	122%	-0.3	-0.1
年平均・計		20.7	19.1	10.2	9.3	15.5	14.2	2058.0	2065.1	1564.3	1453.1	100%	108%	1.6	0.9

8月12日から10月26日の期間は、気温計測器に異常があったため正確な気温が計測できていない。参考データとしての取り扱いとする。

